

内閣府令和元年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等  
に関する調査

調査結果（速報版）

2019年10月  
株式会社浜銀総合研究所

この調査結果（速報版）は、現時点における議論に資するよう作成するものであり、今後、有識者を交えた分析・検討、データの更なる精査を経て、調査結果報告書を作成することとしている。



## <目次>

第1章 調査の概要・回答者属性等	1
（1）調査の概要	1
（2）回答者属性	2
（3）ウエイトによる補正	4
第2章 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等	8
（1）就職活動時期に関する認知の状況	8
（2）就職活動時期に関する認識	11
（3）就職活動と学修時間確保の状況	12
（4）就職先を決めるにあたって重視していること	14
（5）就職活動に関する考え	15
第3章 就職活動内容	17
（1）企業の広報活動開始前の活動状況	17
（2）業界や企業に関する分析を開始した時期	18
（3）企業説明会やセミナー等の参加状況	20
（4）エントリーシートの提出状況	25
（5）採用面接の実施状況	30
（6）内々定の状況・内々定の時期	36
（7）採用試験・面接等を受けた経路	45
（8）就職活動の始まりと終わりの認識	49
（9）インターンシップの参加状況	55
第4章 企業による学業などに対する配慮の状況等	68
（1）履修履歴（成績証明書など）の提出の状況	68
（2）採用面接の際の学業や成績等への評価	70
（3）就職活動の日程・時間帯等に関する配慮	71
（4）遠隔地への就職活動への配慮	73
（5）クールビズでの対応	74
（6）留学経験者等への配慮	75
（7）教育実習受講者への配慮	79
（8）「オワハラ」の状況	83
（9）セクシュアルハラスメントの状況	87



## 第1章 調査の概要・回答者属性等

### (1) 調査の概要

#### ①調査の目的

本調査は、2019年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の実態を把握することにより、2020年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

#### ②調査の実施方法

地域、設置主体、規模等を勘案して選定した全国の約60の大学に協力いただき、それらの大学から、大学4年生及び大学院修士課程（博士前期課程）2年生<sup>1</sup>にアンケート調査への協力を依頼していただいた。なお、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生については調査の対象外である旨を案内の上で実施した<sup>2</sup>。

各学生には、インターネット上に開設したアンケート調査のホームページにアクセスし、回答していただいた。ホームページは、2019年7月9日から8月7日までの間開設した。

#### ③回答状況

対象学年別の有効回答件数は図表1-1の通りである。なお、社会人経験があり元の職場に復帰予定の者や、進学等を予定しており就職活動をする予定がない者等については、集計の過程において、適宜対象から除いて集計を行った。

図表 1-1 学年別の有効回答件数

対象	大学4年生	大学院2年生	合計
有効回答件数	5,023	1,963	6,986

※学年について「その他」と回答があった132件については有効回答の対象外とした。

<sup>1</sup> 以下「大学院2年生」と表記する。

<sup>2</sup> 本調査は、全国の約60の大学について、原則として対象学年の全学生に対し調査の案内をしていただくように依頼したが、調査依頼を行う大学のなかには、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生が多く在籍する大学もあると想定された。医学科等の学生や海外からの留学生は、就職・採用選考活動に関してその他の学生とは異なる動きとなる場合が多いと予想されたが、これらの学生が調査対象全体に占める割合を母集団の分布等に基づいて事後的に調整を行うことは困難と考えられたため、あらかじめ調査対象外とした。なお、本資料に記載・言及している2016年度・2017年度・2018年度調査においても同様の方法で実施している。2015年度調査では医学科等の学生や海外からの留学生も調査対象に含めているが、2015年度調査は調査依頼を行っていただく学生の人数を各大学に割り当て、対象学生は各大学で抽出してもらうという方法をとっている。また、抽出の際の男女比や文系・理系の比率は大学全体の構成比と同率にさせていただくよう依頼を行っており、同調査において、医学科等の学生や海外からの留学生が母集団との関係において過度に多く含まれることはなかったと考えられる。

## (2) 回答者属性

本調査への回答が得られた学生の属性に関して、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域の割合を、対象学年別に図表 1-2～図表 1-5 に示し、それぞれ右欄に 2019 年度の学校基本調査<sup>3</sup>（文部科学省調べ）の情報（速報値）を掲載した<sup>4</sup>。

本調査の回答者の属性の状況を、学校基本調査に基づく全国の母集団の状況と比較すると、性別については大学 4 年生で「女性」からの回答割合が高く、大学・大学院の設置主体については大学 4 年生・大学院 2 年生ともに「国立」からの回答割合が高いなど、若干の偏りが生じている。

図表 1-2 性別

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2019 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	2019 年度 学校基本調査 (速報値)
男性	44.5%	56.0%	73.5%	67.9%
女性	54.5%	44.0%	25.2%	32.1%
その他 <sup>5</sup>	1.0%	—	1.4%	—
集計度数	5,023	665,241	1,963	85,199

図表 1-3 大学・大学院の設置主体

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2019 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	2019 年度 学校基本調査 (速報値)
国立	24.1%	17.9%	72.8%	58.8%
公立	2.0%	5.3%	1.7%	6.6%
私立	73.8%	76.8%	25.5%	34.6%
集計度数	5,023	665,241	1,963	85,199

<sup>3</sup> 学校基本調査は、全国全ての学校を対象とした、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計調査である。

<sup>4</sup> 調査対象として医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生は対象外としていることから、学校基本調査の情報のうち、「保健」専攻の学生数を除いた値を参照した。ただし、性別や設置主体別、地域別のデータについては、一部「保健」専攻の学生を除いた値の算出が困難なことから、これも含めた値を参照している。（図表 1-4 は「保健」専攻の学生を除いた値、図表 1-2、図表 1-3、図表 1-5 は「保健」専攻の学生を含めた値）

<sup>5</sup> 今年度調査においては、性別をたずねる設問において、「その他」と「答えたくない」との選択肢を設けた。ここでは、これらの回答を「その他」として集計している。

図表 1-4 専攻

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2019 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	2019 年度 学校基本調査 (速報値)
人文科学	22.6%	16.6%	5.3%	7.1%
社会科学	42.7%	37.5%	3.3%	10.9%
理学	7.6%	3.5%	30.2%	9.5%
工学	10.4%	16.9%	46.9%	43.5%
農学	2.9%	3.3%	7.9%	5.8%
保健	2.5%	—	1.9%	—
商船	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.2%	3.0%	0.1%	0.6%
教育	3.7%	8.2%	1.7%	5.9%
芸術	0.6%	2.9%	0.5%	3.0%
その他	5.9%	8.1%	2.2%	13.7%
文系	76.6%	76.3%	13.1%	41.2%
理系	23.4%	23.7%	86.9%	58.8%
集計度数	5,023	596,976	1,963	78,494

※「人文科学」「社会科学」「家政」「教育」「芸術」「その他」を「文系」とし、「理学」「工学」「農学」「保健」「商船」を「理系」としている

図表 1-5 大学・大学院の所在地域

	大学生		大学院生	
	本調査 (大学 4 年生)	2019 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査 (大学院 2 年生)	2019 年度 学校基本調査 (速報値)
北海道・東北	6.3%	7.3%	14.4%	8.8%
関東	32.9%	43.8%	37.9%	42.3%
中部	11.9%	12.8%	10.5%	13.0%
近畿	30.2%	21.2%	17.5%	20.5%
中国・四国	5.4%	6.6%	5.6%	6.9%
九州・沖縄	13.3%	8.3%	14.2%	8.4%
集計度数	5,023	2,609,431	1,963	254,643

※「北海道・東北」は、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県が該当する

※「関東」は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が該当する

※「中部」は、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県が該当する

※「近畿」は、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県が該当する

※「中国・四国」は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県が該当する

※「九州・沖縄」は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県が該当する

### (3) ウェイトによる補正

就職・採用活動の状況は、文系・理系などの属性別に差異があると考えられることから、集計結果を示すにあたっては、可能な限り回答者の属性分布を母集団に近似させることが望ましい。そこで、本調査では、「性別」、「大学・大学院の設置主体」、「文系・理系」の3点について、それぞれのバランスが母集団に近似するようにウェイト付けを行った上で集計を行うこととした。

なお、2015年度調査～2017年度調査においては、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、2018年度調査と同様に、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行った。その際にも、学校基本調査の在学者数を基にしたウェイトによりデータの補正を行った。

ウェイト値は、大学4年生・大学院2年生を合わせた集計結果を示す場合と、それらを別々に示す場合とで、それぞれ図表1-6と図表1-7に示したとおりに設定をした<sup>6</sup>。また、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域のそれぞれについて、ウェイトによる補正後の分布は図表1-8～図表1-11のとおりである<sup>7</sup>。

これらから、ウェイト補正後は、「性別」、「大学・大学院の設置主体」、「文系・理系」の3点について、母集団における分布と近い構成比になっていることが確認できる<sup>8</sup>。ただし、専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の偏りが生じている。

<sup>6</sup> 性別が「その他」の者については、学校基本調査に直接対応する値がないことから、性別以外の「大学・大学院の設置主体」「文系・理系」のバランスを踏まえてウェイト値を設定した。

<sup>7</sup> ウェイト補正後の集計値については、四捨五入等の関係で、設問により、選択肢ごとの度数と度数合計が一致しない場合がある。また、集計結果の割合(%)は、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。

<sup>8</sup> 専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の相違があるが、細部まで補正を行うことが困難であったことから、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「文系・理系別」の3点について補正したデータにより集計を行った。なお、ウェイト付けの際には、専攻について「保健」の者を除いた形で値を算出した。このことにより、ウェイト補正後の「性別」「大学・大学院の設置主体」の分布について、図表1-2、図表1-3に掲載した構成比とは若干異なる値になっている。

図表 1-6 大学生・大学院生をまとめて集計する際のウエイト値

本調査			大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	国立	文系	1.0779	1.3965
		理系	1.1676	0.2473
	公立	文系	3.6551	2.0414
		理系	4.6002	1.2767
	私立	文系	1.7529	1.3091
		理系	1.6477	0.3857
女性	国立	文系	0.7024	1.0976
		理系	0.6082	0.1524
	公立	文系	2.4529	2.5975
		理系	1.9240	1.3648
	私立	文系	0.9638	1.3053
		理系	0.8734	0.4149
その他	国立	文系	0.8943	1.0599
		理系	0.5040	0.1777
	公立	文系	2.4998	—
		理系	0.8361	—
	私立	文系	1.6143	0.4453
		理系	4.6743	0.4419

※ウエイト値について四捨五入の上小数点以下第 4 位まで掲載しているが、実際には小数点以下第 15 位までの値に基づいてウエイト付けを行っている。

※公立の大学院 2 年生で性別が「その他」の者は該当者がいなかったことから、ウエイト値を設定していない。

図表 1-7 大学生・大学院生を別々に集計する際のウエイト値

本調査			大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	国立	文系	0.8779	3.3673
		理系	0.9510	0.5963
	公立	文系	2.9768	4.9225
		理系	3.7466	3.0786
	私立	文系	1.4276	3.1568
		理系	1.3419	0.9300
女性	国立	文系	0.5721	2.6467
		理系	0.4953	0.3675
	公立	文系	1.9977	6.2635
		理系	1.5669	3.2909
	私立	文系	0.7849	3.1476
		理系	0.7113	1.0004
その他	国立	文系	0.6520	3.3981
		理系	0.3675	0.5696
	公立	文系	1.8226	—
		理系	0.6096	—
	私立	文系	1.1770	1.4276
		理系	3.4080	1.4169

※ウエイト値について四捨五入の上小数点以下第 4 位まで掲載しているが、実際には小数点以下第 15 位までの値に基づいてウエイト付けを行っている。

※公立の大学院 2 年生で性別が「その他」の者は該当者がいなかったことから、ウエイト値を設定していない。

図表 1-8 性別（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	59.0%	57.7%	69.0%
女性	39.9%	41.3%	29.6%
その他	1.1%	1.0%	1.4%
集計度数	6,986	5,023	1,963

図表 1-9 大学・大学院の設置主体（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学 4 年生	大学院 2 年生
国立	22.7%	17.9%	59.0%
公立	5.1%	4.9%	6.5%
私立	72.2%	77.2%	34.5%
集計度数	6,986	5,023	1,963

図表 1-10 専攻（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学 4 年生	大学院 2 年生
人文科学	20.2%	20.6%	16.9%
社会科学	41.6%	45.8%	10.2%
理学	9.0%	7.4%	20.5%
工学	13.8%	11.3%	32.7%
農学	2.6%	2.4%	4.0%
保健	2.4%	2.5%	1.5%
商船	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.0%	1.0%	0.6%
教育	3.1%	2.9%	5.2%
芸術	0.7%	0.6%	1.5%
その他	5.6%	5.5%	6.8%
文系	72.3%	76.3%	41.2%
理系	27.7%	23.7%	58.8%
集計度数	6,986	5,023	1,963

図表 1-11 大学・大学院の所在地域（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学 4 年生	大学院 2 年生
北海道・東北	6.0%	5.4%	10.6%
関東	34.9%	34.2%	40.4%
中部	12.2%	12.5%	10.2%
近畿	30.3%	31.3%	22.4%
中国・四国	4.4%	4.4%	5.0%
九州・沖縄	12.1%	12.2%	11.4%
集計度数	6,986	5,023	1,963

以降では、ウェイト補正後のデータに基づき、「就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等」、「就職活動内容」、「企業による学業などに対する配慮の状況等」について集計を行った。

なお、原則として大学4年生・大学院2年生をあわせて集計をした結果と、それらを別々に集計した結果の両方を掲載し、また、2015年度に実施した「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」、2016年度に実施した「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、2017年度・2018年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」<sup>9</sup>との比較を行い、回答傾向の違いについて把握した。

本資料に掲載した集計結果等に関しては、次の点に留意されたい。

- 集計結果の割合(%)は、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。
- 設問には、選択肢から一つを回答するものと、複数を回答するものがあり、複数回答する場合の設問では、選択肢別の集計結果の割合合計が100%を超える場合がある。
- 本資料で扱う今年度調査の集計について、ほとんどの設問は「就職活動を行った(終えた)」又は「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の設問は「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。このほか、一部の回答者を除いて集計をしている設問があるが、これらの点は脚注にて説明を記載した。

<sup>9</sup> 以下では、それぞれ、「2015年度調査」「2016年度調査」「2017年度調査」「2018年度調査」と表記する。また、今回2019年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」を「今年度調査」と表記する。なお、2016年度調査、2017年度調査、2018年度調査及び今年度調査は8月1日時点で、2015年度調査は10月1日時点で実施している。

## 第2章 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等

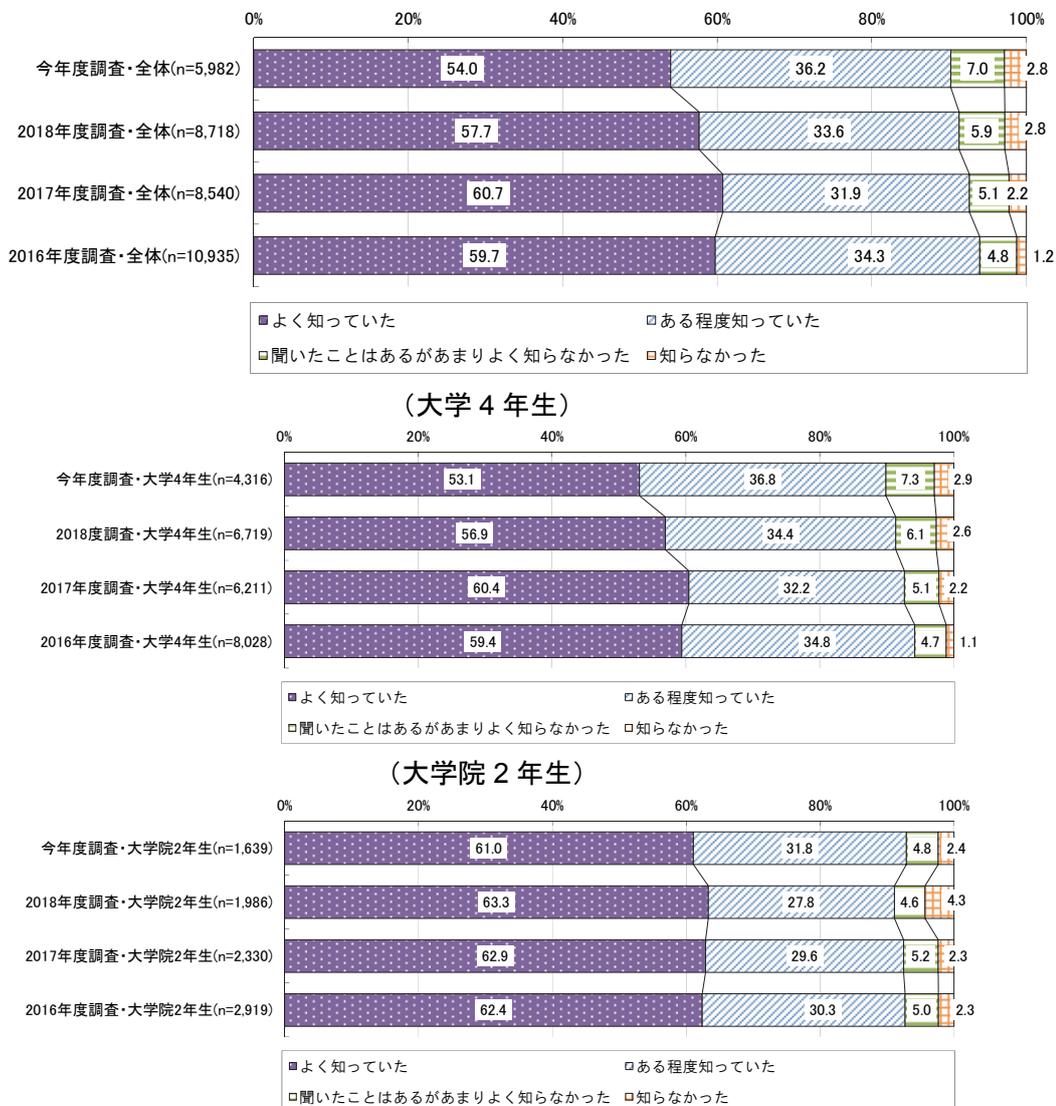
### (1) 就職活動時期に関する認知の状況

#### ① 就職活動時期に関する認知度

就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程（広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降）で行われることについて、「よく知っていた」との回答が約5割、「ある程度知っていた」との回答の合計が約9割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、「よく知っていた」との回答割合が若干低下している<sup>10</sup>。

図表 2-1-1 就職活動時期に関する認知度  
(大学4年生・大学院2年生)



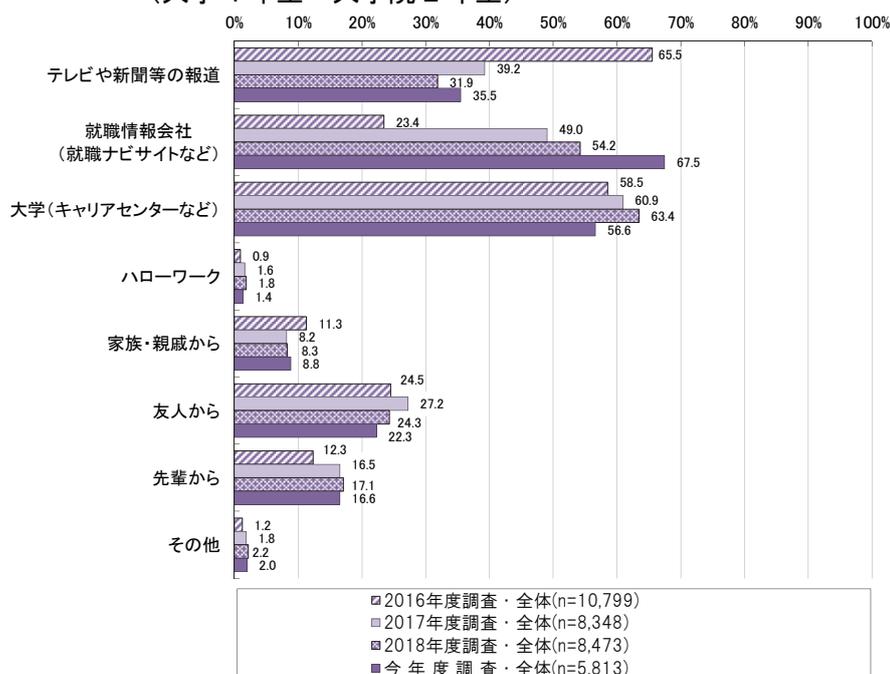
<sup>10</sup> いずれの年度の調査も、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。なお、2016年度調査は就職活動時期変更について知っていたかをたずねた設問となっている。2015年度調査でも就職活動時期に関する認知度を把握するための設問はあるが、他の年度とは異なる聞き方となっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

## ②就職活動の時期に関する情報源

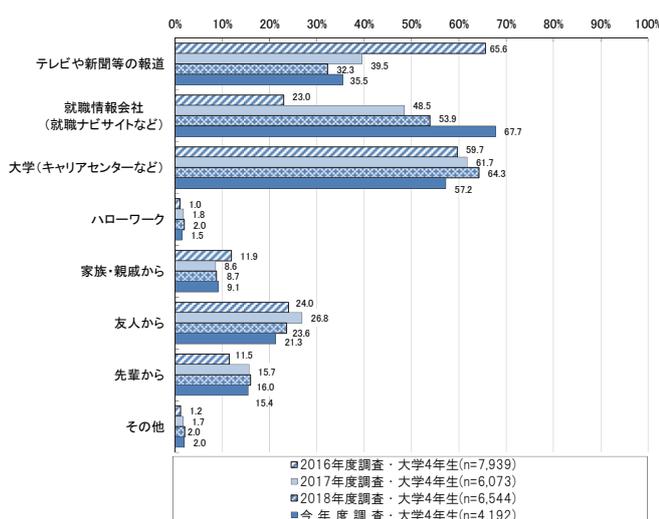
どのような情報源から就職・採用活動の時期に関する情報を得たかについて<sup>11</sup>、「就職情報会社（情報ナビサイトなど）」の割合が約7割と最も高く、次いで「大学（キャリアセンターなど）」の割合が高くなっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、「就職情報会社」の割合が高まっている<sup>12</sup>。

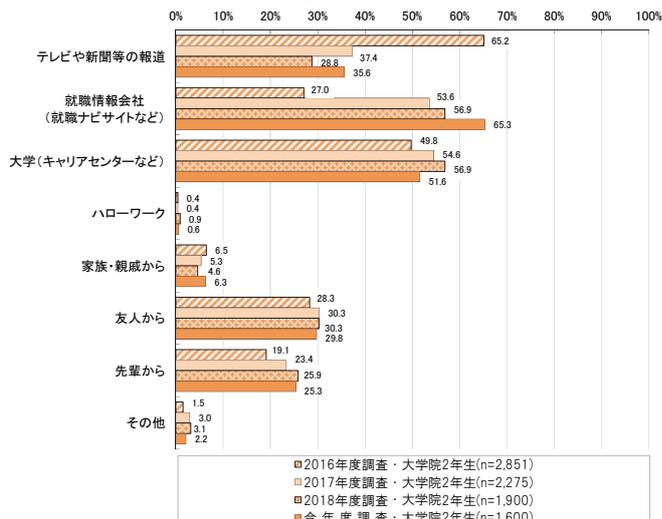
図表 2-1-2 就職活動時期に関する情報源（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



<sup>11</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象であり、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

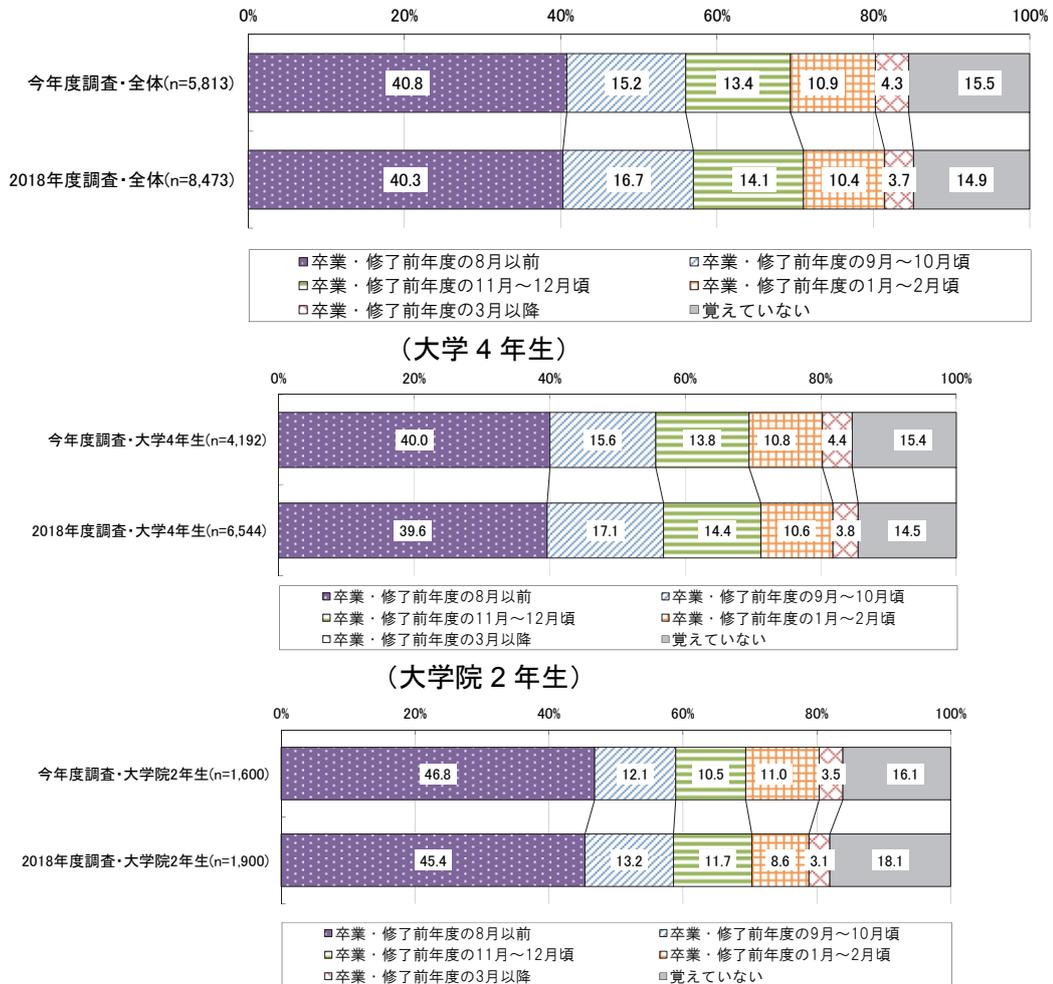
<sup>12</sup> 2016年度調査は就職活動時期変更に関する情報をどのような情報源から得たかをたずねた設問となっている。2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。なお、2017年度・2018年度は「就職情報会社」、2016年度は「求人情報会社」の文言で調査を行っている。

### ③就職活動時期に関する情報を知った時期

いつ頃就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて<sup>13</sup>、「卒業・修了前年度の8月以前」との割合が最も高く、約4割となっている。

2018年度調査と比較すると、概ね同様の回答結果となっている<sup>14</sup>。

図表 2-1-3 就職活動時期に関する情報を知った時期  
(大学4年生・大学院2年生)



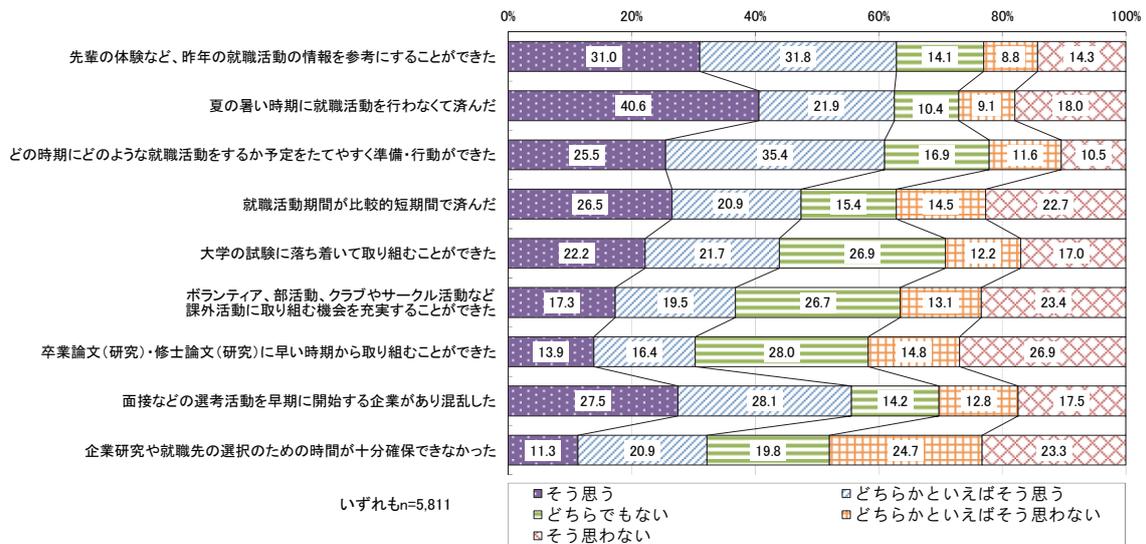
<sup>13</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>14</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。2017年度調査では同内容の設問はあるが、選択肢として設定している時期が異なっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

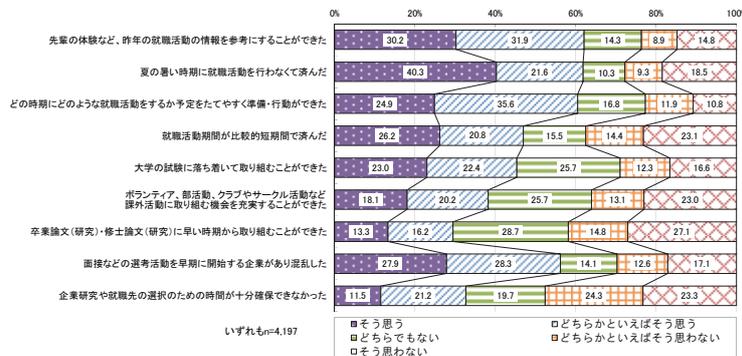
## (2) 就職活動時期に関する認識

就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期（広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降）に設定されたことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」という点で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が約6割と高かった一方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」についても同様に回答割合が高かった<sup>15</sup>。

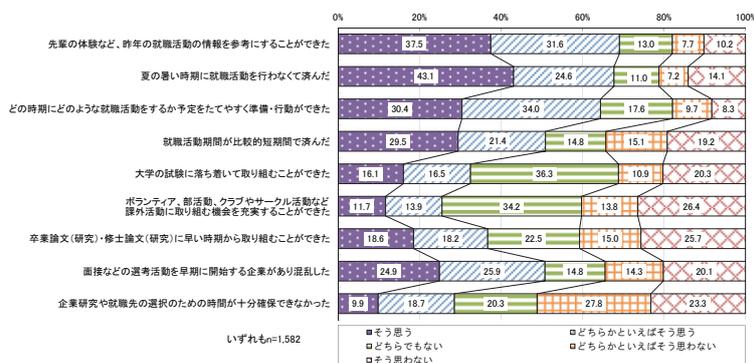
図表 2-2-1 就職活動時期に関する認識  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



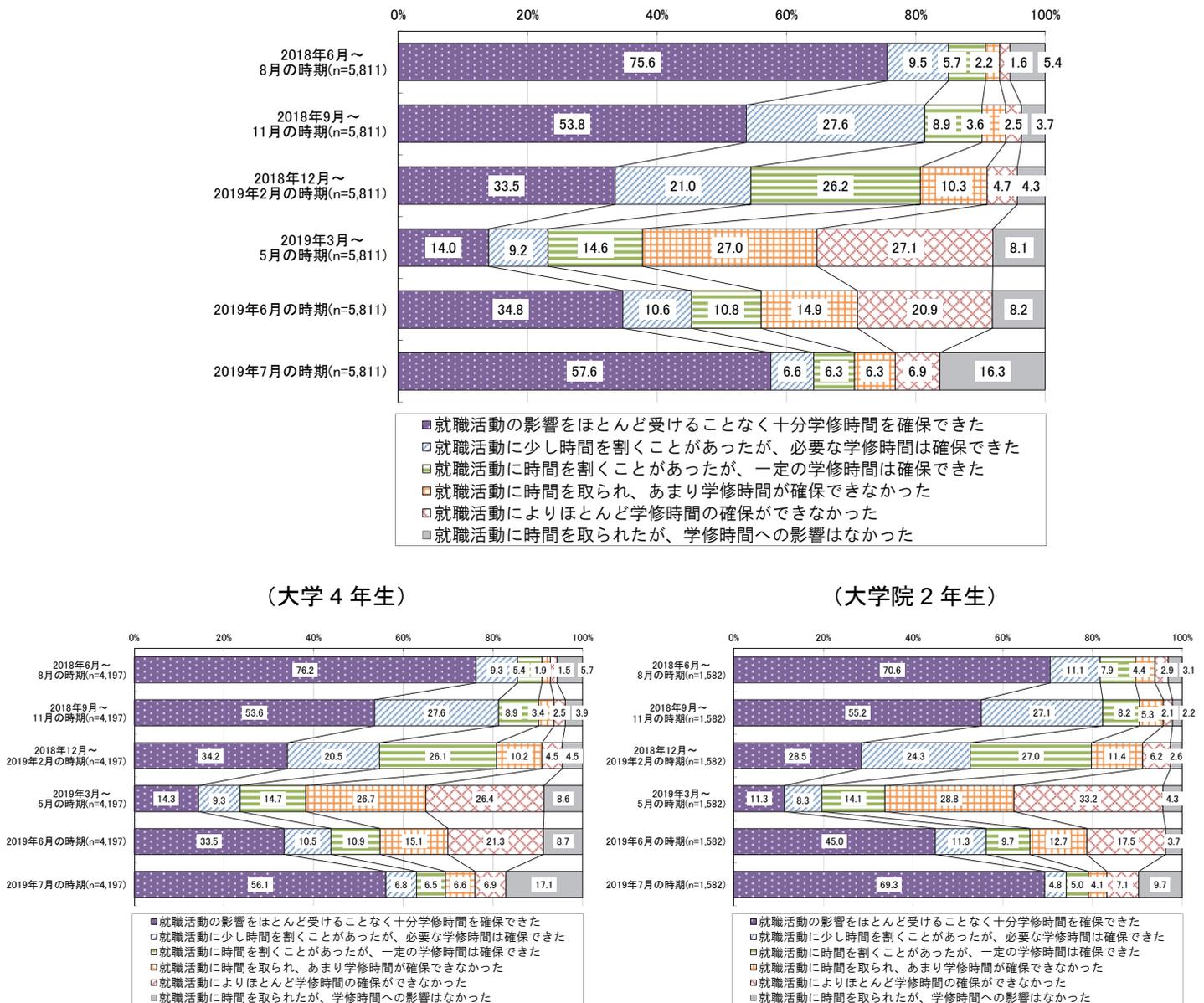
<sup>15</sup> 2017年度調査・2018年度調査でも同様の設問により調査をしており、同傾向の結果が得られている。

### (3) 就職活動と学修時間確保の状況

就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高いが、広報活動開始時期後の3月～5月には4割以下まで低下、しかし、採用選考活動開始時期後の6月には約6割、7月には約7割まで上昇している。

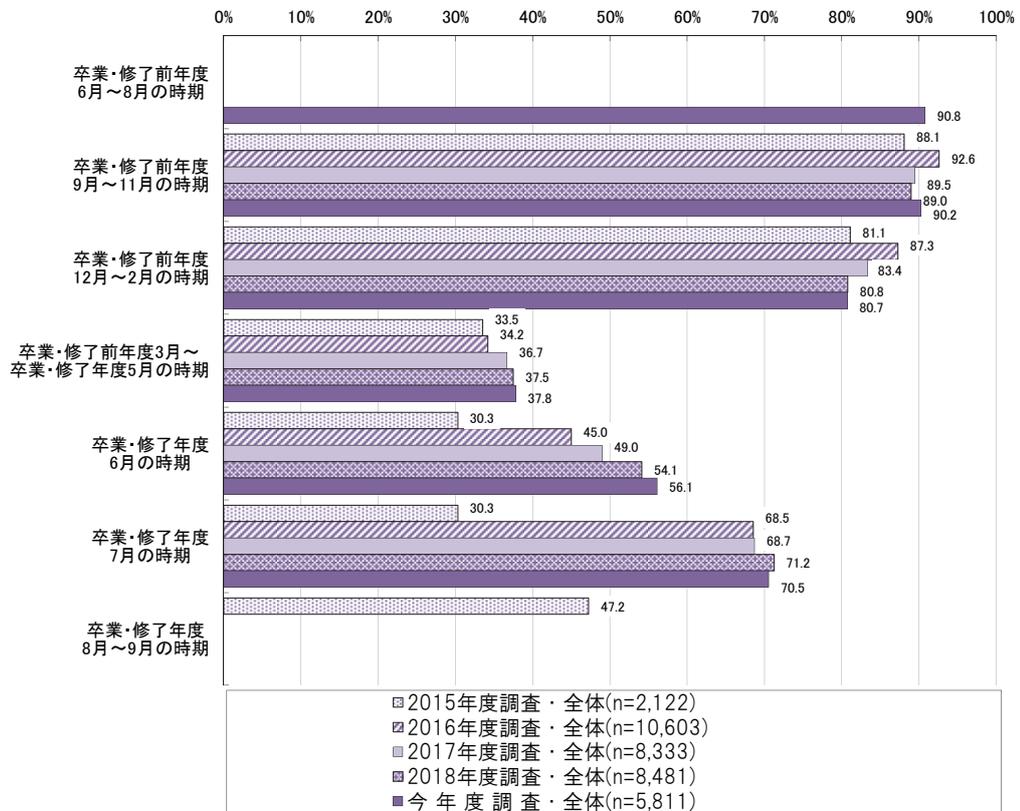
採用選考活動開始時期が卒業・修了年度の8月とされていた2015年度調査と比較すると、卒業・修了年度の6月・7月に学修時間が確保できたとの回答割合が大幅に上昇している<sup>16</sup>。2016年度調査～2018年度調査と比較しても、卒業・修了前年度の3月～卒業・修了年度の6月については、今年度調査の方が若干高くなっている。

図表 2-3-1 就職活動と学修時間確保の状況  
(大学4年生・大学院2年生)

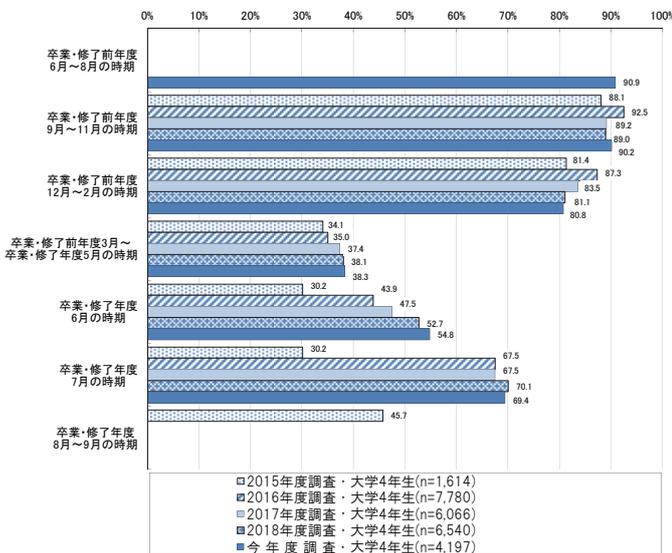


<sup>16</sup> 「卒業・修了前年度6月～8月の時期」に関する項目は、2015年度調査～2018年度調査では設定していない。

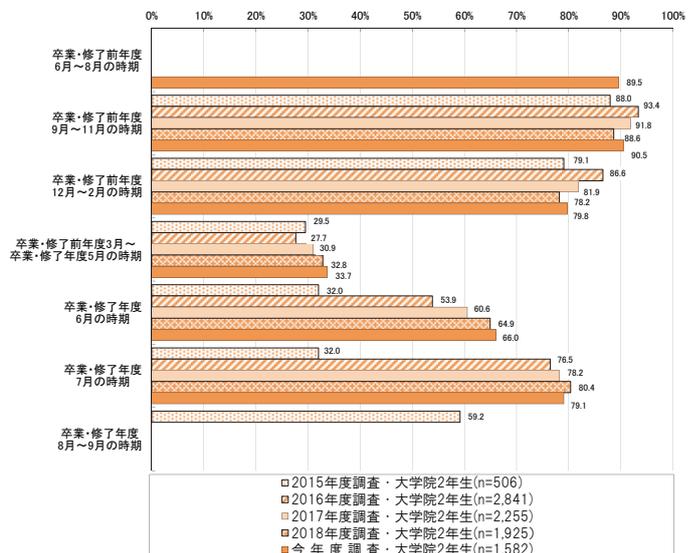
図表 2-3-2 就職活動と学修時間確保の状況（2015年度調査～2018年度調査との比較）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

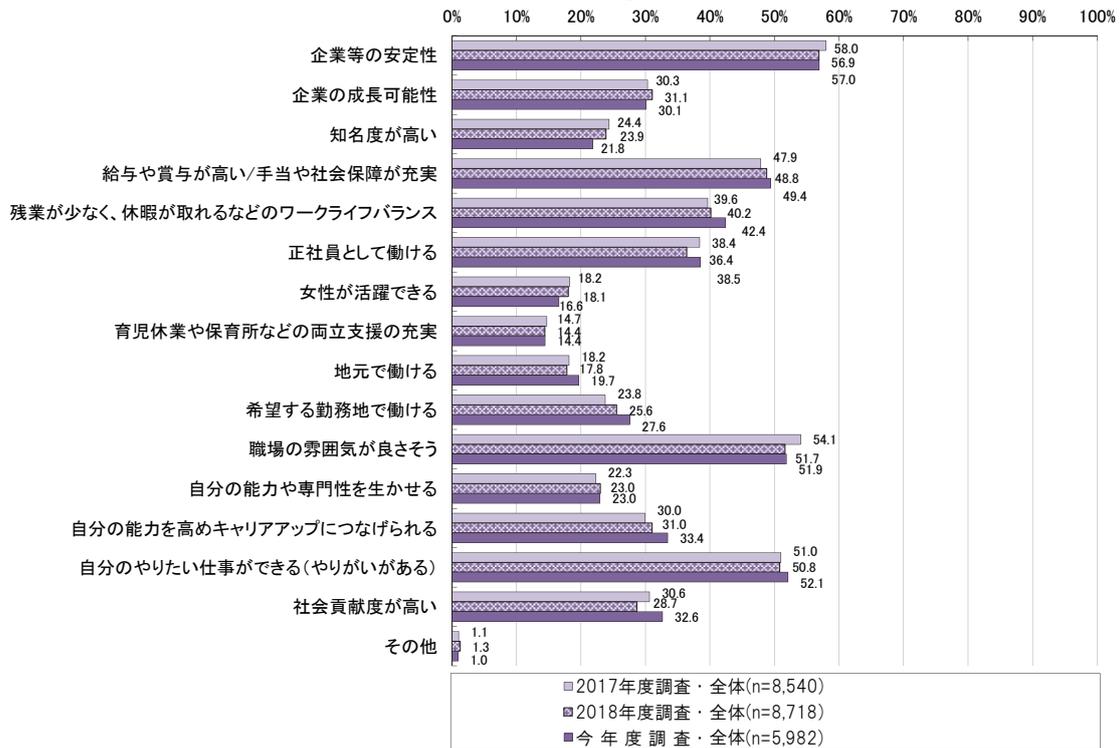
※卒業・修了年度の「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施（図表にはそれぞれ同じ値を掲載）

#### (4) 就職先を決めるにあたって重視していること

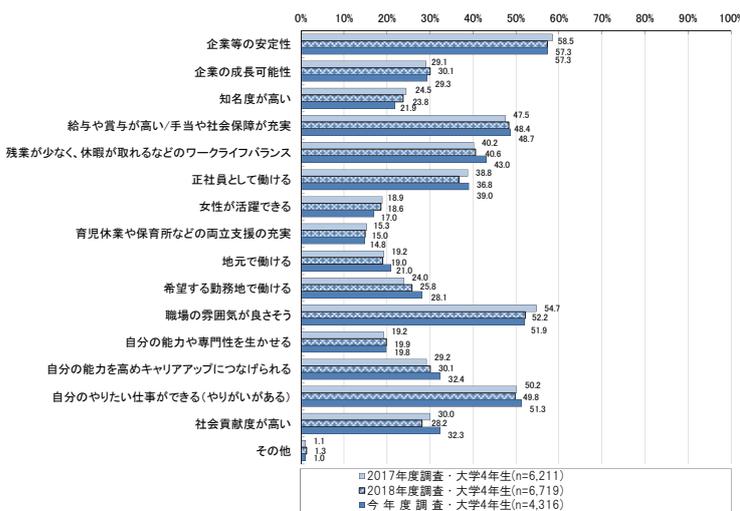
就職先を決めるにあたって重視していることについて<sup>17</sup>、「企業等の安定性」との回答が約6割と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事ができる（やりがいがある）」、「職場の雰囲気が良さそう」との割合が高くなっている。

2017年度調査・2018年度調査と比較すると、概ね同様の回答結果となっている<sup>18</sup>。

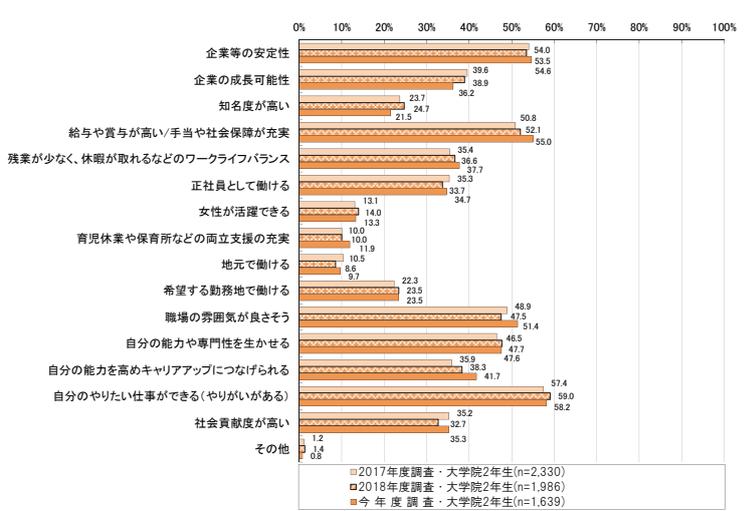
図表 2-4-1 就職先を決めるにあたって重視していること（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>17</sup> 「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。

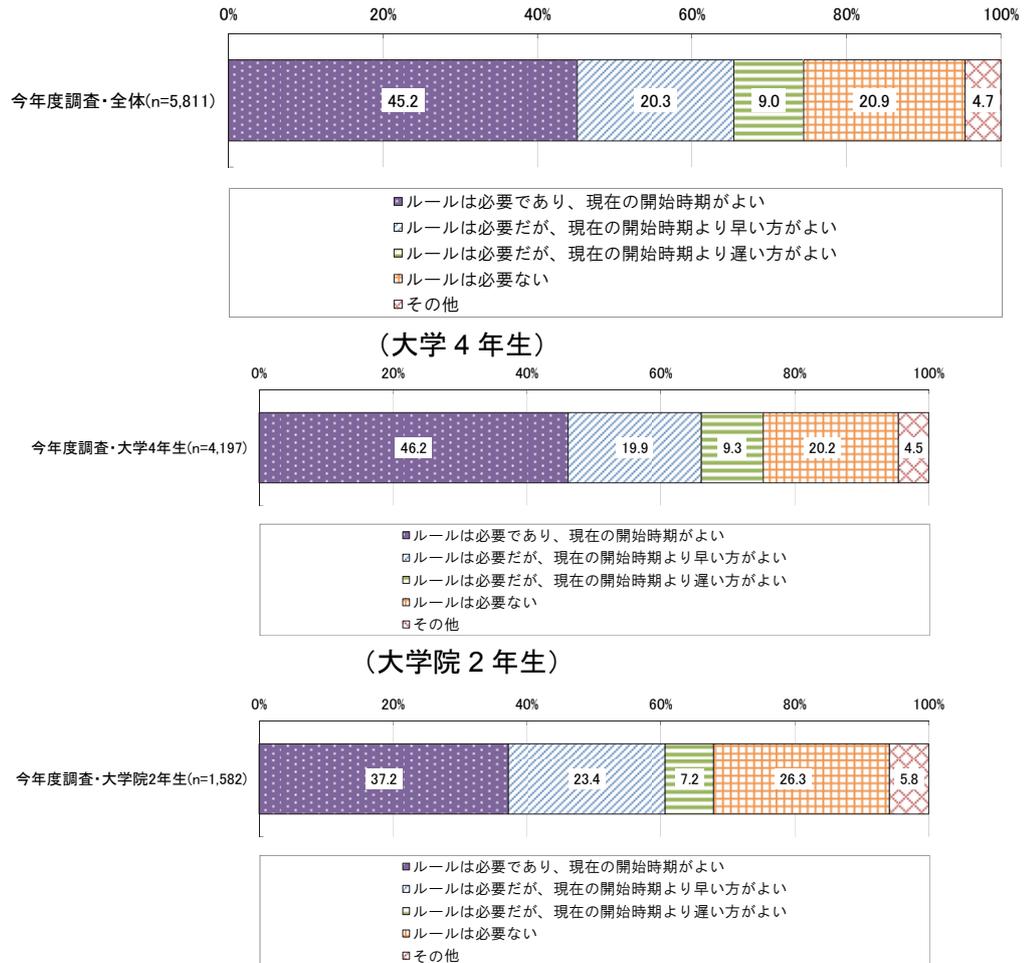
<sup>18</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (5) 就職活動に関する考え

### ① 就活ルールに関する考え

就職・採用活動開始時期、いわゆる「就活ルール」(広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降)に関する考えについて、「ルールが必要」との割合は約7割となっている。そのうち、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」との割合が最も高く、全体の約5割となっている<sup>19</sup>。

図表 2-5-1 就職活動時期・ルールに関する考え  
(大学4年生・大学院2年生)

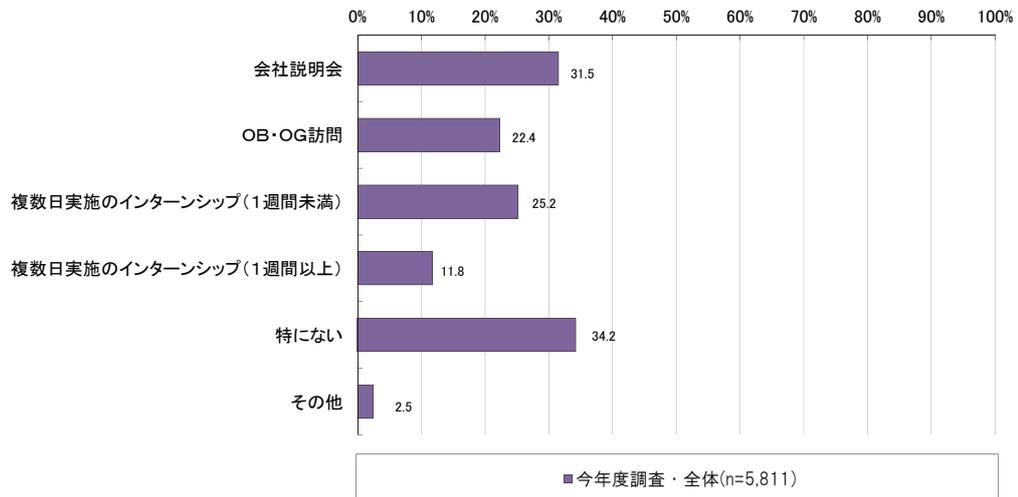


<sup>19</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。

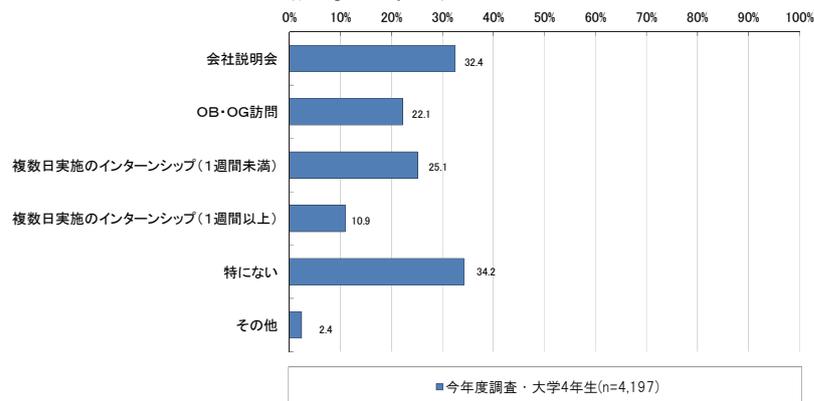
## ②企業により多く取り組んでもらいたいと考えること

現状と比べて企業により多く取り組んでもらいたいと考えることについて、「特にない」との回答が約3割と最も高く、次いで「会社説明会」、「複数日実施のインターンシップ（1週間未満）」の順で回答割合が高くなっている<sup>20</sup>。

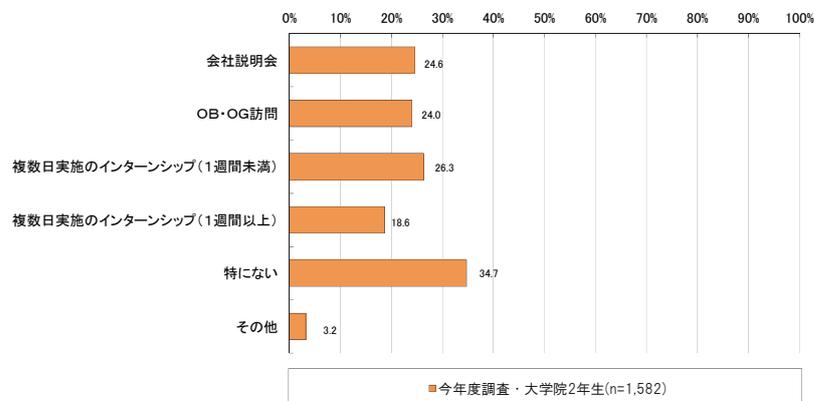
図表 2-5-2 企業により多く取り組んでもらいたいと考えること（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



### （大学4年生）



### （大学院2年生）



<sup>20</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。

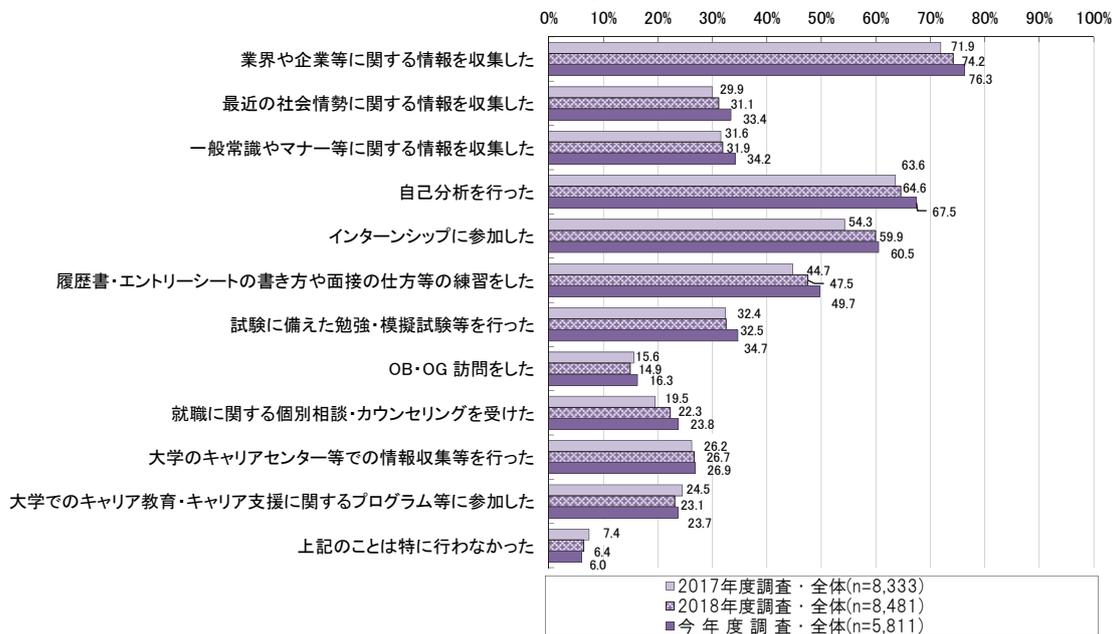
### 第3章 就職活動内容

#### (1) 企業の広報活動開始前の活動状況

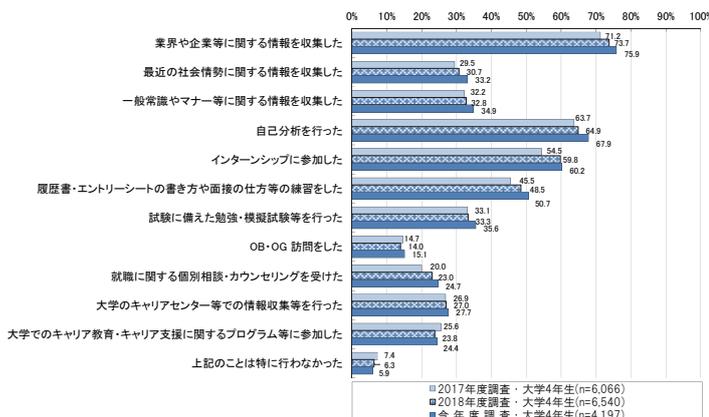
就職活動を行うにあたり、企業の広報活動が開始になる3月1日より前の時期にどのような活動を行ったかについて、「業界や企業等に関する情報を収集した」との回答割合が最も高く、次いで「自己分析を行った」、「インターンシップに参加した」の順で回答割合が高くなっている。

2017年度調査・2018年度調査と比較すると、上記の項目をはじめ、多くの項目で回答割合が若干高くなっている<sup>21</sup>。

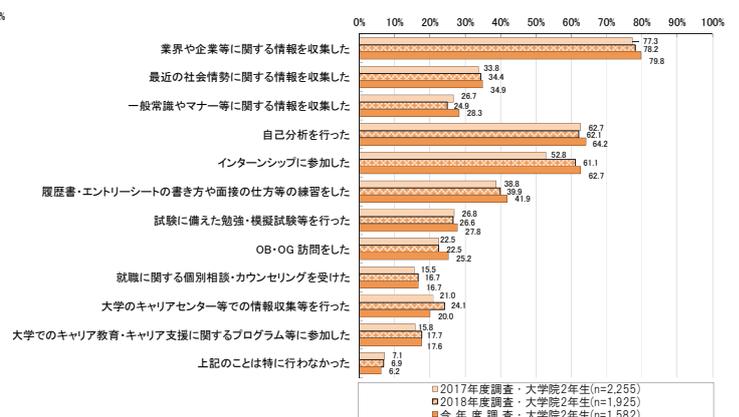
図表 3-1-1 企業の広報活動開始前の活動状況（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



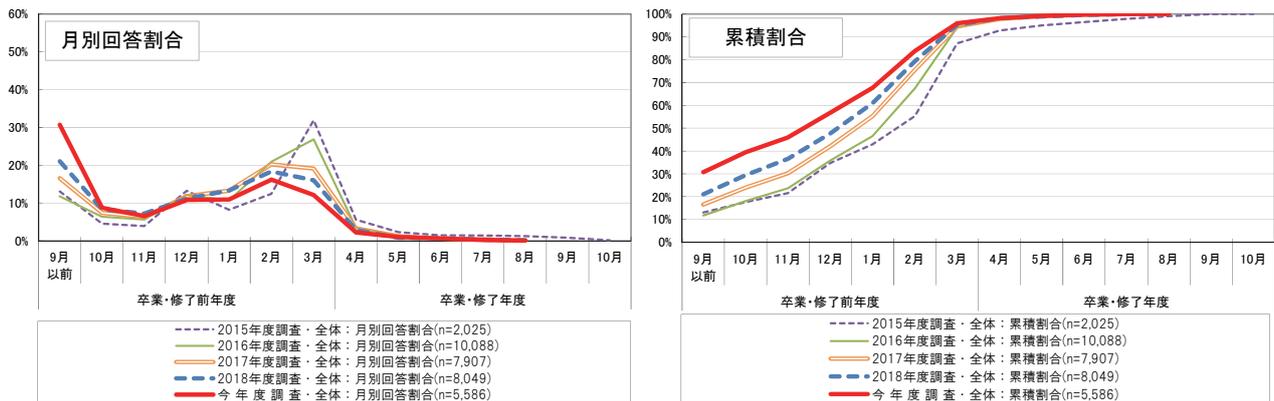
<sup>21</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (2) 業界や企業に関する分析を開始した時期

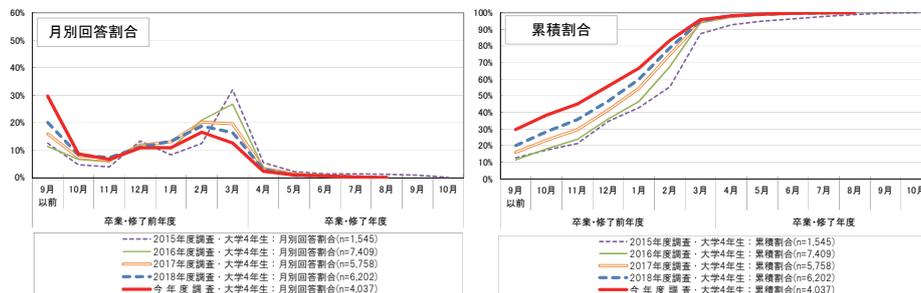
業界や企業に関する分析を開始した時期について、卒業・修了前年度の「9月以前」の回答割合が約3割と最も高くなっている<sup>22</sup>。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると、卒業・修了前年度の「9月以前」など、広報活動開始時期前の2月以前の回答割合が上昇し、全体的に分析の開始時期が若干早まっており、より早期に準備を行う傾向が見られる。

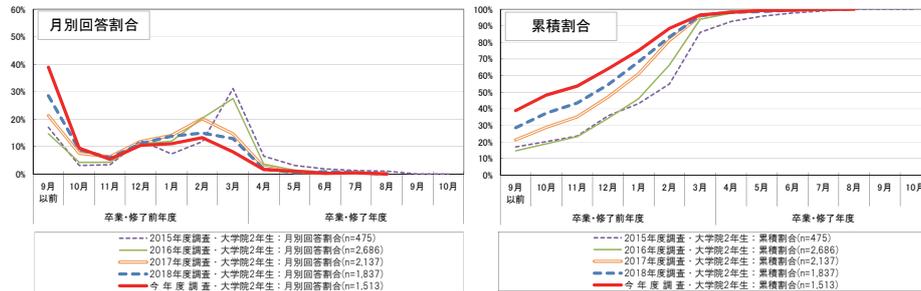
図表 3-2-1 業界や企業に関する分析を開始した時期  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>22</sup> 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。なお、2015年度調査～2018年度調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、今年度調査では卒業・修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、2015年度調査～2018年度調査との比較を行う上では、卒業・修了前年度の「6月以前」「7月」「8月」「9月」の回答を卒業・修了前年度の「9月以前」として再集計をしている。(以下、就職活動の時期に関する調査項目について同様)

図表 3-2-2 業界や企業に関する分析を開始した時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	13.2%	6.3%	6.5%	4.7%	8.7%	6.5%	10.8%	10.9%	16.2%	12.1%	2.2%	1.0%	0.6%	0.2%	0.0%
累積割合	13.2%	19.5%	26.1%	30.7%	39.4%	46.0%	56.7%	67.7%	83.8%	96.0%	98.2%	99.2%	99.8%	100.0%	100.0%

（大学4年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	12.4%	6.0%	6.6%	4.7%	8.7%	6.6%	10.8%	10.9%	16.5%	12.7%	2.3%	1.0%	0.6%	0.2%	0.0%
累積割合	12.4%	18.4%	25.0%	29.7%	38.3%	45.0%	55.8%	66.7%	83.2%	95.9%	98.2%	99.2%	99.8%	100.0%	100.0%

（大学院2年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	20.0%	8.2%	6.3%	4.4%	9.4%	5.4%	10.4%	11.1%	13.2%	8.1%	1.6%	1.0%	0.3%	0.5%	0.0%
累積割合	20.0%	28.2%	34.5%	38.9%	48.3%	53.7%	64.2%	75.2%	88.5%	96.6%	98.2%	99.2%	99.5%	100.0%	100.0%

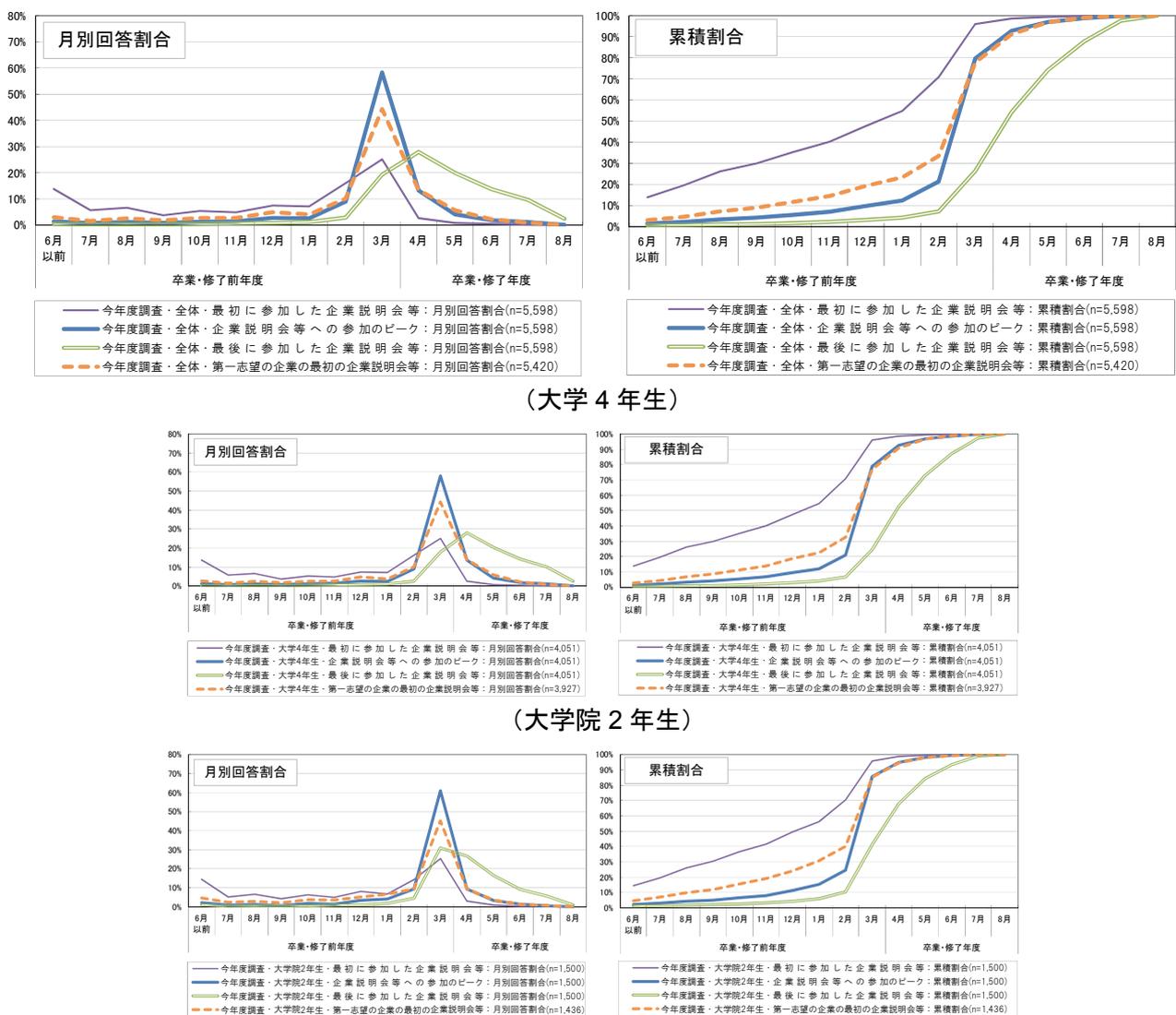
### (3) 企業説明会やセミナー等の参加状況

#### ① 企業説明会やセミナー等の参加時期

企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」は、広報活動開始時期である「3月」の回答割合が約3割と最も高くなっている<sup>23</sup>。「参加のピーク」についても、約6割が「3月」と回答しており最も割合が高い。「最後に参加した時期」については、「4月」の回答割合が約3割と最も高くなっている。また、「第一志望の企業の企業説明会等に最初に参加した時期」については、「3月」との回答が約4割となっており、「参加のピーク」と概ね同様の動きとなっている。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると<sup>24</sup>、特に「最初に参加した時期」について、今年度調査ではより早期の回答割合が高くなっている。

図表 3-3-1 企業説明会やセミナー等の参加時期  
 (「最初」、「ピーク」、「最後」、「第一志望」)の比較、大学4年生・大学院2年生)



<sup>23</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。また、「第一志望の企業の企業説明会等に最初に参加した時期」について、特段参加していない場合は集計の対象外とした。

<sup>24</sup> 2015年度調査～2018年度調査では「第一志望の企業の企業説明会等に最初に参加した時期」について調査を実施していない。

図表 3-3-2 企業説明会やセミナー等の参加時期（今年度調査・詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生）

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	13.8%	5.7%	6.6%	3.8%	5.4%	4.9%	7.5%	7.1%	16.1%	25.1%	2.6%	0.8%	0.5%	0.2%	0.0%
累積割合	13.8%	19.5%	26.1%	29.9%	35.3%	40.2%	47.6%	54.8%	70.8%	95.9%	98.6%	99.4%	99.8%	100.0%	100.0%
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.4%	0.8%	1.2%	0.8%	1.3%	1.5%	2.8%	2.6%	9.0%	58.3%	13.2%	4.1%	1.8%	1.1%	0.1%
累積割合	1.4%	2.2%	3.4%	4.2%	5.5%	6.9%	9.7%	12.3%	21.3%	79.6%	92.8%	96.9%	98.8%	99.9%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.2%	0.3%	0.2%	0.4%	0.7%	0.9%	1.1%	2.9%	19.3%	27.9%	20.0%	13.7%	9.6%	2.5%
累積割合	0.5%	0.7%	0.9%	1.1%	1.6%	2.2%	3.1%	4.2%	7.1%	26.3%	54.3%	74.2%	87.9%	97.5%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	3.0%	1.6%	2.6%	1.8%	2.7%	2.7%	4.9%	4.1%	10.1%	44.3%	13.4%	5.6%	2.2%	0.9%	0.1%
累積割合	3.0%	4.6%	7.2%	9.0%	11.7%	14.4%	19.3%	23.4%	33.5%	77.8%	91.2%	96.8%	99.0%	99.9%	100.0%

（大学４年生）

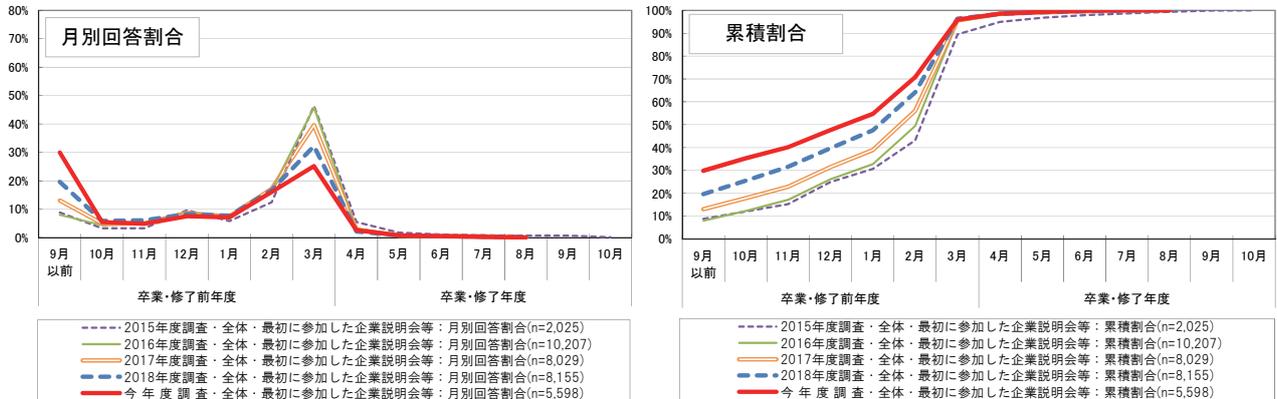
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	13.7%	5.8%	6.6%	3.7%	5.3%	4.9%	7.4%	7.2%	16.3%	25.1%	2.6%	0.8%	0.5%	0.2%	0.0%
累積割合	13.7%	19.5%	26.1%	29.8%	35.1%	40.0%	47.4%	54.6%	70.9%	96.0%	98.6%	99.3%	99.8%	100.0%	100.0%
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.3%	0.8%	1.2%	0.9%	1.2%	1.5%	2.7%	2.4%	9.0%	58.0%	13.7%	4.2%	1.9%	1.2%	0.1%
累積割合	1.3%	2.1%	3.3%	4.1%	5.3%	6.8%	9.5%	11.9%	20.9%	78.9%	92.6%	96.8%	98.7%	99.9%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%	0.4%	0.6%	0.8%	1.1%	2.7%	17.8%	28.1%	20.4%	14.3%	10.1%	2.7%
累積割合	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	1.5%	2.1%	3.0%	4.0%	6.7%	24.5%	52.6%	73.0%	87.2%	97.3%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.8%	1.5%	2.6%	1.8%	2.6%	2.6%	4.9%	3.8%	10.2%	44.2%	13.9%	5.9%	2.3%	0.9%	0.1%
累積割合	2.8%	4.3%	6.8%	8.7%	11.2%	13.8%	18.7%	22.5%	32.6%	76.9%	90.8%	96.7%	99.0%	99.9%	100.0%

（大学院２年生）

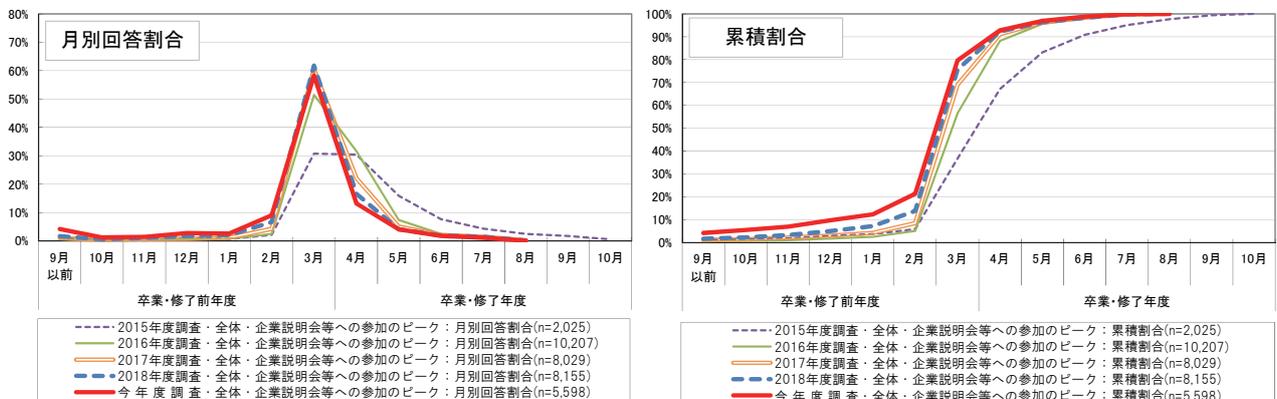
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	14.4%	5.1%	6.6%	4.2%	6.2%	4.9%	8.0%	6.7%	14.2%	25.3%	2.9%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%
累積割合	14.4%	19.5%	26.1%	30.3%	36.6%	41.5%	49.5%	56.2%	70.5%	95.8%	98.7%	99.6%	99.8%	100.0%	100.0%
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.2%	0.9%	1.2%	0.6%	1.7%	1.3%	3.4%	4.0%	9.3%	61.0%	9.3%	3.3%	1.3%	0.5%	0.0%
累積割合	2.2%	3.0%	4.3%	4.9%	6.6%	7.9%	11.3%	15.3%	24.6%	85.6%	94.9%	98.2%	99.5%	100.0%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.0%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.8%	0.9%	1.7%	4.5%	30.9%	26.6%	16.5%	9.1%	5.6%	0.9%
累積割合	1.0%	1.3%	1.7%	2.0%	2.4%	3.2%	4.2%	5.9%	10.3%	41.2%	67.8%	84.3%	93.4%	99.1%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	4.6%	2.3%	2.8%	2.1%	3.7%	3.5%	5.1%	6.6%	9.4%	45.1%	9.4%	3.5%	1.2%	0.7%	0.0%
累積割合	4.6%	7.0%	9.8%	11.9%	15.5%	19.0%	24.1%	30.7%	40.1%	85.2%	94.6%	98.1%	99.3%	100.0%	100.0%

図表 3-3-3 企業説明会やセミナー等の参加時期  
(2015年度調査～2018年度調査との比較、大学4年生・大学院2年生)

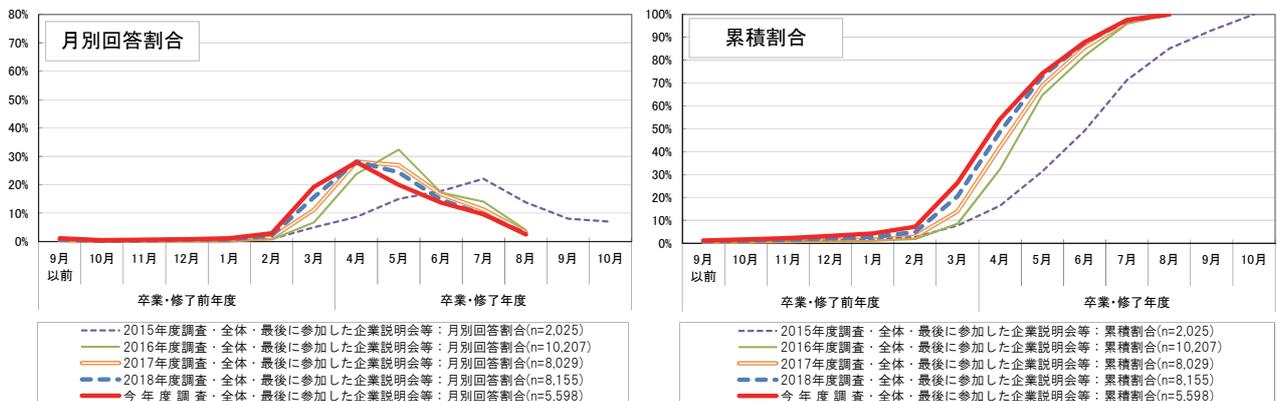
＜最初に参加した時期＞



＜参加のピーク＞

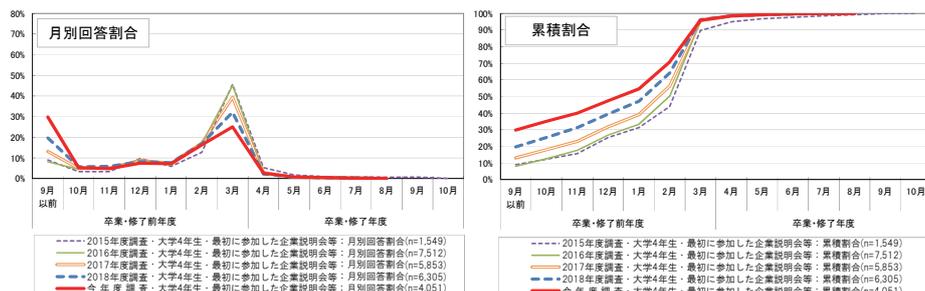


＜最後に参加した時期＞



図表 3-3-4 企業説明会やセミナー等の参加時期  
(2015年度調査～2018年度調査との比較、大学4年生)

＜最初に参加した時期＞

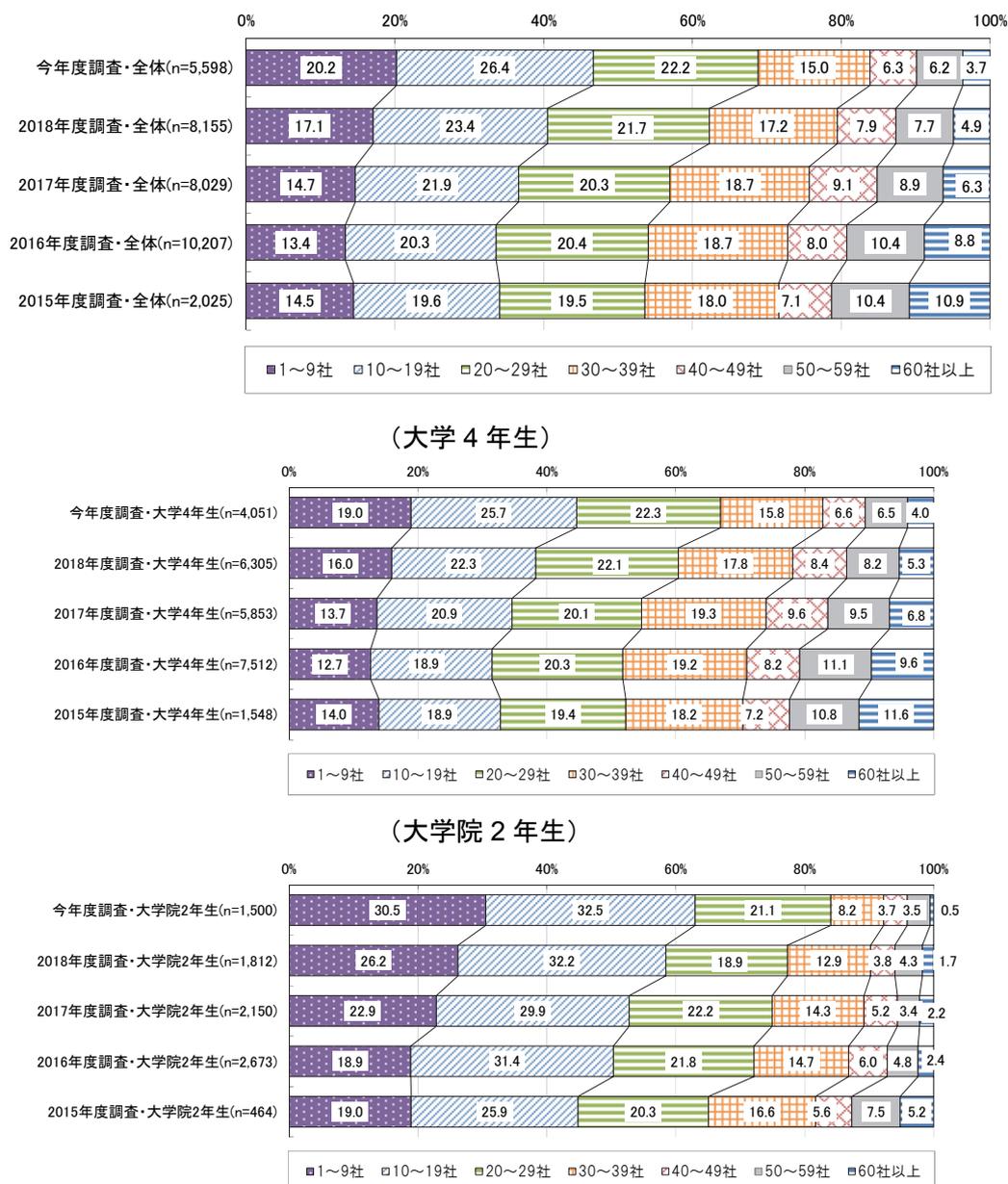




## ②企業説明会やセミナー等に参加した回数

企業説明会やセミナー等に参加した回数について、「10～19社」の割合が約3割、「1～9社」、「20～29社」、「30～39社」の割合がそれぞれ約2割となっている<sup>25</sup>。なお、20社未満の回答割合が約5割、30社未満の回答が約7割であり、2015年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査ではより少ない回数の回答割合が上昇している。

図表 3-3-6 企業説明会やセミナー等に参加した回数  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>25</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

## (4) エントリーシートの提出状況

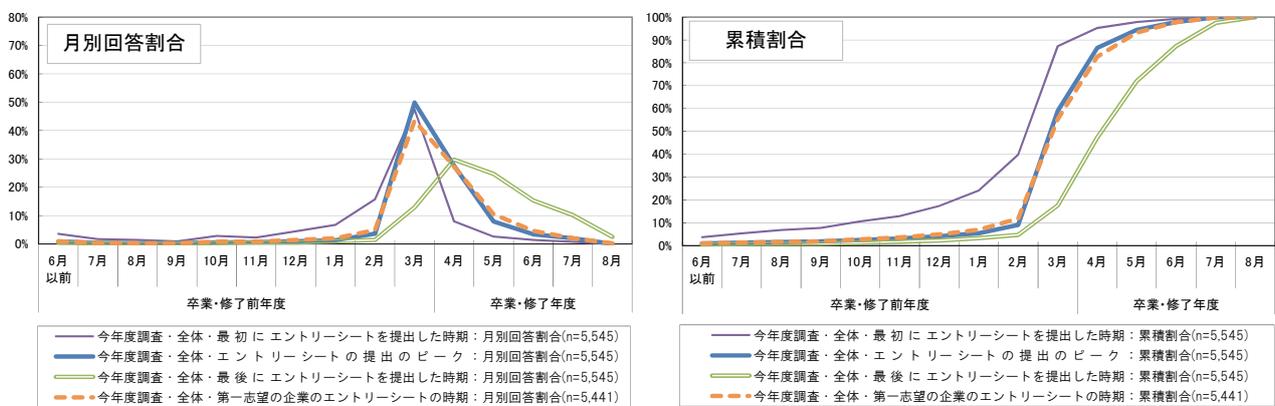
### ① エントリーシートの提出時期

エントリーシートの提出<sup>26</sup>時期について、「最初に提出した時期」は、広報活動開始時期である「3月」の回答割合が約5割と最も高くなっており<sup>27</sup>、「提出のピーク」も「3月」の回答割合が約5割と最も高くなっている。「最後に提出した時期」については、「4月」の回答割合が約3割と最も高い。また、「第一志望の企業にエントリーシートを提出した時期」についても、「3月」の回答割合が最も高く、「提出のピーク」と概ね同様の動きとなっている。

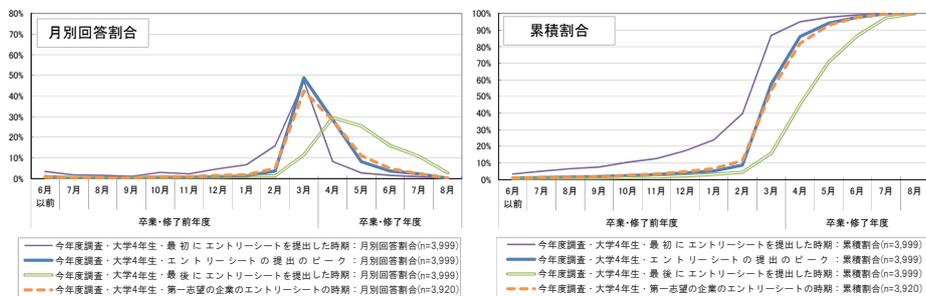
2015年度調査～2018年度調査と比較すると<sup>28</sup>、「最初」、「ピーク」、「最後」のいずれも、今年度調査では時期が若干早まっている。

表 3-4-1 エントリーシートの提出時期

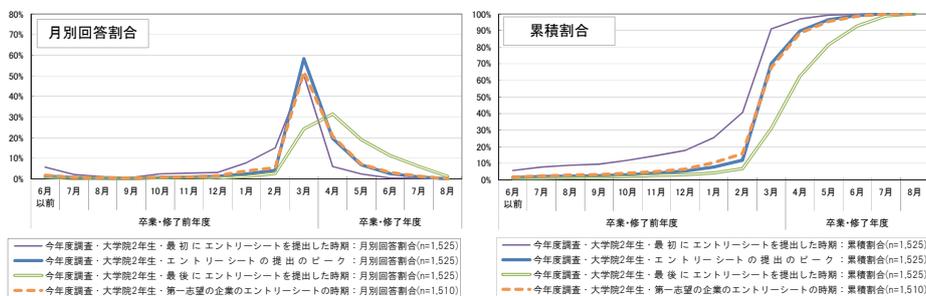
(「最初」、「ピーク」、「最後」、「第一志望」の比較、大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>26</sup> エントリーシートの提出とは、企業や官公庁などの採用選考に参加するための応募シートを提出することを指すものとし、就職情報会社のサイト等への登録のみの場合は提出数に入れないように、回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>27</sup> エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。また、「第一志望の企業にエントリーシートを提出した時期」について、特段提出していない場合は集計の対象外とした。

<sup>28</sup> 2015年度調査～2018年度調査では「第一志望の企業にエントリーシートを提出した時期」について調査を実施していない。

図表 3-4-2 エントリーシートの提出時期（今年度調査・詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生）

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	3.6%	1.7%	1.4%	0.9%	2.8%	2.3%	4.5%	6.8%	15.7%	47.4%	8.0%	2.6%	1.4%	0.8%	0.0%
累積割合	3.6%	5.3%	6.8%	7.7%	10.5%	12.8%	17.3%	24.1%	39.8%	87.2%	95.2%	97.8%	99.2%	100.0%	100.0%
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.4%	0.3%	0.3%	0.6%	0.7%	1.0%	1.3%	3.6%	49.9%	27.6%	7.9%	3.4%	2.0%	0.1%
累積割合	0.9%	1.3%	1.5%	1.8%	2.4%	3.1%	4.0%	5.4%	9.0%	58.9%	86.5%	94.4%	97.9%	99.9%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	0.5%	0.6%	1.0%	1.4%	12.9%	29.7%	24.7%	15.4%	10.2%	2.5%
累積割合	0.4%	0.6%	0.7%	0.8%	1.2%	1.7%	2.2%	3.2%	4.6%	17.5%	47.2%	71.9%	87.3%	97.5%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.3%	0.3%	0.3%	0.8%	0.8%	1.4%	2.0%	4.9%	43.5%	27.3%	10.6%	4.6%	2.0%	0.2%
累積割合	0.9%	1.3%	1.6%	1.8%	2.7%	3.5%	4.9%	6.9%	11.8%	55.3%	82.6%	93.2%	97.8%	99.8%	100.0%

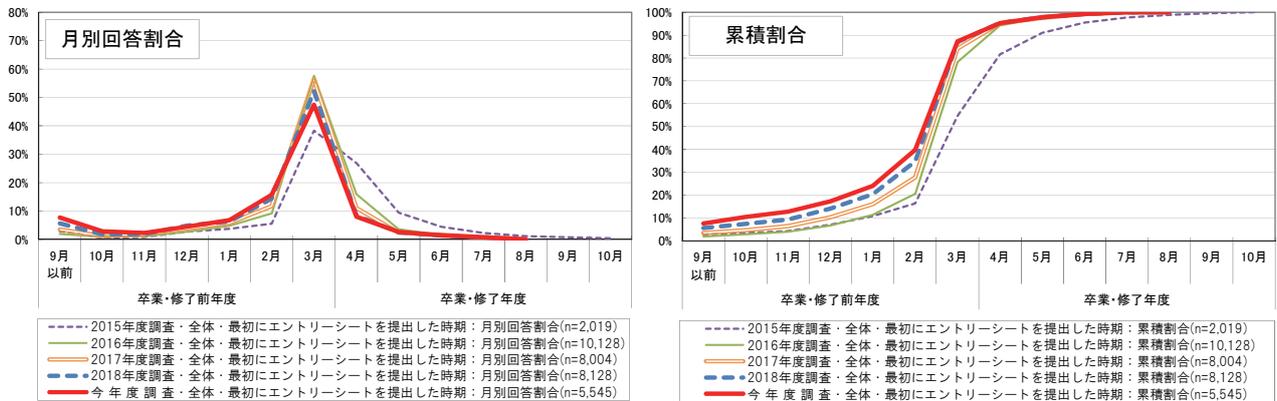
（大学４年生）

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	3.3%	1.7%	1.5%	1.0%	2.9%	2.2%	4.7%	6.6%	15.8%	47.0%	8.2%	2.7%	1.5%	0.8%	0.0%
累積割合	3.3%	5.0%	6.5%	7.5%	10.4%	12.6%	17.3%	23.9%	39.7%	86.8%	95.0%	97.7%	99.2%	100.0%	100.0%
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8%	0.4%	0.2%	0.3%	0.6%	0.6%	0.9%	1.2%	3.6%	48.8%	28.6%	8.1%	3.6%	2.2%	0.1%
累積割合	0.8%	1.2%	1.4%	1.7%	2.3%	2.9%	3.9%	5.1%	8.6%	57.5%	86.1%	94.1%	97.7%	99.9%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.2%	0.0%	0.1%	0.3%	0.5%	0.6%	0.9%	1.3%	11.5%	29.5%	25.4%	15.9%	10.7%	2.7%
累積割合	0.4%	0.6%	0.6%	0.7%	1.1%	1.5%	2.1%	3.1%	4.3%	15.8%	45.3%	70.7%	86.6%	97.3%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8%	0.3%	0.2%	0.3%	0.8%	0.8%	1.4%	1.8%	4.8%	42.4%	28.2%	11.0%	4.8%	2.1%	0.2%
累積割合	0.8%	1.1%	1.4%	1.6%	2.5%	3.3%	4.7%	6.5%	11.3%	53.7%	81.9%	92.9%	97.7%	99.8%	100.0%

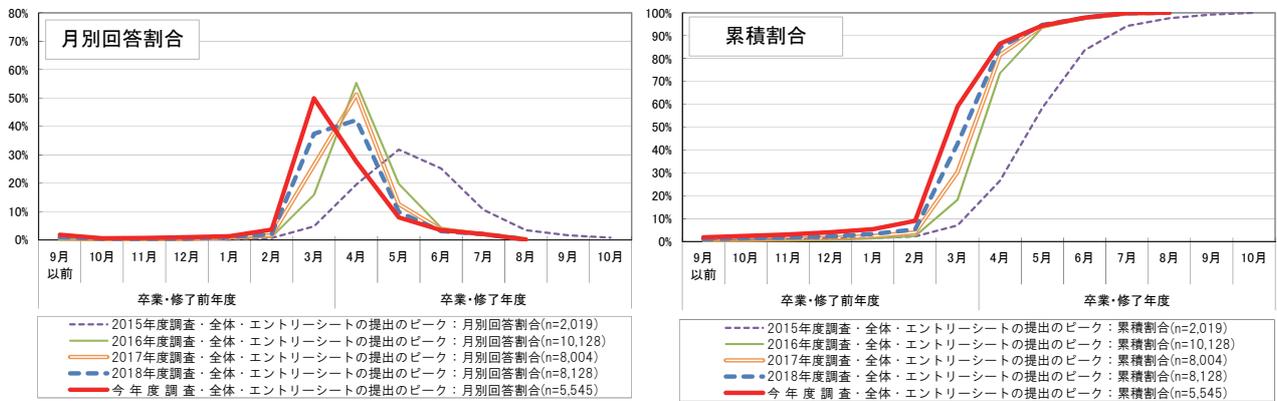
（大学院２年生）

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	5.7%	2.1%	1.0%	0.6%	2.4%	2.8%	3.1%	7.8%	15.1%	50.3%	6.0%	2.3%	0.4%	0.2%	0.0%
累積割合	5.7%	7.8%	8.8%	9.5%	11.9%	14.7%	17.7%	25.6%	40.6%	90.9%	97.0%	99.3%	99.8%	100.0%	100.0%
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.4%	0.7%	0.3%	0.2%	0.7%	1.0%	1.2%	2.4%	4.1%	58.3%	19.7%	6.8%	2.5%	0.9%	0.0%
累積割合	1.4%	2.0%	2.3%	2.5%	3.2%	4.1%	5.4%	7.7%	11.9%	70.1%	89.8%	96.6%	99.1%	100.0%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.1%	0.3%	0.2%	0.5%	0.8%	0.3%	1.1%	2.6%	24.2%	31.5%	19.0%	11.3%	6.0%	1.2%
累積割合	0.9%	1.0%	1.3%	1.5%	2.0%	2.8%	3.1%	4.2%	6.8%	31.0%	62.5%	81.5%	92.8%	98.8%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.7%	0.6%	0.6%	0.3%	0.9%	0.9%	1.5%	3.9%	5.4%	51.9%	20.7%	7.1%	3.1%	1.4%	0.0%
累積割合	1.7%	2.3%	2.9%	3.2%	4.1%	5.0%	6.5%	10.4%	15.8%	67.7%	88.4%	95.5%	98.6%	100.0%	100.0%

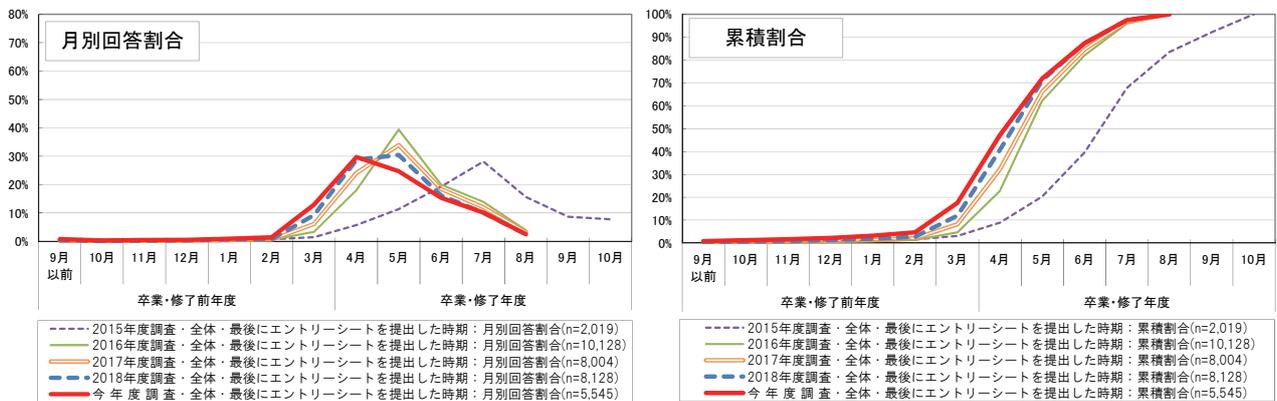
図表 3-4-3 エントリーシートの提出時期  
(2015年度調査～2018年度調査との比較、大学4年生・大学院2年生)  
＜最初に提出した時期＞



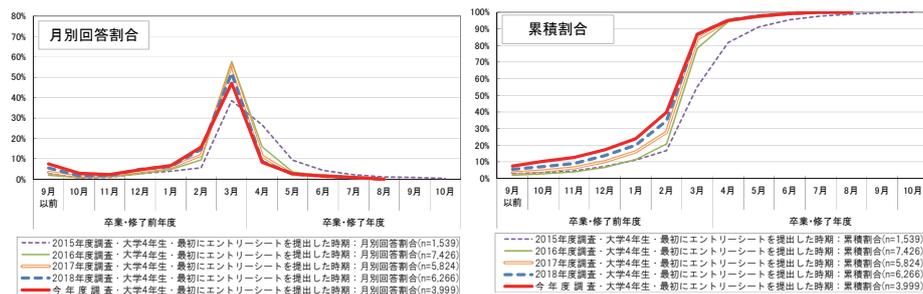
＜提出のピーク＞



＜最後に提出した時期＞



図表 3-4-4 エントリーシートの提出時期 (2015年度調査～2018年度調査との比較、大学4年生)  
＜最初に提出した時期＞

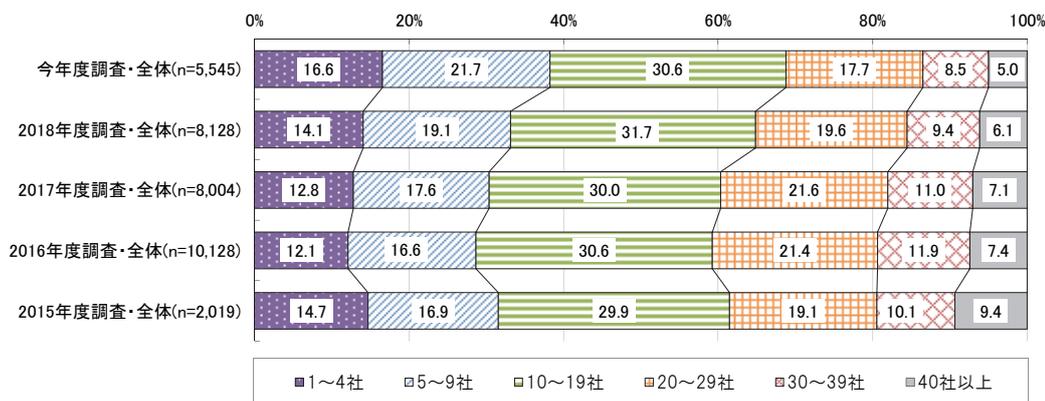




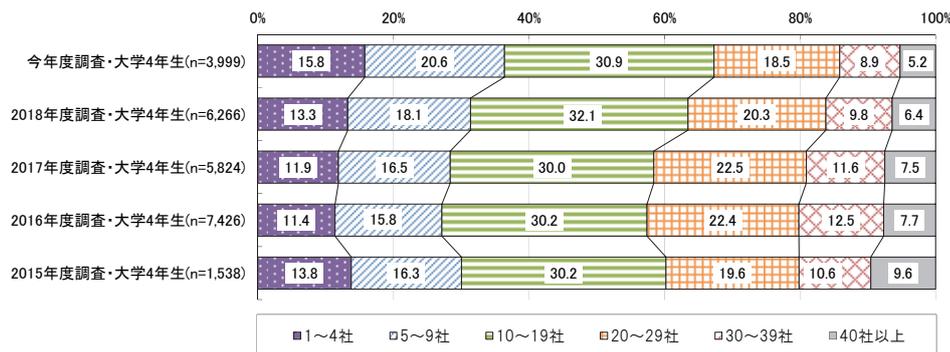
## ②エントリーシートの提出数

何社にエントリーシートを提出したかについて、「10～19社」の割合が約3割と最も高くなっている<sup>29</sup>。なお、10社未満の回答割合が約4割、20社未満の割合が約7割であり、2015年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査ではより少ない提出数の割合が上昇している。

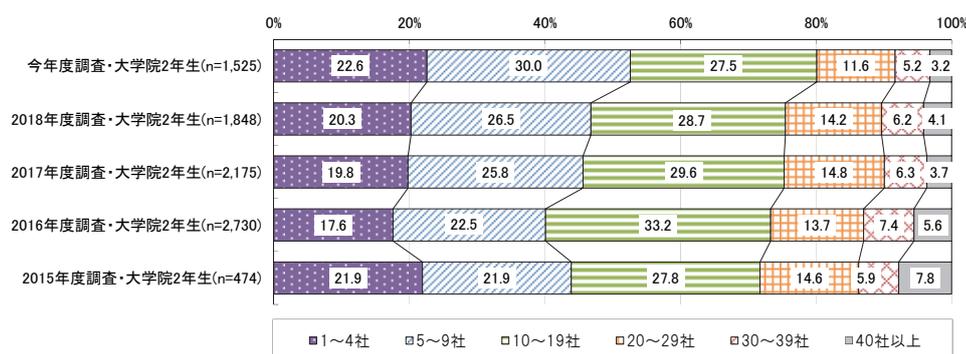
図表 3-4-6 エントリーシートの提出数  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>29</sup> エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

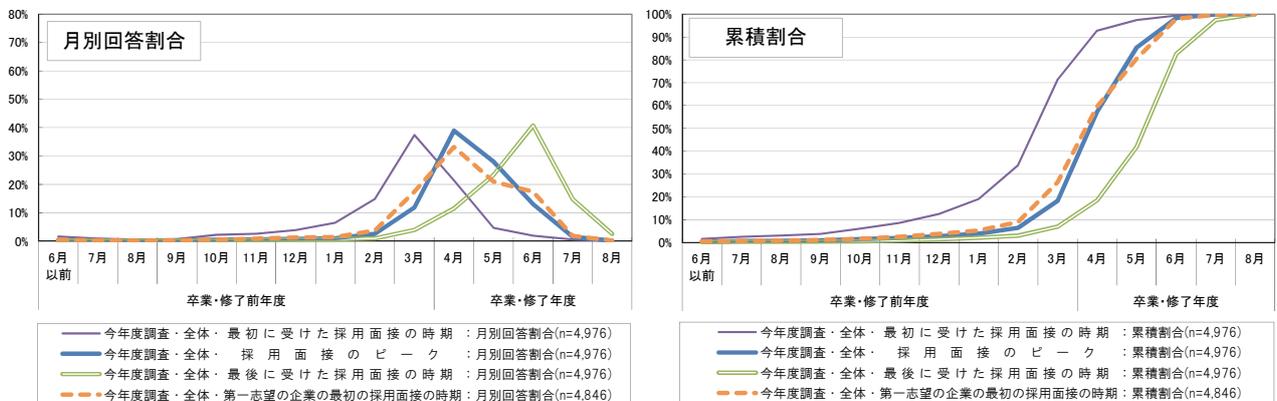
## (5) 採用面接の実施状況

### ①採用面接の実施時期

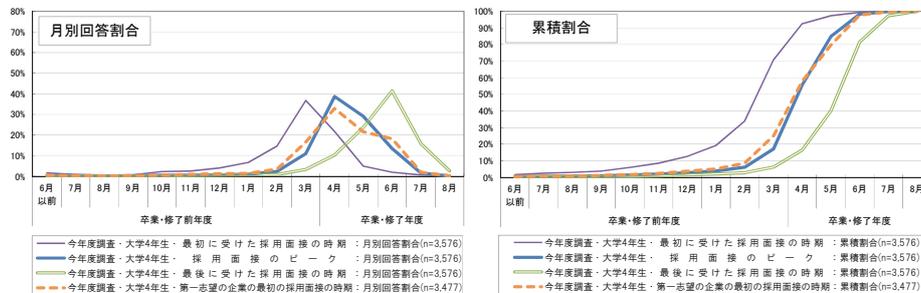
採用面接<sup>30</sup>の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」は、広報活動開始時期である「3月」の回答割合が約4割と最も高くなっている<sup>31</sup>。「採用面接のピーク」は、採用選考活動開始時期である6月の前の「4月」の回答割合が約4割と最も高くなっている。「最後に受けた採用面接の時期」については、採用選考活動開始時期である「6月」の回答が約4割と最も高くなっている。また、「第一志望の企業の最初の採用面接時期」については、「4月」の回答割合が約3割と最も高く、「採用面接のピーク」と概ね同様の動きとなっている。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると<sup>32</sup>、「最初の時期」「ピーク」「最後の時期」のいずれも、今年度調査では時期が若干早まっている。

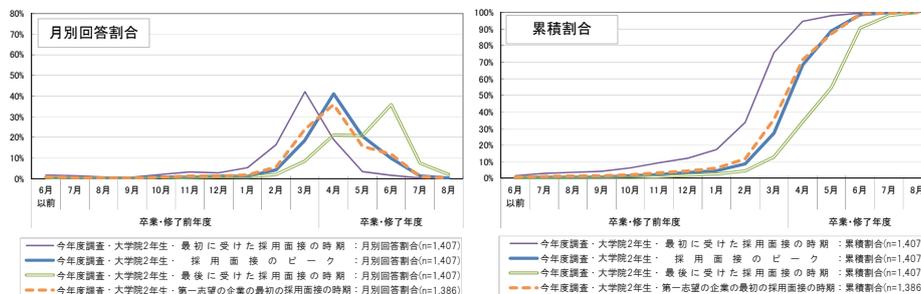
図表 3-5-1 採用面接の実施時期  
 (「最初」、「ピーク」、「最後」、「第一志望」の比較、大学4年生・大学院2年生、  
 公務員・教職員志望者除く)



#### (大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



#### (大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>30</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>31</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。なお、「第一志望の企業の最初の採用面接時期」について、特段受けていない場合には集計の対象外とした。

<sup>32</sup> 2015年度調査～2018年度調査では、第一志望の企業の面接時期の設問は別形式で設定しているため、今年度調査との比較はしていない。

図表 3-5-2 採用面接の実施時期（今年度調査・詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.6%	0.9%	0.5%	0.7%	2.3%	2.6%	3.9%	6.5%	14.9%	37.4%	21.4%	4.7%	1.9%	0.6%	0.0%
累積割合	1.6%	2.5%	3.1%	3.8%	6.1%	8.7%	12.5%	19.1%	33.9%	71.3%	92.8%	97.4%	99.4%	100.0%	100.0%
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.3%	0.1%	0.2%	0.5%	0.6%	0.8%	1.0%	2.6%	11.8%	39.0%	28.1%	13.0%	1.5%	0.2%
累積割合	0.4%	0.7%	0.7%	0.9%	1.5%	2.0%	2.8%	3.9%	6.4%	18.3%	57.2%	85.3%	98.3%	99.8%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	0.6%	1.0%	3.9%	11.5%	23.3%	40.8%	14.8%	2.6%
累積割合	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	0.5%	0.9%	1.5%	2.1%	3.0%	7.0%	18.5%	41.8%	82.6%	97.4%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.3%	0.1%	0.3%	0.5%	0.9%	1.3%	1.4%	3.8%	17.4%	33.2%	20.9%	17.4%	1.8%	0.2%
累積割合	0.5%	0.8%	0.9%	1.2%	1.6%	2.6%	3.8%	5.2%	9.0%	26.4%	59.6%	80.5%	97.9%	99.8%	100.0%

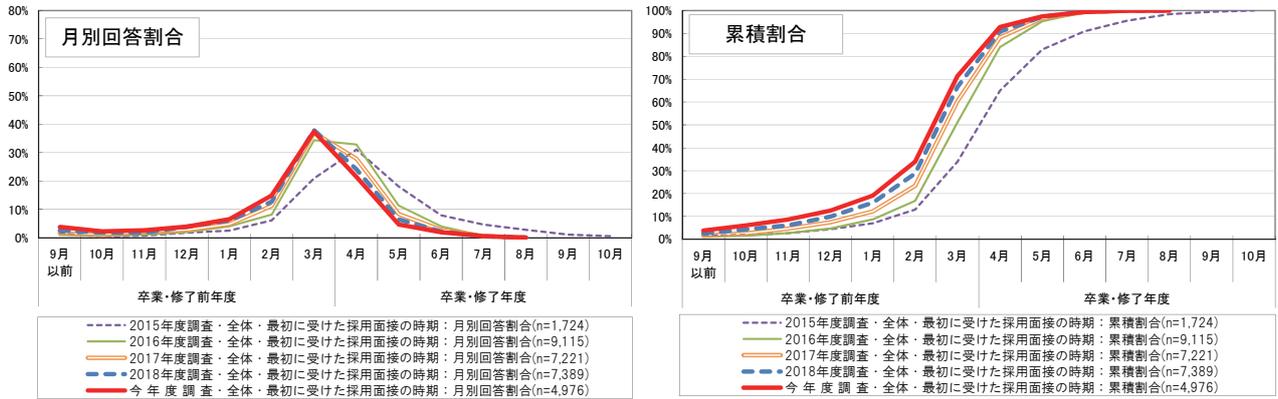
（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.6%	0.8%	0.5%	0.7%	2.3%	2.5%	4.0%	6.7%	14.7%	36.8%	21.8%	4.9%	2.0%	0.6%	0.0%
累積割合	1.6%	2.5%	3.0%	3.7%	6.0%	8.6%	12.6%	19.3%	34.0%	70.7%	92.5%	97.4%	99.4%	100.0%	100.0%
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.3%	0.1%	0.2%	0.5%	0.6%	0.7%	1.0%	2.3%	11.0%	38.7%	29.1%	13.5%	1.6%	0.1%
累積割合	0.4%	0.7%	0.7%	0.9%	1.5%	2.0%	2.7%	3.8%	6.1%	17.1%	55.7%	84.8%	98.3%	99.9%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	0.6%	0.8%	3.3%	10.3%	23.7%	41.4%	15.8%	2.6%
累積割合	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.9%	1.4%	2.0%	2.8%	6.2%	16.5%	40.1%	81.5%	97.4%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.3%	0.1%	0.3%	0.5%	0.9%	1.3%	1.4%	3.5%	16.5%	32.9%	21.6%	18.2%	2.0%	0.2%
累積割合	0.4%	0.7%	0.8%	1.1%	1.6%	2.5%	3.7%	5.1%	8.6%	25.1%	58.0%	79.6%	97.8%	99.8%	100.0%

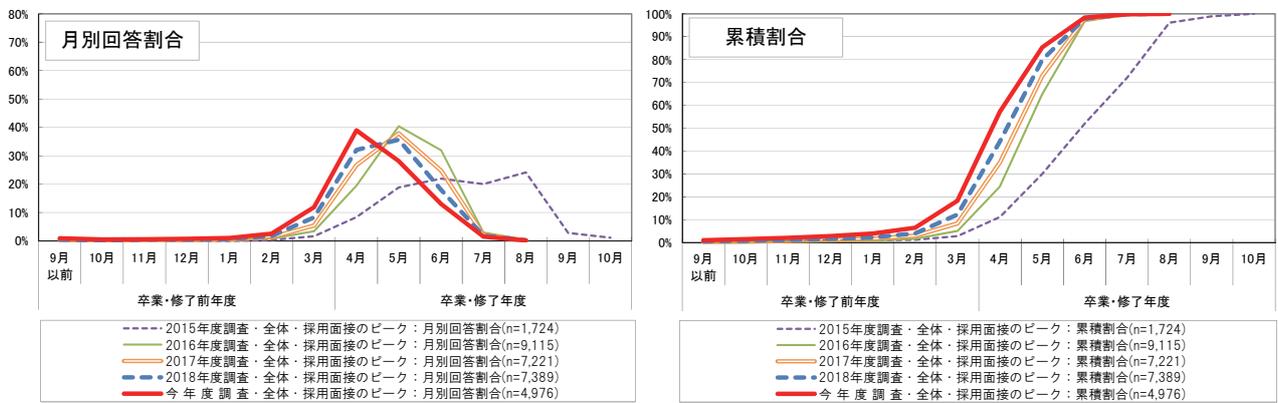
（大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.6%	1.3%	0.7%	0.6%	2.0%	3.1%	2.7%	5.2%	16.4%	42.1%	18.8%	3.3%	1.6%	0.3%	0.2%
累積割合	1.6%	3.0%	3.6%	4.3%	6.3%	9.4%	12.1%	17.3%	33.7%	75.8%	94.6%	98.0%	99.5%	99.8%	100.0%
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.2%	0.1%	0.1%	0.7%	0.7%	1.3%	1.0%	4.2%	18.5%	41.0%	20.5%	9.7%	1.2%	0.2%
累積割合	0.5%	0.7%	0.8%	0.8%	1.6%	2.3%	3.5%	4.6%	8.7%	27.3%	68.3%	88.8%	98.5%	99.8%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.5%	0.8%	0.6%	2.0%	8.5%	21.1%	20.7%	35.8%	7.4%	2.0%
累積割合	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	1.1%	1.9%	2.5%	4.5%	13.0%	34.1%	54.8%	90.6%	98.0%	100.0%
第一志望の企業	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8%	0.4%	0.2%	0.2%	0.6%	1.2%	1.1%	1.7%	5.6%	23.8%	35.8%	15.6%	11.8%	0.9%	0.2%
累積割合	0.8%	1.2%	1.4%	1.5%	2.1%	3.4%	4.5%	6.2%	11.8%	35.6%	71.4%	87.1%	98.8%	99.8%	100.0%

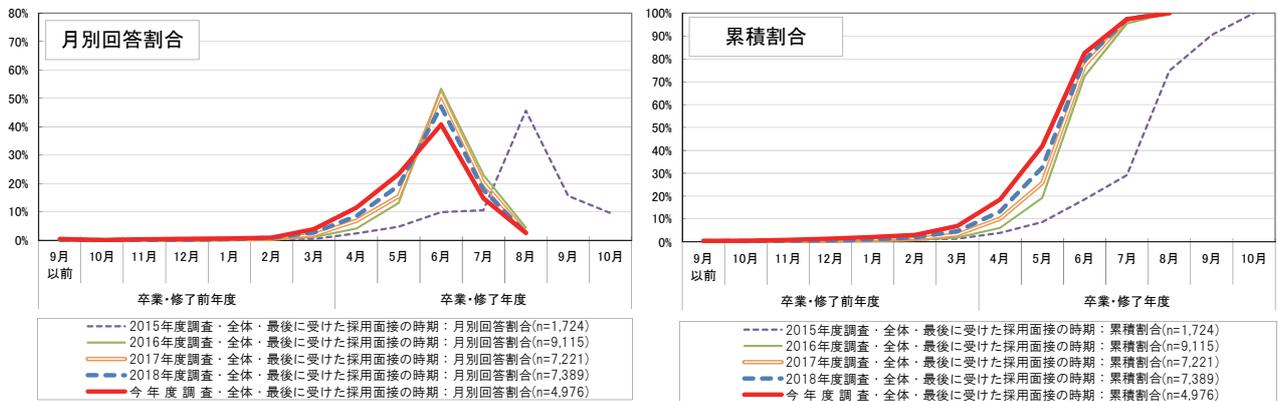
図表 3-5-3 採用面接の実施時期  
(2015年度調査～2018年度調査との比較、大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)  
＜最初に受けた採用面接の時期＞



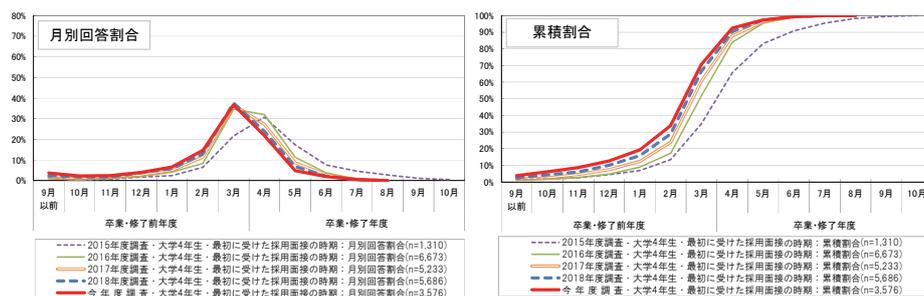
＜採用面接のピーク＞



＜最後に受けた採用面接の時期＞



図表 3-5-4 採用面接の実施時期  
(2015年度調査～2018年度調査との比較、大学4年生、公務員・教職員志望者除く)  
＜最初に受けた採用面接の時期＞



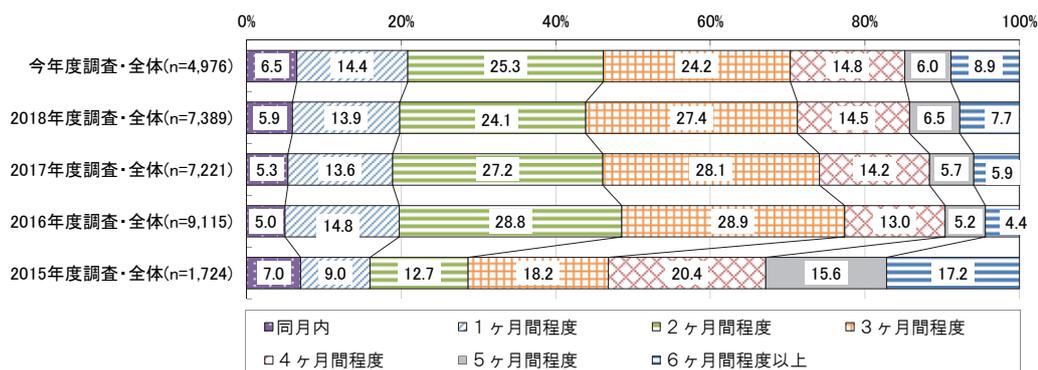


## ②最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

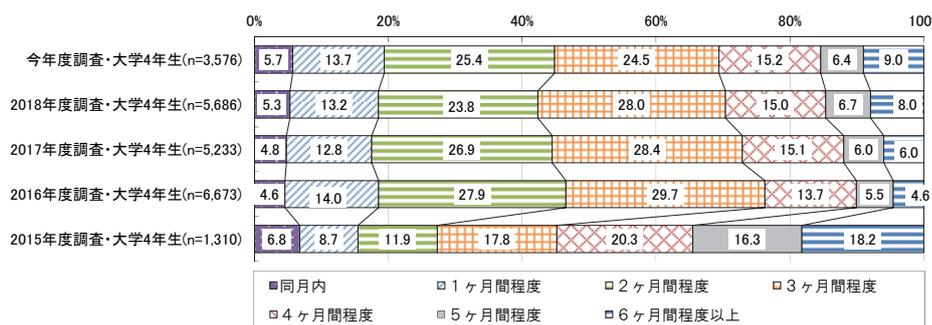
「最初に受けた採用面接の時期」<sup>33</sup>から「最後に受けた採用面接の時期」までの期間については<sup>34</sup>、「2ヶ月間程度<sup>35</sup>」の割合が約3割と最も高く、次いで「3ヶ月間程度」の割合が高くなっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、より長い面接期間の割合が若干上昇しているが、採用選考活動開始時期が卒業・修了年度の8月とされていた2015年度調査と比較すると、面接の期間は短い傾向が見られる。

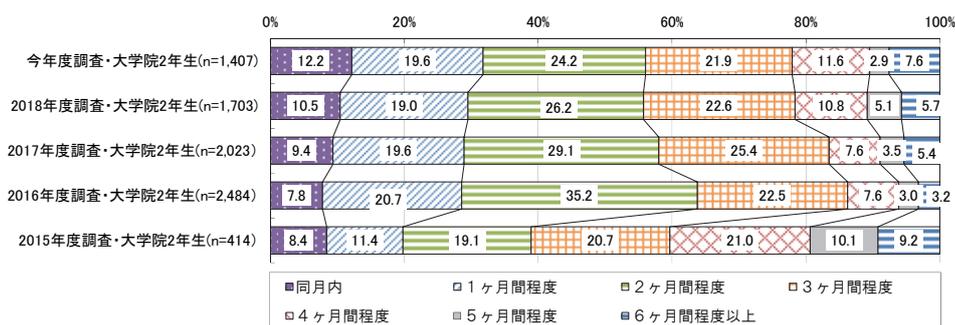
図表 3-5-6 最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



### (大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



### (大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>33</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

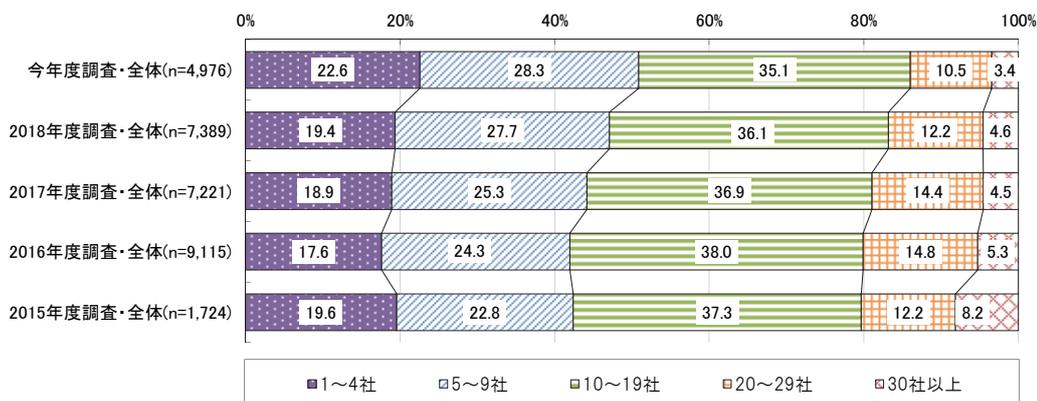
<sup>34</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>35</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも採用面接を受けていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

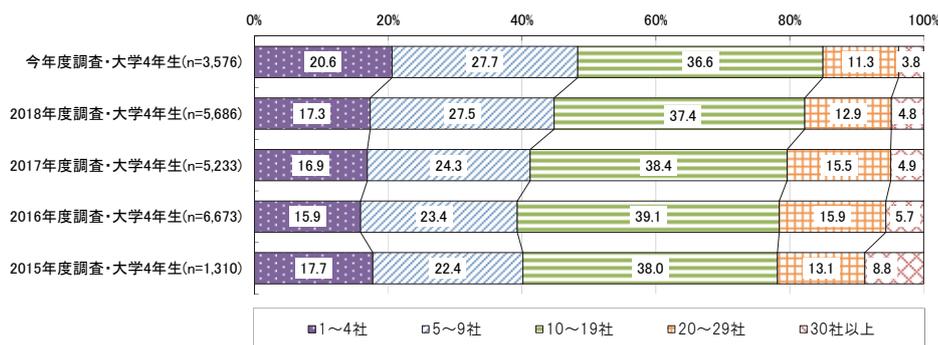
### ③採用面接を受けた企業数

何社の採用面接を受けたかについて、「10～19社」の割合が約4割と最も高くなっている<sup>36</sup>。なお、10社未満の回答割合が約5割、20社未満の割合が約9割であり、2015年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査ではより少ない件数の回答割合が上昇している。

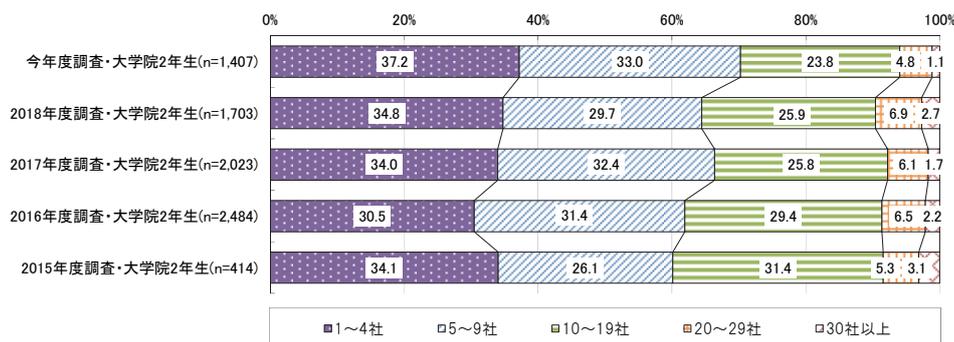
図表 3-5-7 採用面接を受けた企業数  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>36</sup> 採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

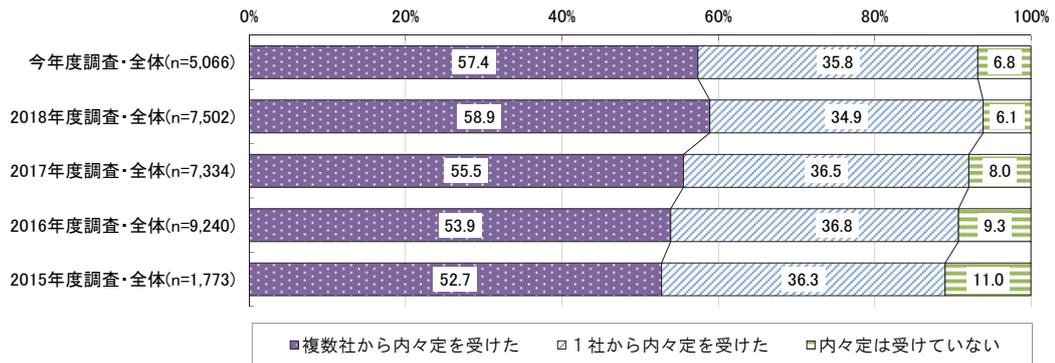
## (6) 内々定の状況・内々定の時期

### ① 調査実施時点での内々定の状況

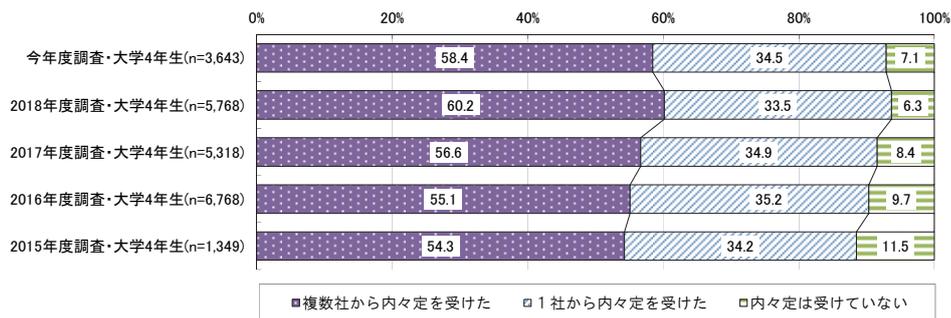
内々定の状況について<sup>37</sup>、調査実施時点で 9 割以上が内々定を受けている状況にある。また、約 6 割は「複数社から内々定を受けた」と回答している。

今年度調査は 2018 年度調査と比較して、概ね同様の結果となっている。

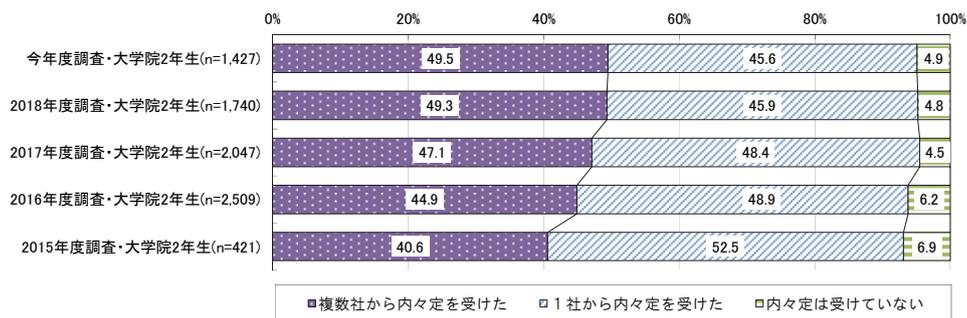
図表 3-6-1 調査実施時点での内々定の状況  
(大学 4 年生・大学院 2 年生、公務員・教職員志望者除く)



### (大学 4 年生、公務員・教職員志望者除く)



### (大学院 2 年生、公務員・教職員志望者除く)



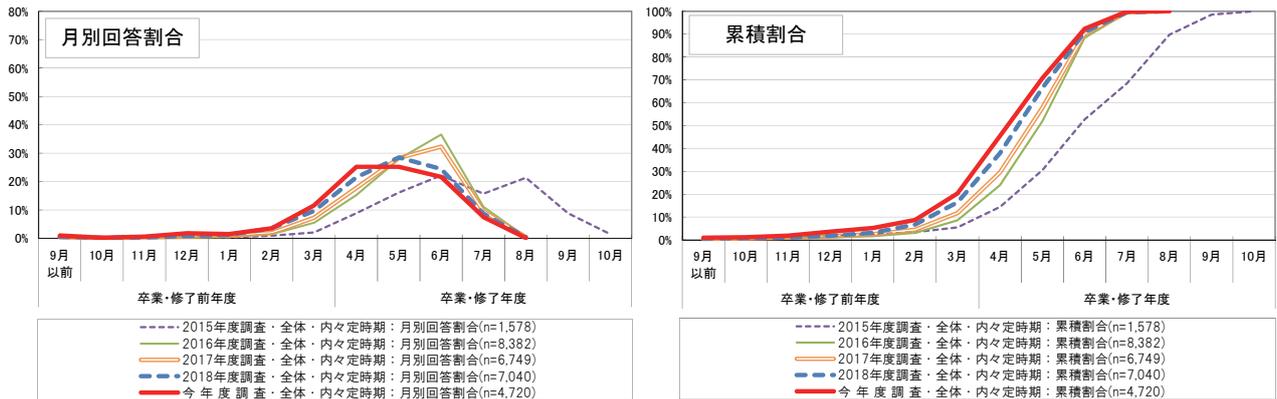
<sup>37</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

## ②内々定を受けた時期（最初の内々定）

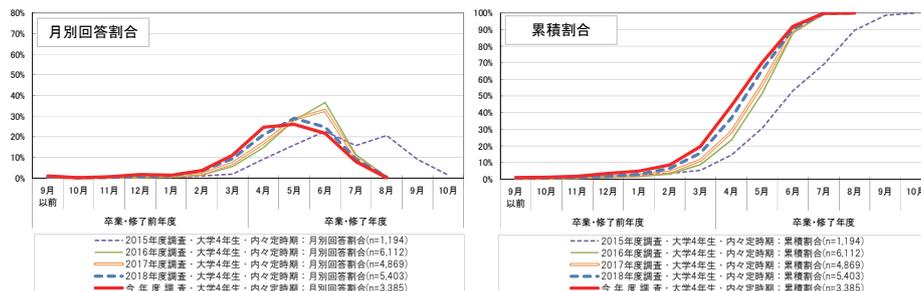
内々定を受けた時期について<sup>38</sup>、採用選考活動開始時期である6月の前の「4月」及び「5月」の回答割合が約3割と最も高くなっている。累積割合では、約7割が5月以前に内々定を受けたと回答している。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では内々定の時期が若干早まっている。

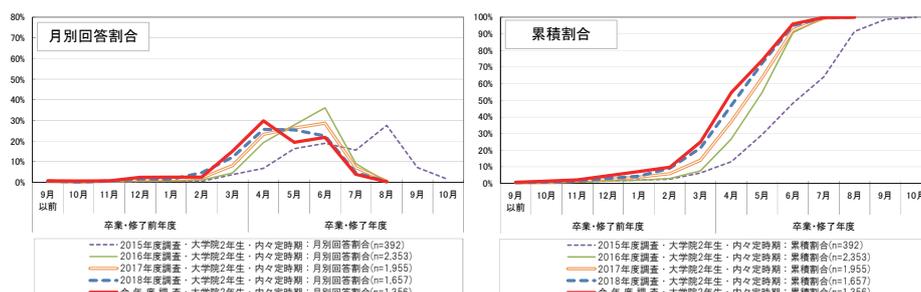
図表 3-6-2 内々定を受けた時期（最初の内々定）  
（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）



（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



<sup>38</sup> 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

図表 3-6-3 内々定を受けた時期（今年度調査・詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.6%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.6%	1.8%	1.5%	3.5%	11.6%	25.2%	25.2%	21.7%	7.5%	0.1%
累積割合	0.6%	0.7%	0.9%	1.0%	1.2%	1.9%	3.7%	5.2%	8.7%	20.3%	45.5%	70.7%	92.4%	99.9%	100.0%

（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.6%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.6%	1.7%	1.4%	3.7%	11.1%	24.6%	26.0%	21.7%	8.0%	0.1%
累積割合	0.6%	0.7%	0.9%	1.0%	1.2%	1.8%	3.5%	4.9%	8.6%	19.7%	44.2%	70.2%	91.9%	99.9%	100.0%

（大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.8%	2.4%	2.6%	2.6%	15.2%	29.8%	19.4%	21.8%	3.8%	0.2%
累積割合	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	1.4%	2.2%	4.6%	7.2%	9.7%	24.9%	54.7%	74.1%	95.9%	99.8%	100.0%

③内々定を受けた時期（内々定を複数社から受けた場合）

「複数社から内々定を受けた」と回答した者について、「最初に内々定を受けた時期」は、採用選考活動開始時期である6月の前の「4月」の回答が約3割と最も高く、「就職予定の企業の内々定を受けた時期」は「6月」の回答が約4割と最も高くなっている<sup>39</sup>。

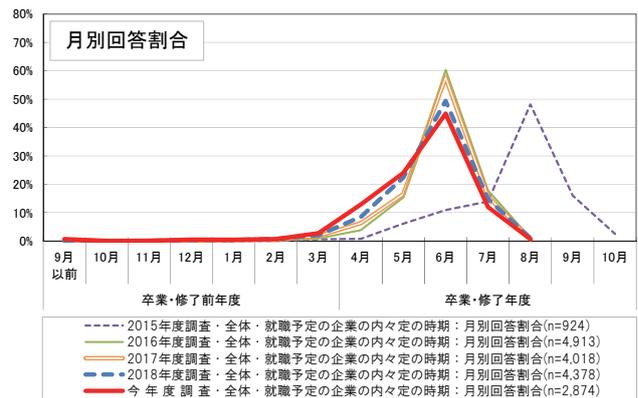
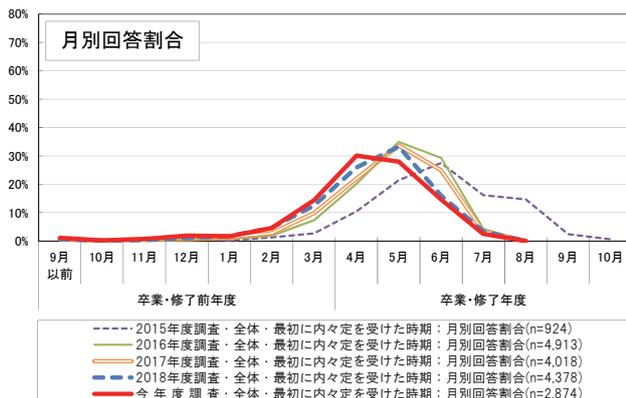
2015年度調査～2018年度調査と比較すると、「最初に内々定を受けた時期」、「就職予定の企業の内々定を受けた時期」ともに、今年度はより早期の回答割合が若干高くなっている。

図表 3-6-4 内々定を受けた時期（複数社から受けた場合）

（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

<最初に内々定を受けた時期>

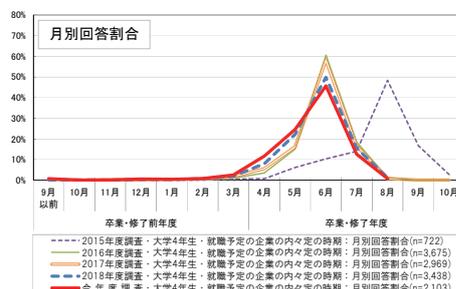
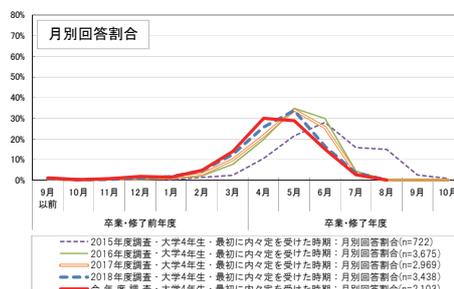
<就職予定の企業の内々定を受けた時期>



（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

<最初に内々定を受けた時期>

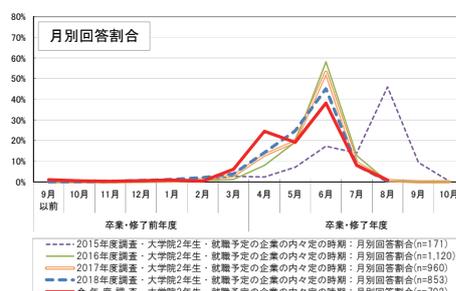
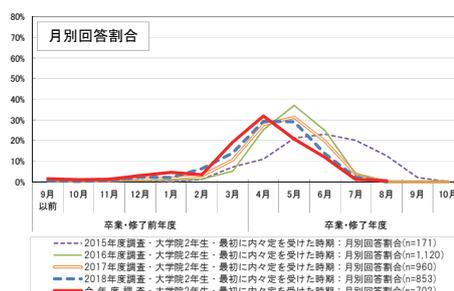
<就職予定の企業の内々定を受けた時期>



（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

<最初に内々定を受けた時期>

<就職予定の企業の内々定を受けた時期>



<sup>39</sup> 「就職予定の企業の内々定」に関して、「就職予定の企業はない」と回答した者は集計の対象外とした。

図表 3-6-5 内々定を受けた時期（複数社から受けた場合、詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8%	0.2%	0.0%	0.1%	0.3%	0.7%	1.9%	1.7%	4.6%	14.4%	30.1%	28.0%	14.6%	2.5%	0.0%
累積割合	0.8%	1.0%	1.0%	1.1%	1.4%	2.2%	4.1%	5.8%	10.4%	24.7%	54.8%	82.8%	97.5%	100.0%	100.0%
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.5%	0.4%	0.7%	2.8%	13.0%	24.0%	44.9%	12.0%	0.7%
累積割合	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.9%	1.5%	1.9%	2.6%	5.5%	18.4%	42.4%	87.3%	99.3%	100.0%

（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8%	0.2%	0.0%	0.1%	0.2%	0.7%	1.8%	1.4%	4.7%	13.8%	29.9%	28.8%	15.0%	2.6%	0.0%
累積割合	0.8%	1.0%	1.0%	1.1%	1.3%	2.0%	3.8%	5.2%	9.9%	23.7%	53.6%	82.4%	97.4%	100.0%	100.0%
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.5%	0.4%	0.8%	2.5%	11.7%	24.6%	45.6%	12.5%	0.7%
累積割合	0.5%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	1.4%	1.8%	2.5%	5.0%	16.7%	41.2%	86.8%	99.3%	100.0%

（大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

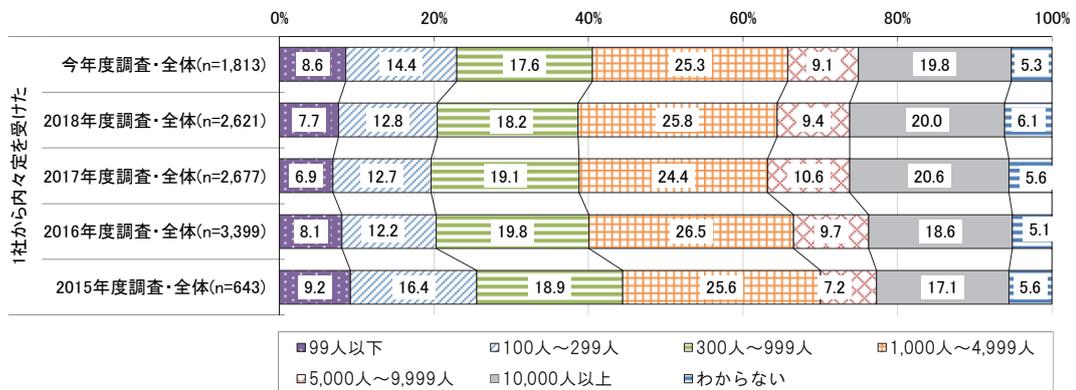
最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.4%	0.0%	0.1%	0.0%	1.0%	1.3%	3.0%	4.6%	3.4%	19.1%	31.9%	20.7%	11.8%	1.2%	0.5%
累積割合	1.4%	1.4%	1.5%	1.5%	2.5%	3.8%	6.8%	11.4%	14.8%	34.0%	65.9%	86.6%	98.4%	99.5%	100.0%
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%	0.5%	0.9%	0.4%	6.1%	24.5%	19.1%	38.1%	8.0%	0.7%
累積割合	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.5%	1.7%	2.3%	3.1%	3.5%	9.6%	34.0%	53.2%	91.3%	99.3%	100.0%

#### ④内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）

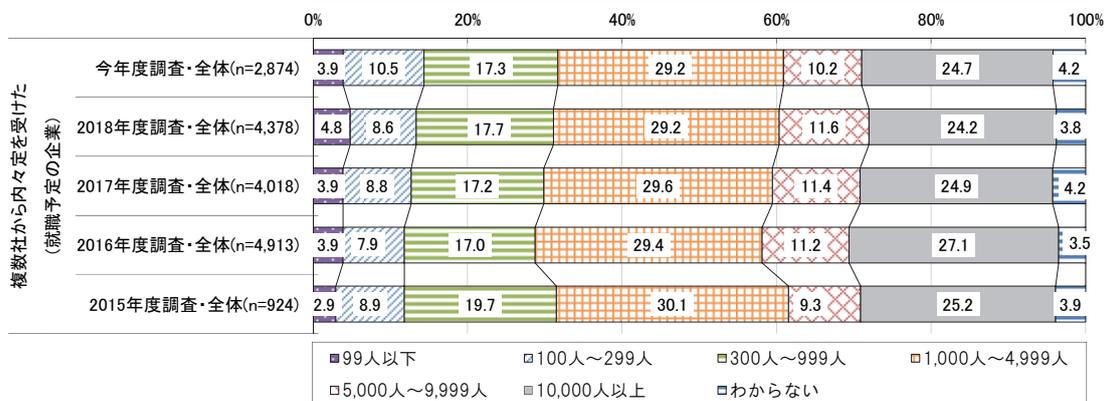
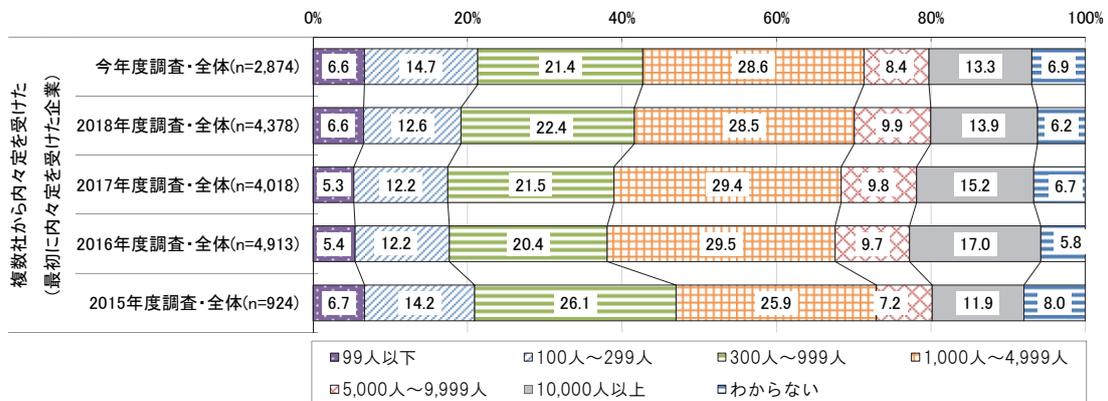
内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）について、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者のそれぞれについて集計を行った。複数社から内々定を受けた者については、最初に内々定を受けた企業と、就職予定の企業のそれぞれについて回答を得た。

これらのうち、複数社から内々定を受けた者について、「最初に内々定を受けた企業」に対して「就職予定の企業」の方が、規模（従業員数）の大きい企業の割合が高くなっている。これは、2015年度調査～2018年度調査と同様の結果となっている。

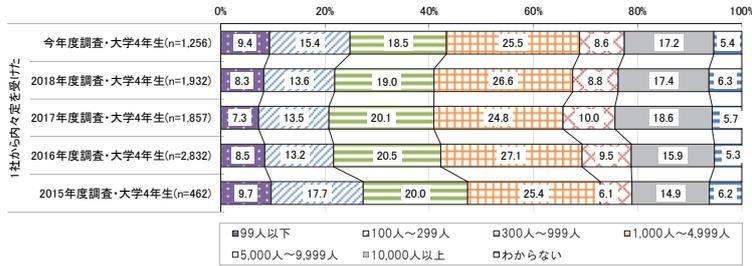
図表 3-6-6 内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）  
（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）  
＜1社から内々定を受けた者＞



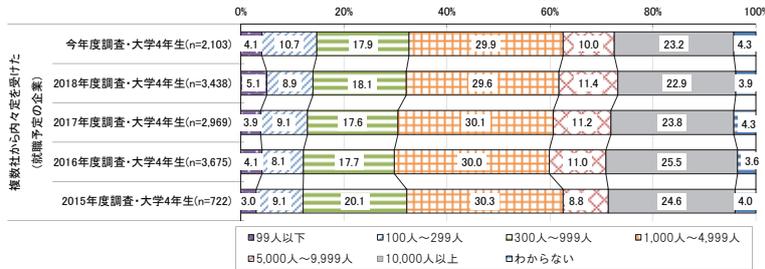
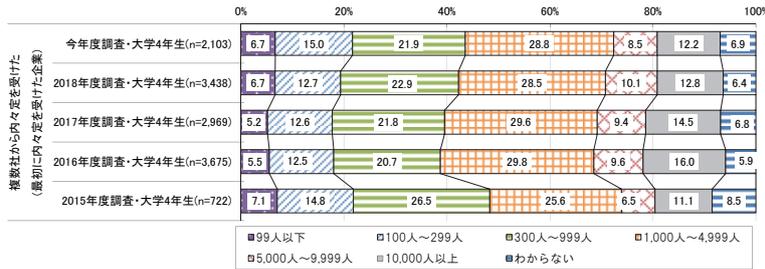
#### ＜複数社から内々定を受けた者＞



図表 3-6-7 内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）  
 （大学4年生、公務員・教職員志望者除く）  
 <1社から内々定を受けた者>

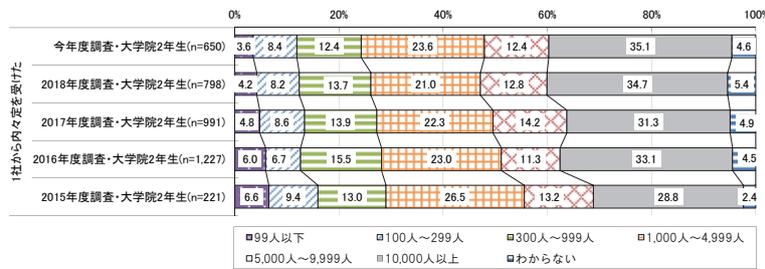


<複数社から内々定を受けた者>

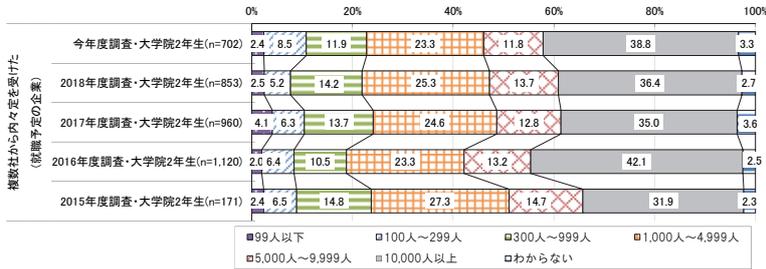
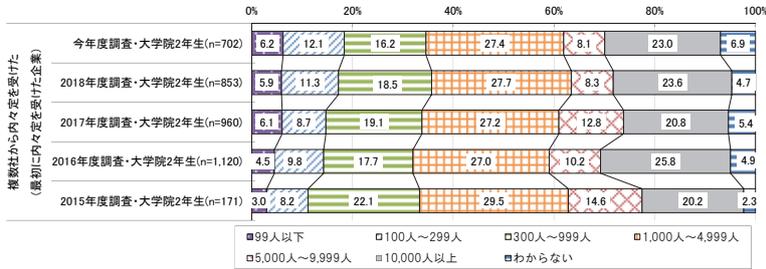


（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

<1社から内々定を受けた者>



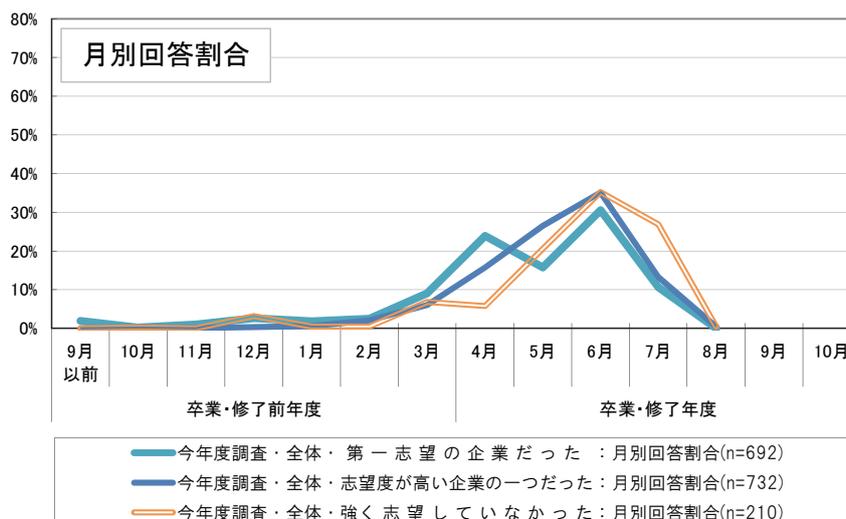
<複数社から内々定を受けた者>



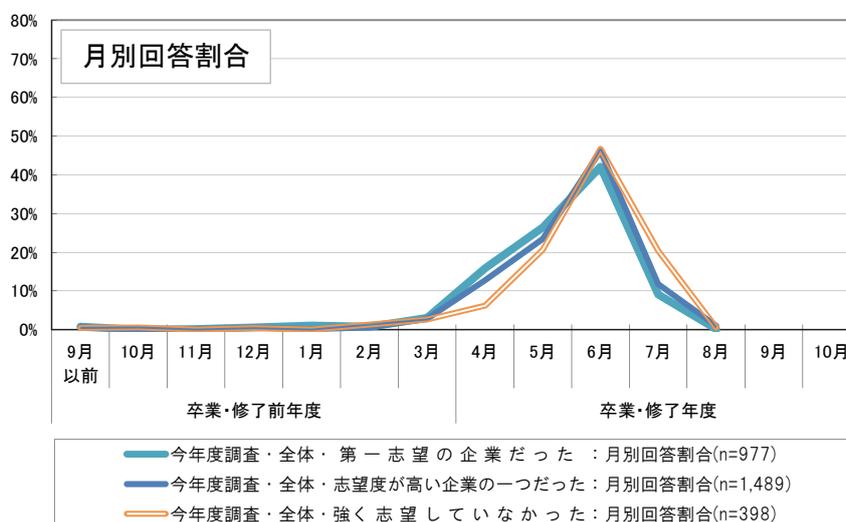
### ⑤就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期

就職予定の企業からの内々定の時期<sup>40</sup>について、その企業に対する志望度別に集計<sup>41</sup>すると、いずれの場合も、就職予定の企業の内々定の時期は、採用選考活動開始時期である「6月」の回答割合が最も高くなっている。

図表 3-6-8 就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)  
<1社から内々定を受けた者>



#### <複数社から内々定を受けた者>



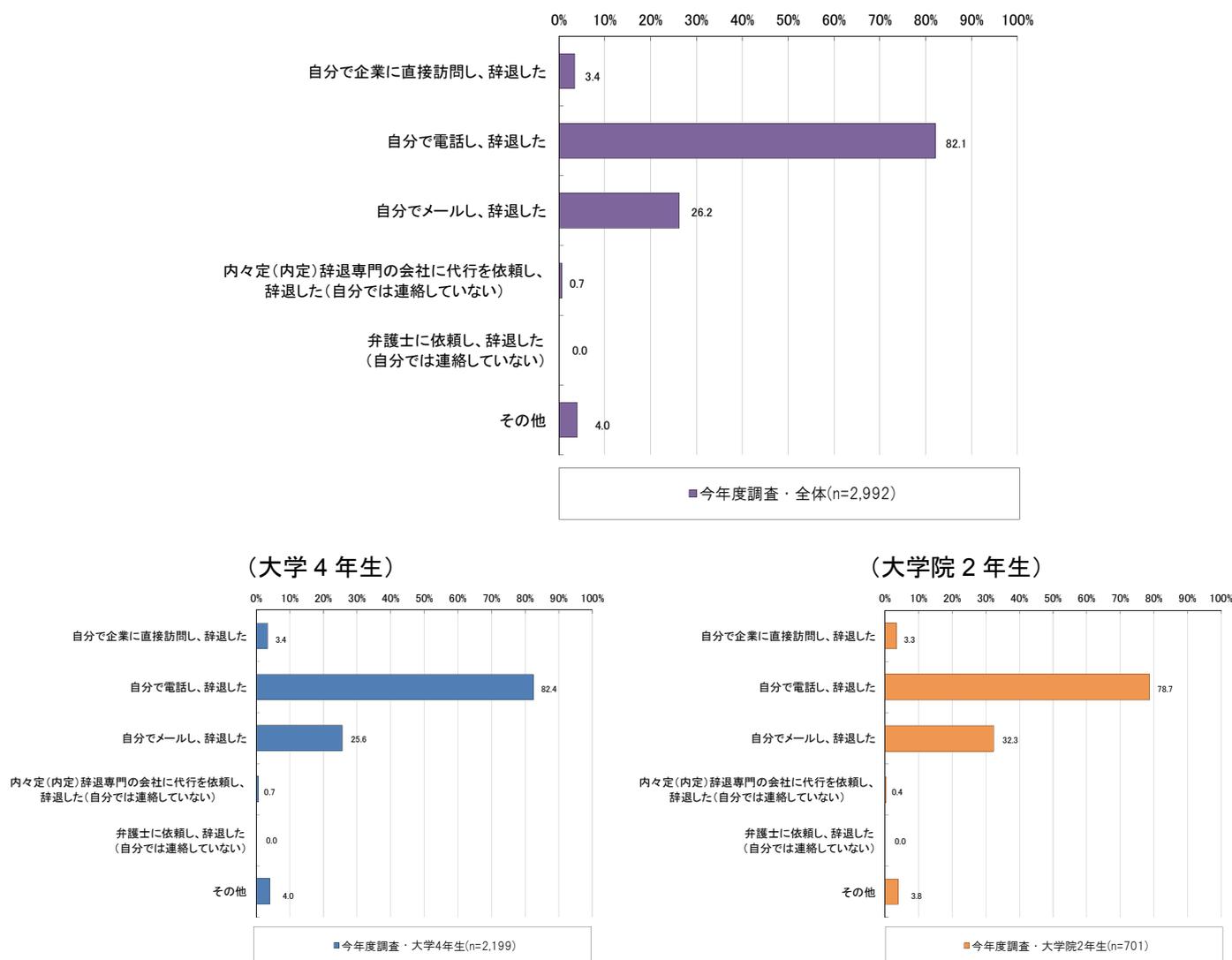
<sup>40</sup> 1社から内々定を受けた者はその企業に就職予定であると回答した場合、及び、複数社から内々定を受けた者は就職予定の企業に関して、内々定を受けた時期に関する回答結果を集計した。なお、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

<sup>41</sup> 就職予定の企業の採用選考に応募した時点で志望していた企業の全てを思い返したうえでの志望度についてたずねた回答の結果を基に分類をした。なお、志望度について「覚えていない」と回答した者は集計の対象外とした。また、分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

## ⑥内々定の辞退の方法

複数社から内々定を受けた者など<sup>42)</sup>、内々定の辞退の方法について、「自分で電話し、辞退した」が約 8 割、「自分でメールし、辞退した」が約 3 割となっている<sup>43)</sup>。

図表 3-6-9 内々定の辞退の方法（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



<sup>42)</sup> 1社から内々定を受けた者でその企業に就職予定ではないと回答した者と、複数社から内々定を受けた者に関して、内々定を辞退したことがあるか否かをたずねた上で、辞退をしたことがあると回答した場合に、その方法について調査を行った。なお、2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査は実施していない。

<sup>43)</sup> 「内々定(内定)辞退専門の会社に代行を依頼し、辞退した(自分では連絡していない)」と回答した者については、代行を依頼した理由についても調査をした(複数回答)。調査・集計対象の20件のうち、「企業側と親しくなってしまう、断りづらくなってしまったから」が4件、「辞退の連絡をしたら強い引き止めにあうと思ったから」が3件、「就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為(いわゆるオワハラ)を受けていたから」が1件、「その他」が13件であった。

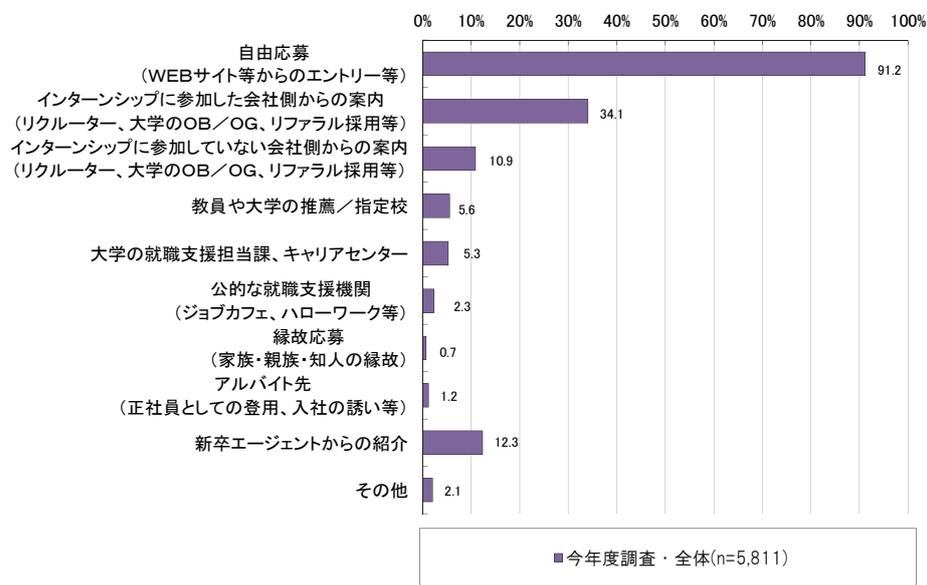
## (7) 採用試験・面接等を受けた経路

### ①全体の状況

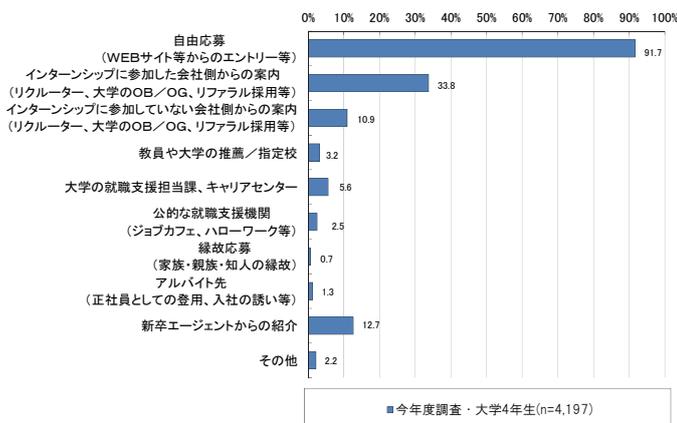
どのような経路で採用試験・面接等を受けたか<sup>44</sup>について、「自由応募（WEBサイト等からのエントリー等）」が約9割、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」が約3割、「新卒エージェントからの紹介」と「インターンシップに参加していない会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」がそれぞれ約1割となっている。

選択肢が異なるため厳密な比較はできないが、2018年度調査と比較すると、「会社側からの案内」の回答割合が上昇している可能性がある。

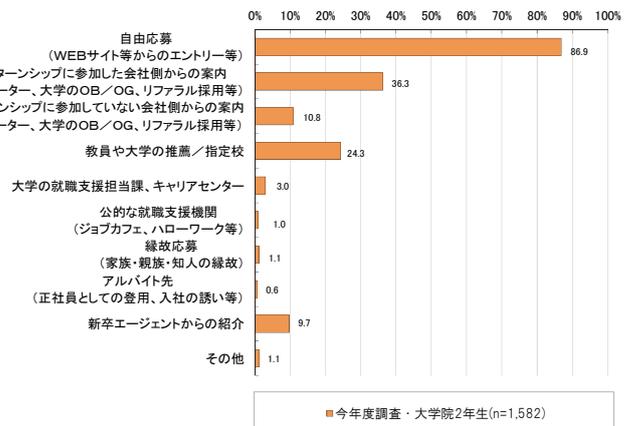
図表 3-7-1 採用試験・面接等を受けた経路（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



### (大学4年生)

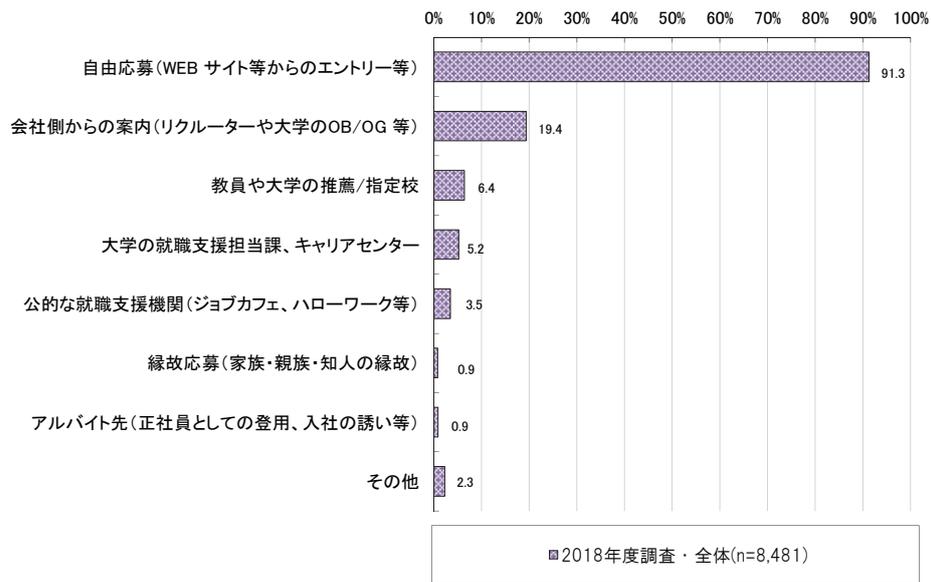


### (大学院2年生)

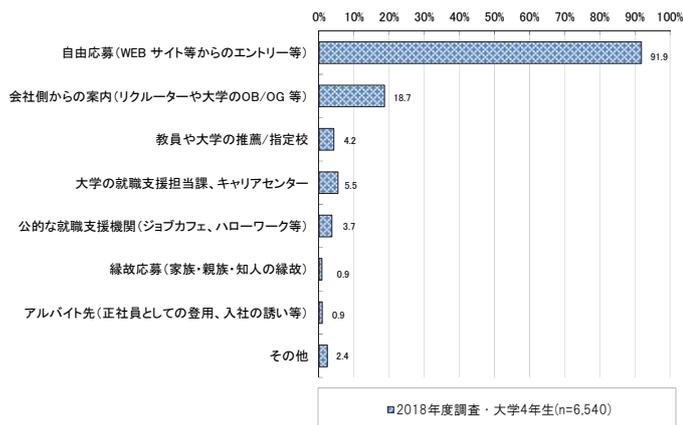


<sup>44</sup> 同内容の調査項目は2016年度調査～2018年度調査でも設定しているが、選択肢として設定している項目が異なることから、ここでは直接的には比較の対象としなかった。なお、今年度調査の実施にあたり、「リクルーター」「リファラル採用」「新卒エージェント」には用語説明を付した。

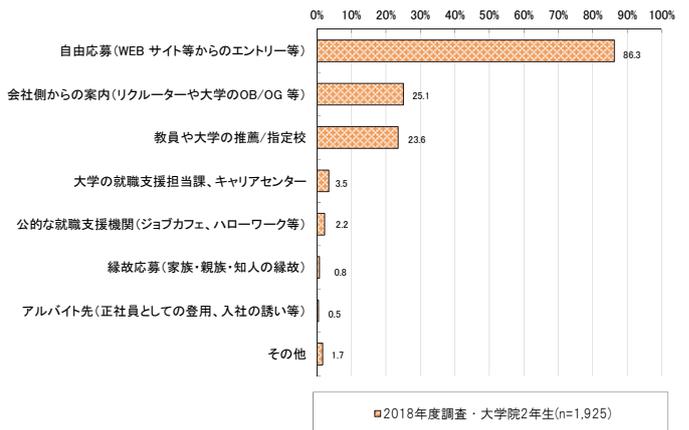
図表 3-7-2 2018 年度調査、採用試験・面接等を受けた経路（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



（大学 4 年生）



（大学院 2 年生）



## ②内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

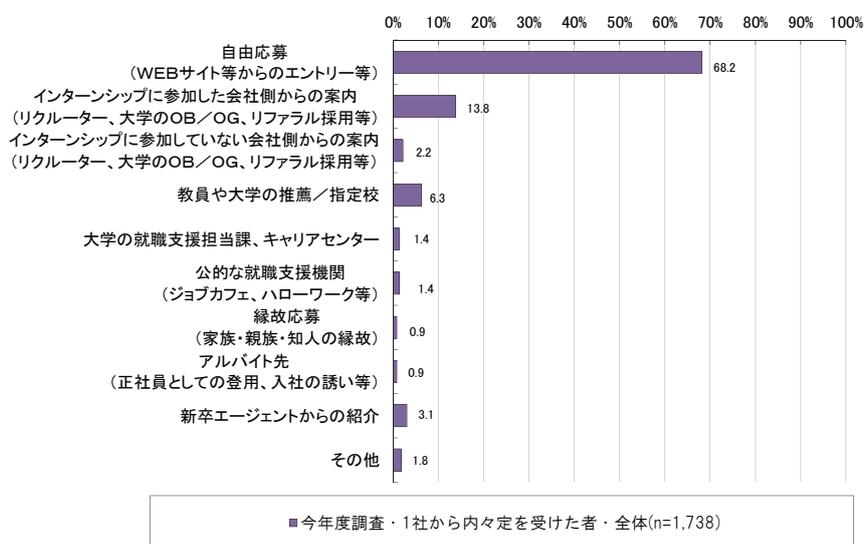
どのような経路で内々定を受けた企業の採用試験・面接等を受けたか<sup>45</sup>について、1社から内々定を受けた者では、「自由応募（WEB サイト等からのエントリー等）」の割合が約7割、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」と「教員や大学の推薦/指定校」が約1割となっている。

複数社から内々定を受けた者でも、「最初の内々定」、「就職予定の企業の内々定」とともに「自由応募（WEB サイト等からのエントリー等）」の割合が最も高いが、両者を比較すると、「就職予定の企業の内々定」の方が若干高い。

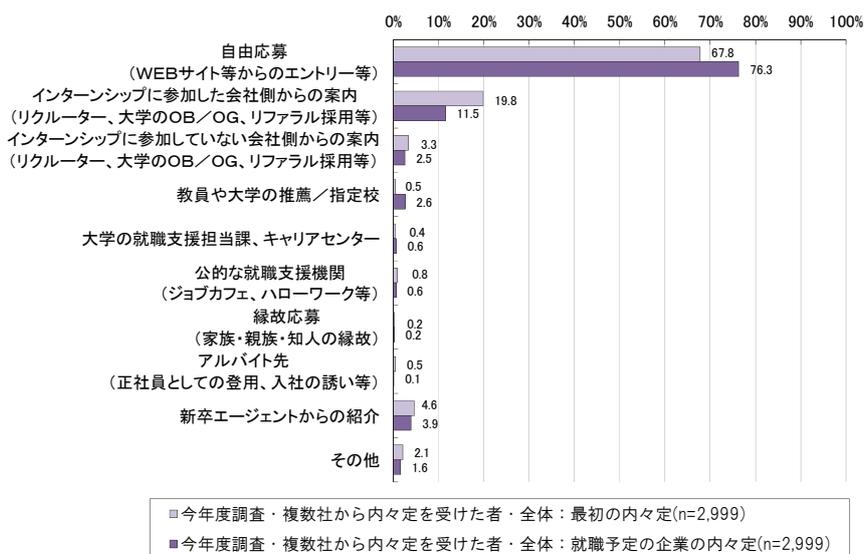
図表 3-7-3 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

（大学4年生・大学院2年生）

<1社から内々定を受けた者>



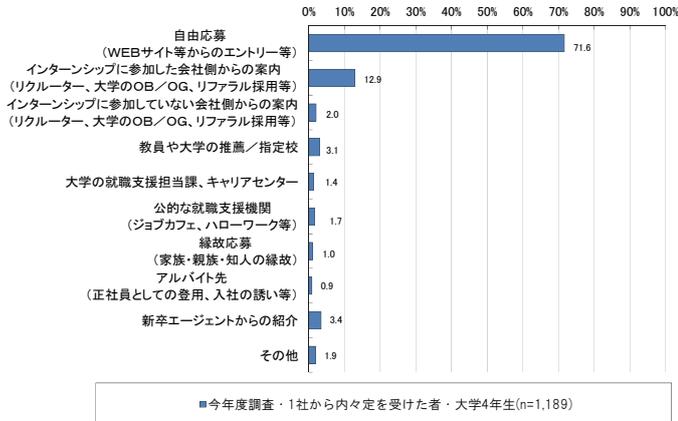
<複数社から内々定を受けた者>



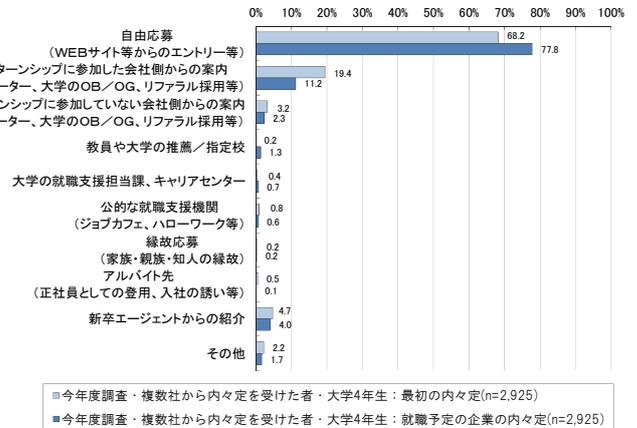
<sup>45</sup> 1社から内々定を受けた者は就職予定の企業について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた企業と就職予定の企業のそれぞれについて調査し、集計した。なお、ここでの設問は、複数回答形式ではなく、選択肢より一つを回答する方法によるものである。

図表 3-7-4 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路  
(大学4年生)

<1社から内々定を受けた者>

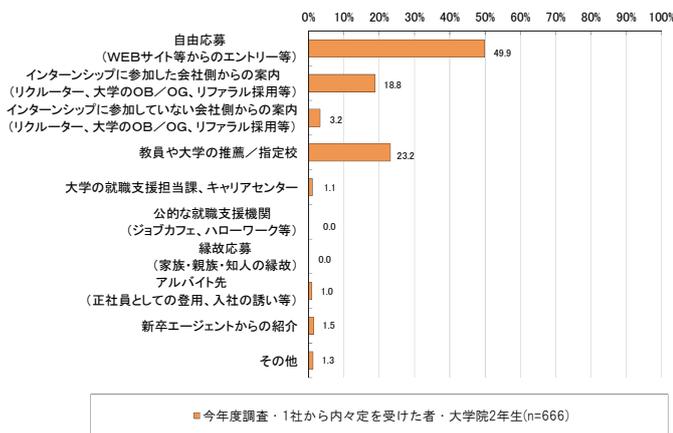


<複数社から内々定を受けた者>

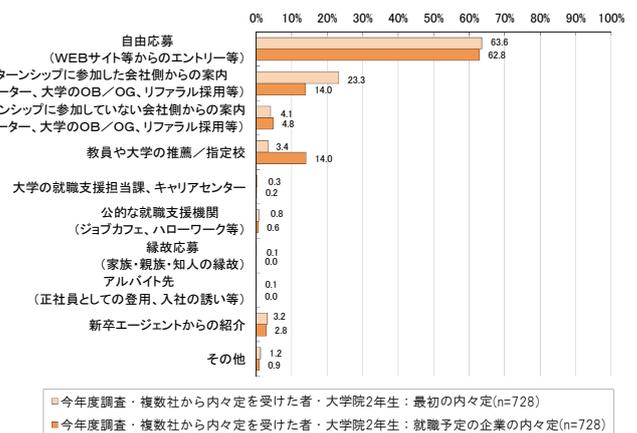


(大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>



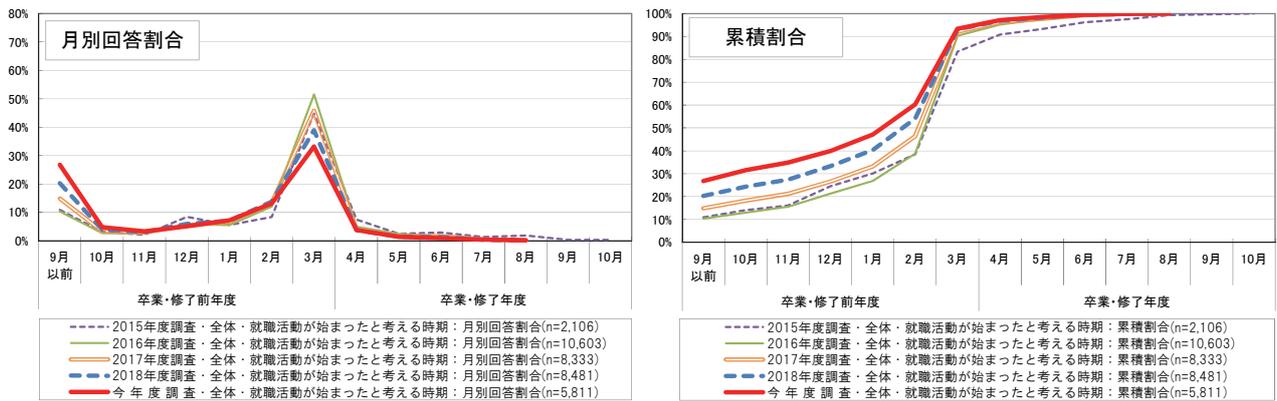
## (8) 就職活動の始まりと終わりの認識

### ①就職活動の始まりの時期についての認識

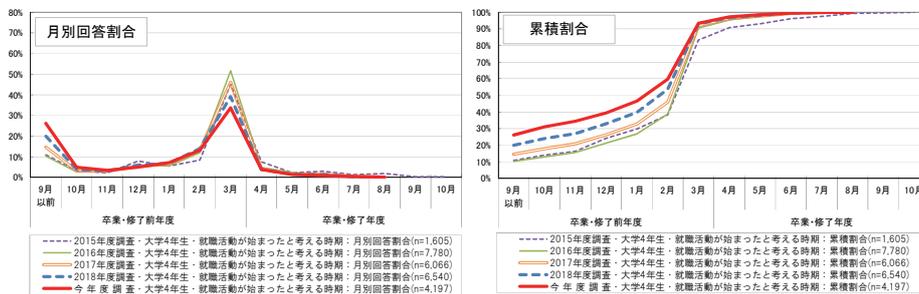
回答者自身の認識としての「就職活動が始まったと考える時期」について、広報活動開始時期である「3月」の回答割合が約3割と最も高くなっている。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると、3月の回答割合が最も高いのはこれまでと同様であるが、卒業・修了前年度の9月以前の回答割合が上昇するなど、より早期の時期の回答割合が高くなっている。

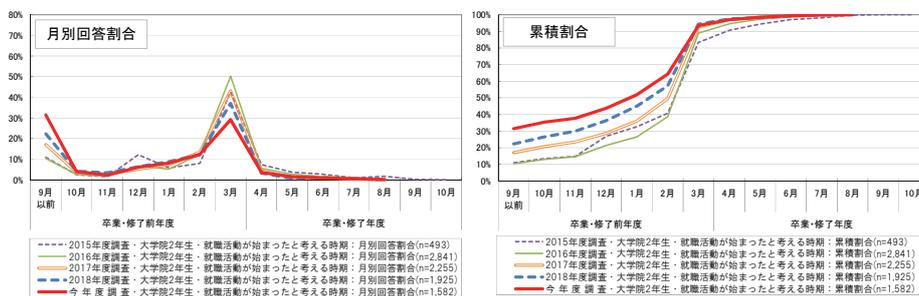
図表 3-8-1 就職活動が始まったと考える時期  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



図表 3-8-2 就職活動が始まったと考える時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	14.4%	4.9%	5.1%	2.4%	4.8%	3.3%	5.1%	7.2%	13.1%	33.2%	3.8%	1.4%	0.9%	0.4%	0.1%
累積割合	14.4%	19.3%	24.4%	26.8%	31.6%	34.8%	40.0%	47.2%	60.3%	93.4%	97.2%	98.6%	99.5%	99.9%	100.0%

（大学4年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	13.7%	4.9%	5.1%	2.4%	4.9%	3.4%	5.0%	7.1%	13.2%	33.7%	3.8%	1.4%	0.9%	0.4%	0.1%
累積割合	13.7%	18.6%	23.7%	26.2%	31.1%	34.5%	39.5%	46.6%	59.7%	93.4%	97.2%	98.6%	99.5%	99.9%	100.0%

（大学院2年生）

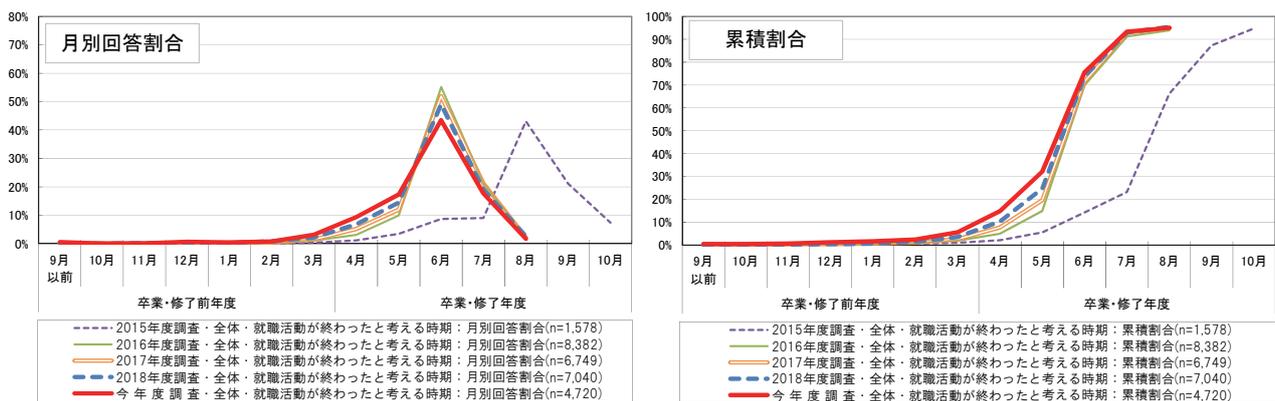
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	19.4%	5.5%	4.6%	2.0%	3.9%	2.3%	6.1%	8.2%	12.3%	29.2%	3.6%	1.6%	0.9%	0.5%	0.1%
累積割合	19.4%	24.9%	29.5%	31.5%	35.4%	37.7%	43.8%	51.9%	64.3%	93.4%	97.0%	98.6%	99.4%	99.9%	100.0%

## ②就職活動の終わりの時期についての認識

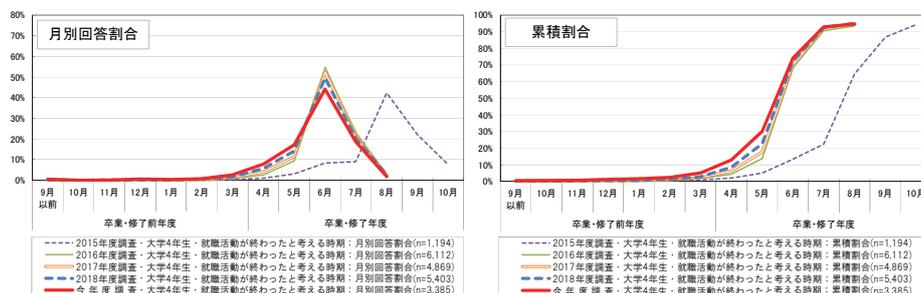
内々定を受けた者<sup>46</sup>にとっての「就職活動が終わったと考える時期」について、採用選考活動開始時期である「6月」の回答割合が約4割と最も高くなっている。なお、累積割合<sup>47</sup>では、5月以前に就職活動が終わったとの回答は約3割である。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では、より早期の回答割合が若干高くなっている。

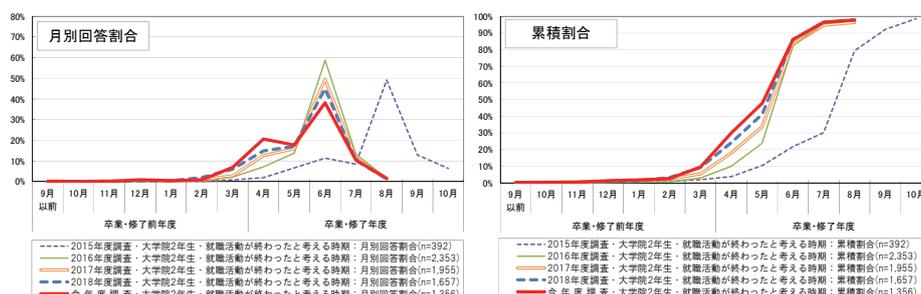
図表 3-8-3 就職活動が終わったと考える時期  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



46 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

47 「まだ終わっていない」と回答した者がいるため、卒業・修了年度の「8月」の時点でも累積割合のグラフは100%にならない。

図表 3-8-4 就職活動が終わったと考える時期（今年度調査・詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終 わって いない
月別回答割合	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.7%	0.4%	0.8%	3.1%	9.3%	17.3%	43.4%	17.7%	1.7%	5.0%
累積割合	0.2%	0.2%	0.3%	0.5%	0.5%	0.6%	1.3%	1.7%	2.4%	5.6%	14.9%	32.2%	75.6%	93.3%	95.0%	—

（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終 わって いない
月別回答割合	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.6%	0.4%	0.8%	2.6%	7.8%	17.2%	44.2%	18.6%	1.8%	5.4%
累積割合	0.2%	0.2%	0.3%	0.5%	0.6%	0.7%	1.3%	1.7%	2.4%	5.0%	12.9%	30.1%	74.2%	92.8%	94.6%	—

（大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

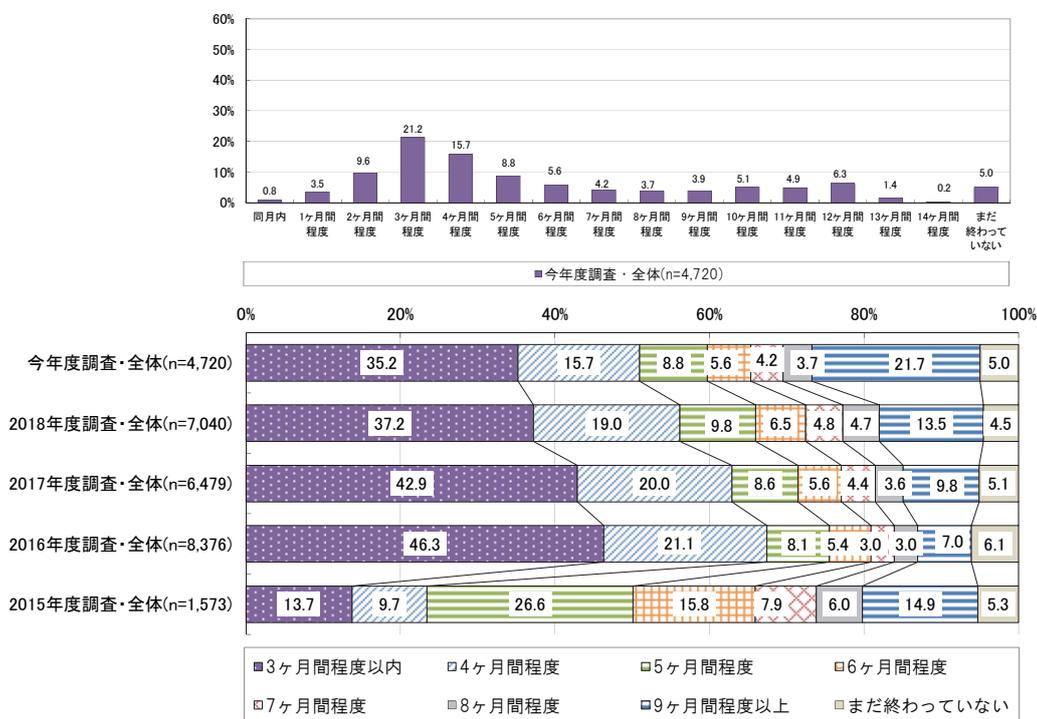
	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終 わって いない
月別回答割合	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.9%	0.5%	0.8%	6.9%	20.6%	17.7%	38.2%	10.6%	1.4%	2.0%
累積割合	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	1.2%	1.7%	2.5%	9.4%	30.0%	47.8%	86.0%	96.6%	98.0%	—

### ③就職活動の始まりから終わりまでの期間

「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間については<sup>48</sup>、「3ヶ月間程度<sup>49</sup>」の割合が約2割と最も高く、「同月内」から「4ヶ月間程度」までの回答を合わせると約5割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、「3ヶ月間程度以内」や「4ヶ月間程度」の割合が低下しているが、採用選考活動開始時期が卒業・修了年度の8月とされていた2015年度調査では、「5ヶ月間程度」以上の回答が約8割となっており、今年度調査ではより短期間で就職活動を終える傾向が見られる<sup>50</sup>。

図表 3-8-5 就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

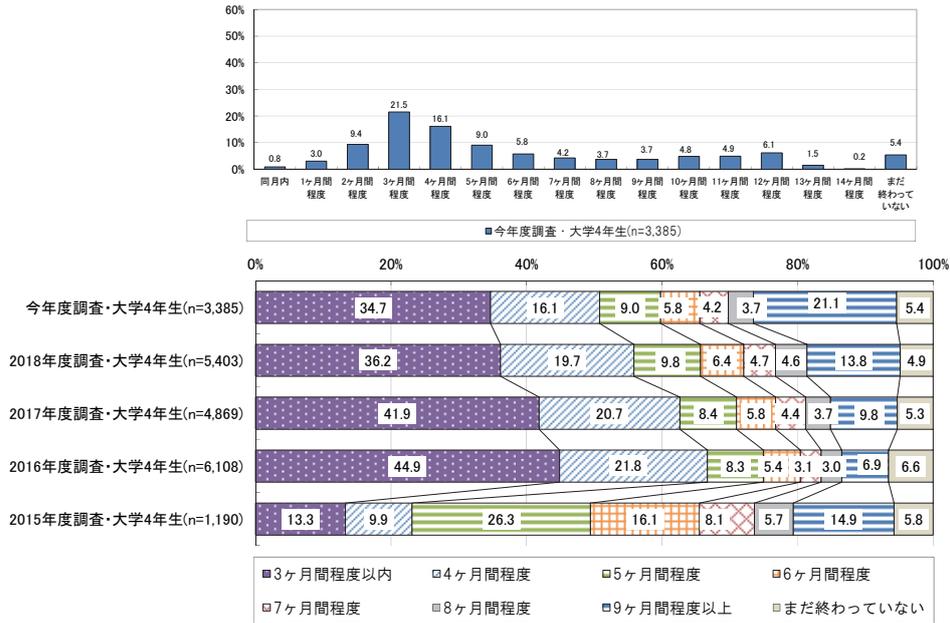


<sup>48</sup> 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

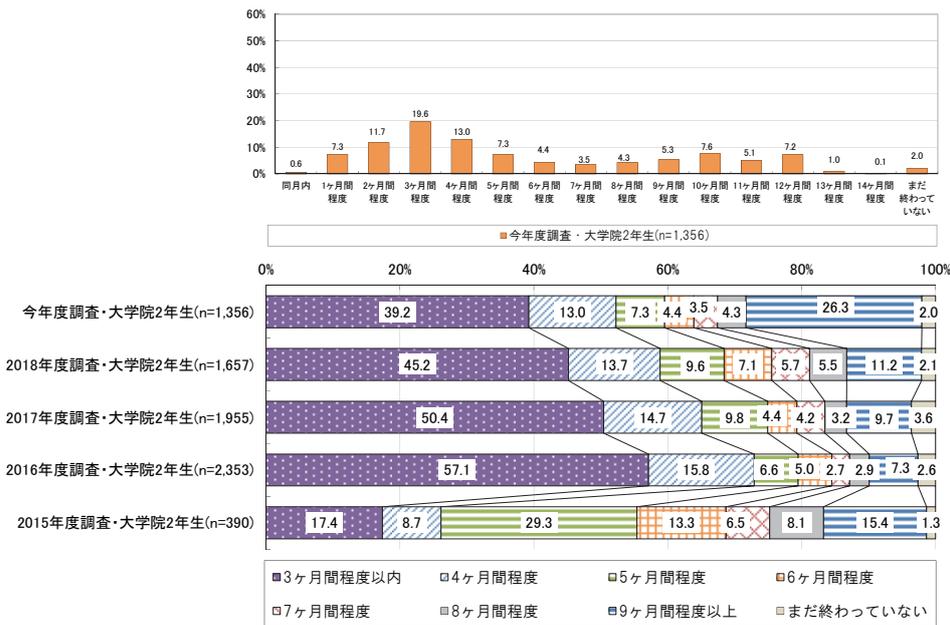
<sup>49</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

<sup>50</sup> 「始まったと考える時期」「終わったと考える時期」ともに、2015年度調査～2018年度調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、今年度調査では卒業・修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。このことから、2015年度調査～2018年度調査では最大の期間は「11ヶ月間程度」であるが、今年度調査では「14ヶ月間程度」となっている。ただし、2015年度調査～2018年度調査との比較を行う上では、分類がそろるように再集計をしている。

図表 3-8-6 就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



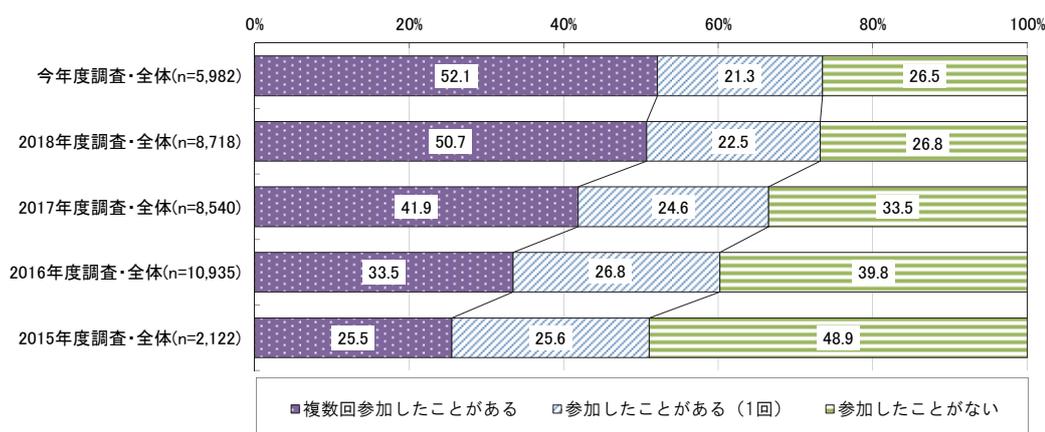
## (9) インターンシップの参加状況

### ①参加の有無

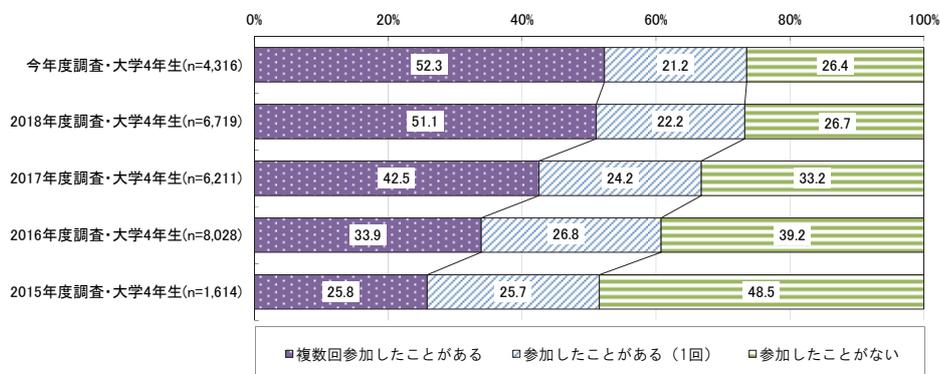
インターンシップの参加経験について、約7割が「参加したことがある」と回答している。なお、約5割が「複数回参加したことがある」と回答している。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると、「参加したことがある」との回答割合が上昇傾向にあるが、2018年度調査との比較では、今年度調査は概ね同様の結果となっている。

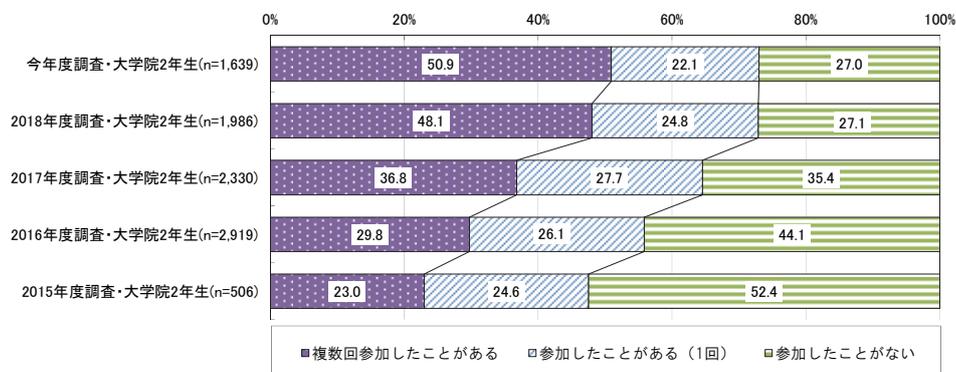
図表 3-9-1 インターンシップ参加経験の有無<sup>51</sup>  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



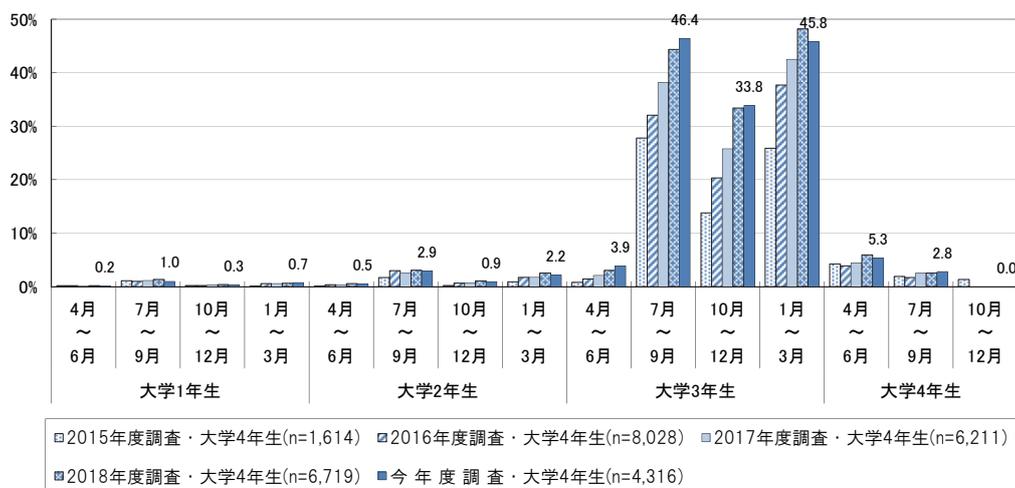
<sup>51</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

## ②参加時期

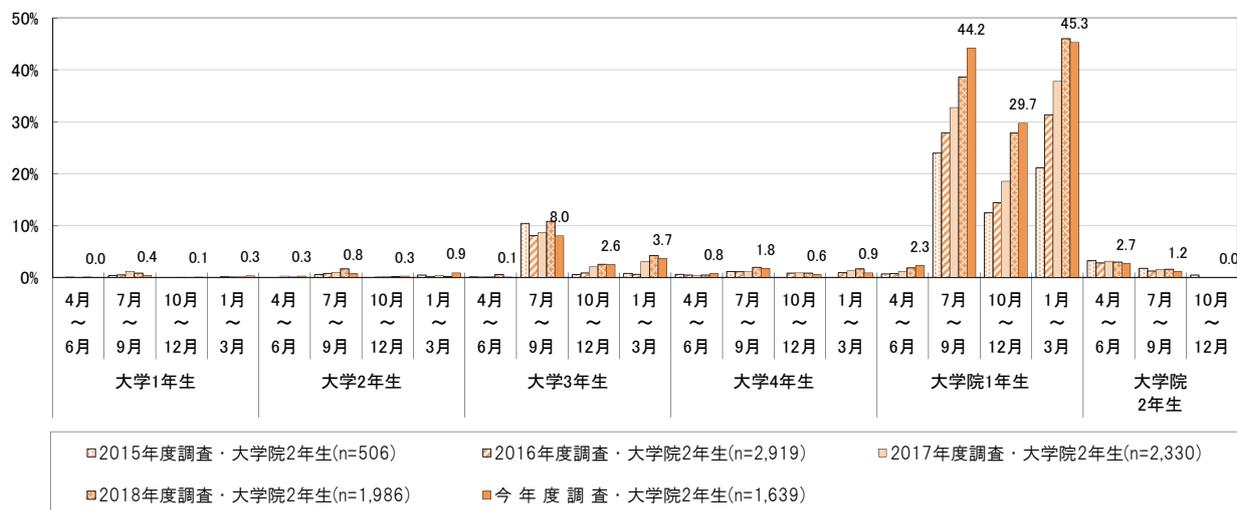
インターンシップ参加の時期について<sup>52</sup>、大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」と「1月～3月」の参加割合が4～5割と高く、次に大学3年生・大学院1年生の「10月～12月」の割合が約3割となっている。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると<sup>53</sup>、上記のそれぞれの時期において、インターンシップに参加したとの回答割合が高まる傾向にあり、2018年度調査との比較においては、今年度調査の大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」の回答割合が若干高くなっている。

図表 3-9-2 インターンシップ参加時期（複数回答）  
（大学4年生）



（大学院2年生）



<sup>52</sup> ここでの集計対象（母数）には、インターンシップに参加しなかった者も含む。

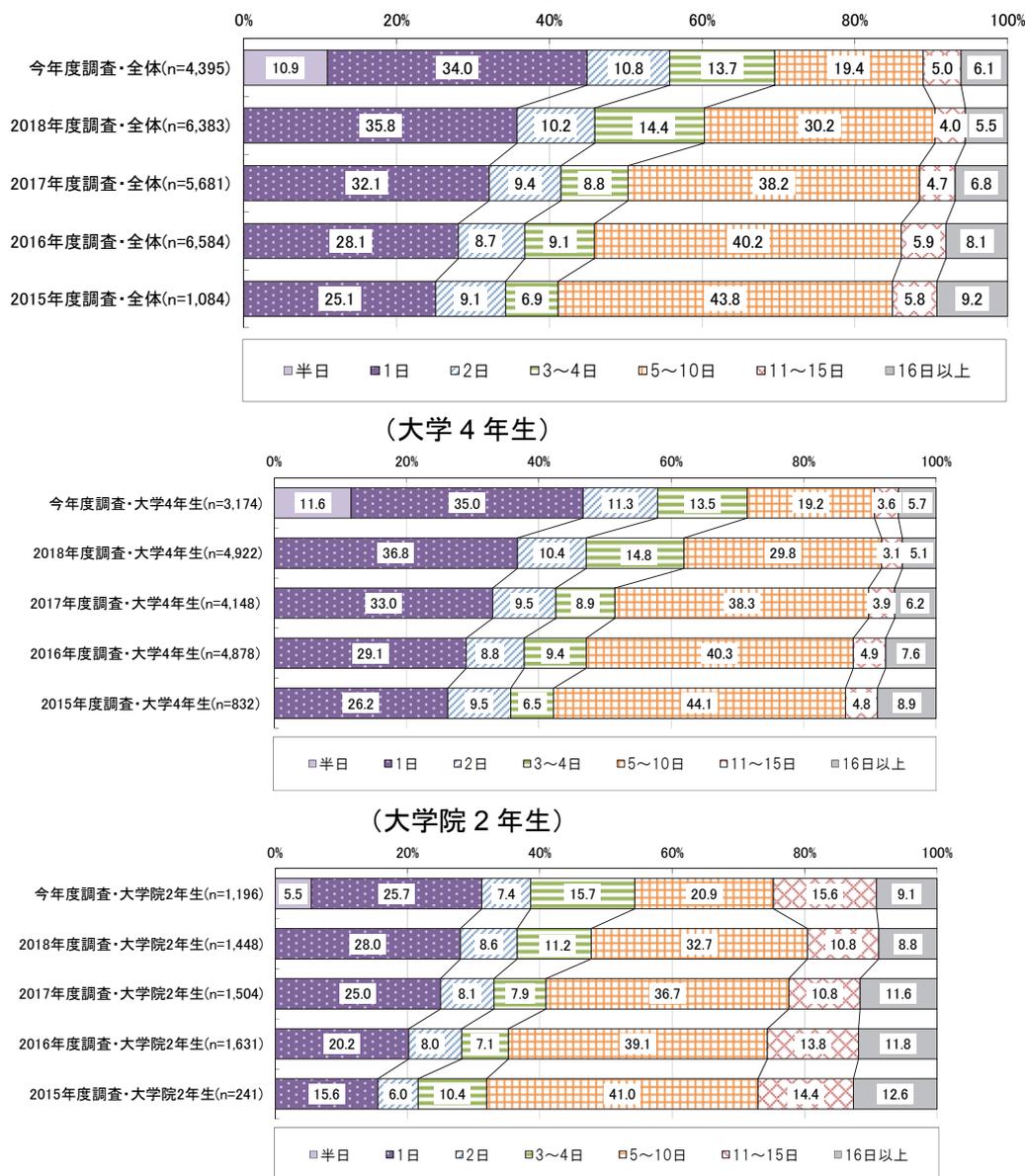
<sup>53</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

### ③参加日数

参加したインターンシップのうち、最長の日数のものは、「1日」との回答割合が約3割と最も高くなっている。なお、「半日」との回答は約1割であった<sup>54</sup>。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると<sup>55</sup>、今年度調査では「1日（以内）」など、比較的短い期間の回答割合が高くなっている。

図表 3-9-3 インターンシップ参加日数  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>54</sup> 2015年度調査～2018年度調査では参加したインターンシップの最長の日数を1日単位の数字で回答されたものを分類して集計を行っていたが、今年度調査ではあらかじめ選択肢を設定し、参加したことがある日数の分類を選択してもらい、その上で最長の日数に関して集計をした。「半日」の分類は今年度調査についてのみ把握・集計を行うことができるものとなっている。

<sup>55</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

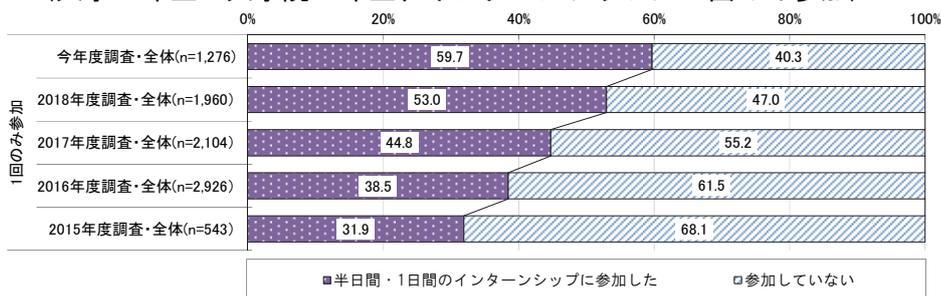
#### ④半日間・1日間のインターンシップ参加状況

半日間又は1日間のインターンシップの参加状況<sup>56</sup>は、インターンシップに1回のみ参加したことがある者では約6割、インターンシップに複数回参加したことがある者では約9割であった。

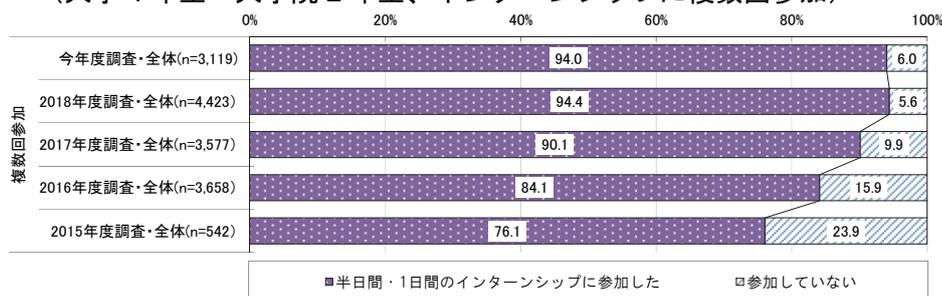
2015年度調査～2018年度調査と比較すると、インターンシップに1回のみ参加した者、複数回参加した者の双方で半日間又は1日間のインターンシップに参加したとする割合が上昇傾向にある。

また、インターンシップへのすべての参加回数のうち、半日間又は1日間のインターンシップの参加回数が占める割合は、約8割であった。2017年度調査・2018年度調査に比べ、この割合は上昇している<sup>57</sup>。

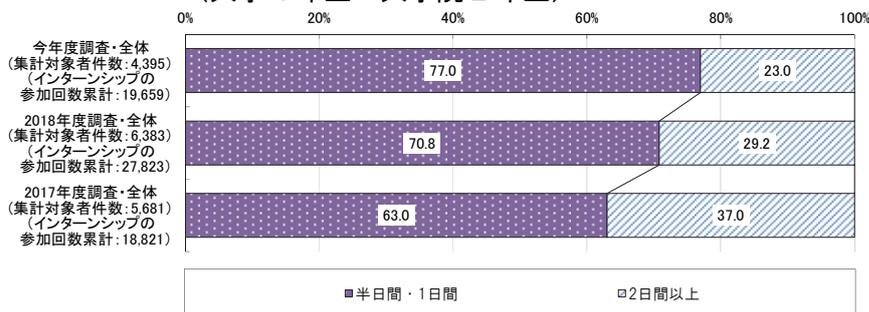
図表 3-9-4 インターンシップ参加経験者の半日間・1日間のインターンシップ参加の状況  
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに複数回参加)



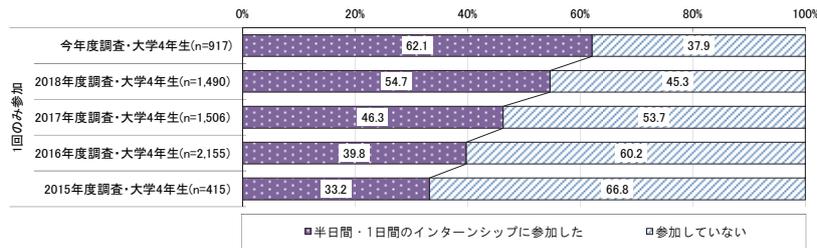
図表 3-9-5 参加したインターンシップが半日間・1日間であった割合  
(インターンシップへの参加回数累計による集計)  
(大学4年生・大学院2年生)



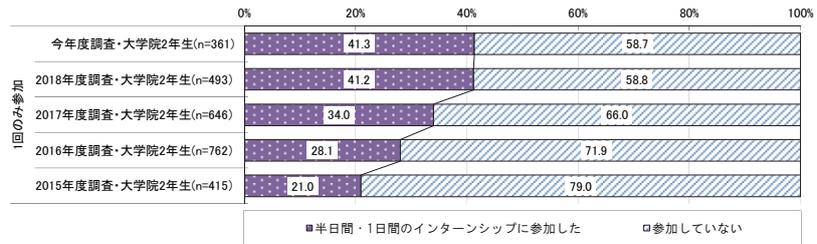
<sup>56</sup> 1回のみ参加したことがある場合にはその日数に関して、複数回参加したことがある場合には「半日」または「1日」のインターンシップに参加したと回答しているか否かという点から、参加の有無について判断をした。なお、2015年度調査～2018年度調査に関して複数回参加したことがある場合には、「最短の日数」に関する回答について集計し、1日間のインターンシップの参加の有無について判断をした。

<sup>57</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

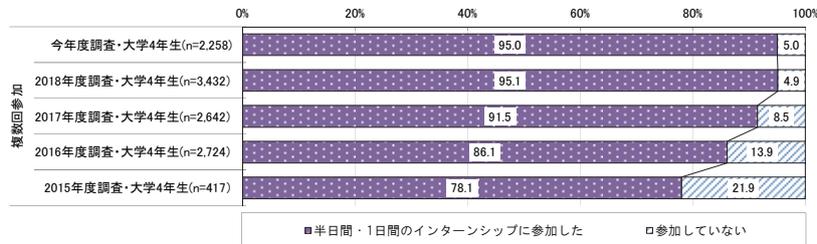
図表 3-9-6 インターンシップ参加経験者の1日間のインターンシップ参加の状況  
(大学4年生、インターンシップに1回のみ参加)



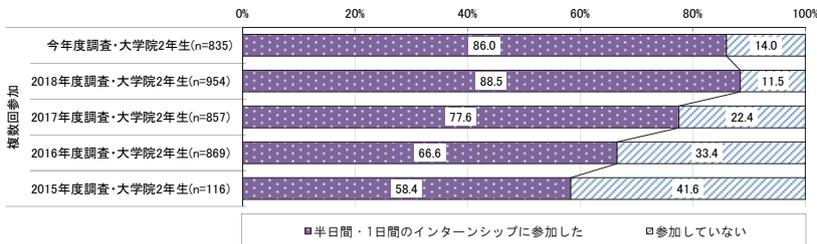
(大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生、インターンシップに複数回参加)

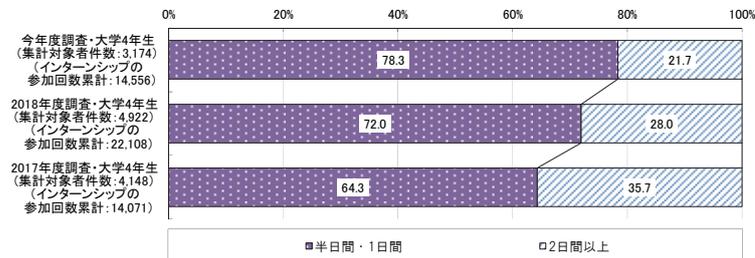


(大学院2年生、インターンシップに複数回参加)

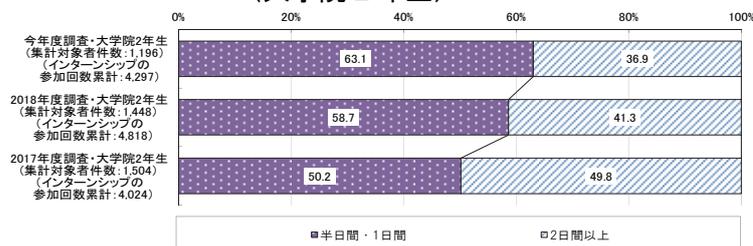


図表 3-9-7 参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合  
(インターンシップへの参加回数累計による集計)

(大学4年生)



(大学院2年生)



### ⑤参加したインターンシップの就業体験等との関係性

参加したインターンシップが、就業体験等<sup>58</sup>を伴っていたかについては<sup>59</sup>、半日間・1日間のインターンシップでは約6割が、2日間以上のインターンシップでは約3割が「就業体験等を伴うものではなかった」との回答であった。

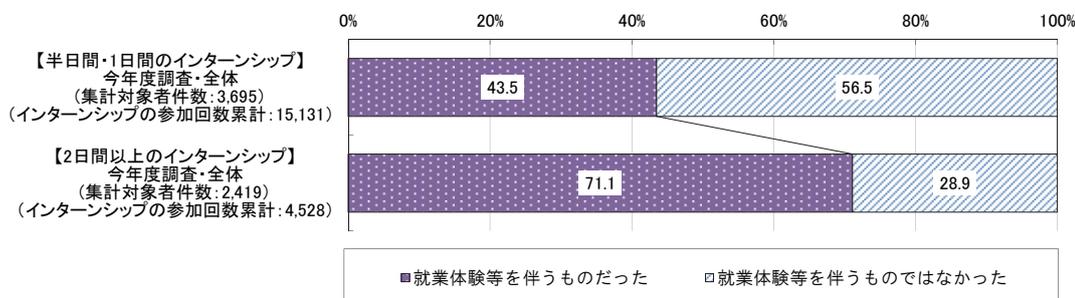
また、インターンシップの日数別に比較すると、日数の短いインターンシップの方が、「就業体験等を伴うものではなかった」とする割合が高い傾向が見られる。

なお、調査項目の設定の方法等が異なるため厳密な比較はできないが、2017年度調査・2018年度調査と比較すると、「1日間（以内）のインターンシップ」において、「就業体験を伴うものではなかった」とする割合が高まっている可能性がある<sup>60</sup>。

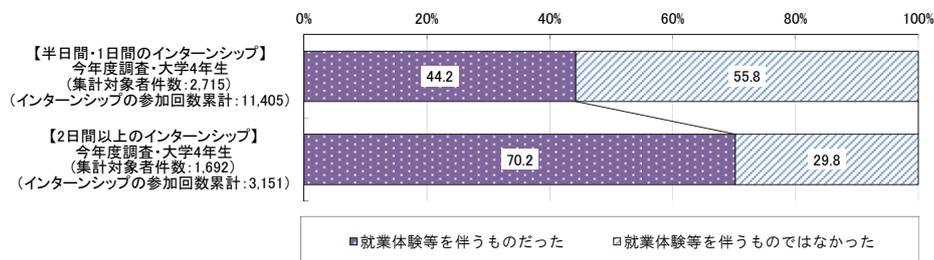
図表 3-9-8 参加したインターンシップの就業体験等との関係性

(参加したインターンシップの回数累計による集計)

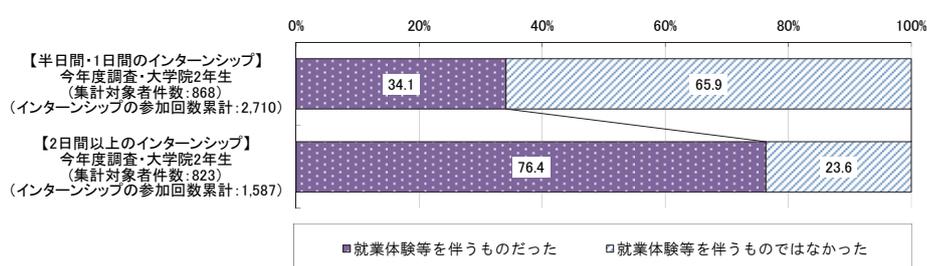
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>58</sup> 就業体験等とは、職場での業務体験や課題解決のワークショップ等を経験するもので、企業の業務内容の説明や職場見学のみのもは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。

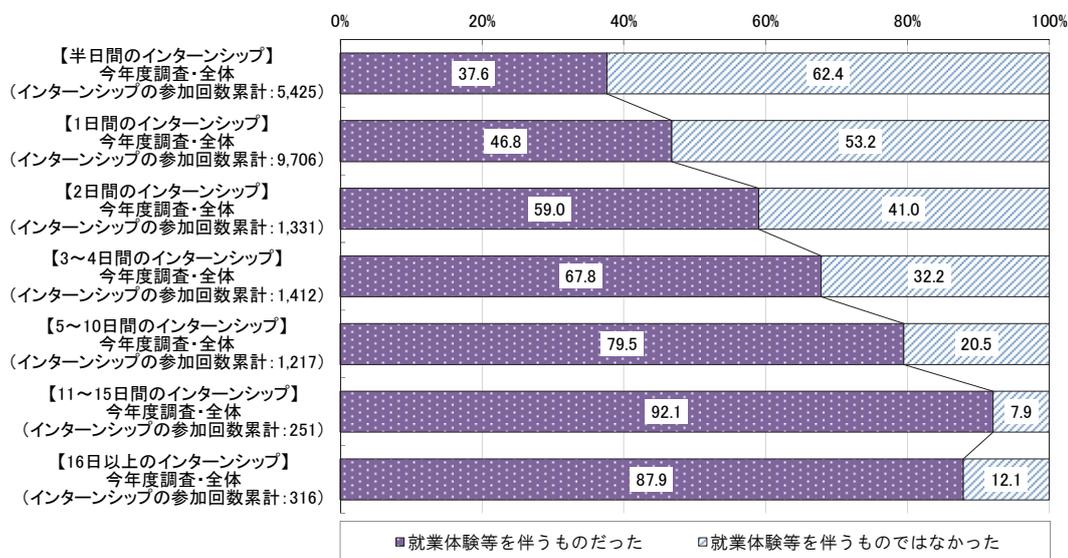
<sup>59</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。2017年度調査・2018年度調査については「1日間のインターンシップ」に関して、それが就業体験等を伴うものであったかを調査しているが、今年度調査とは異なる方法で設問の設定を行っていることから、直接的な比較は行わなかった。

<sup>60</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

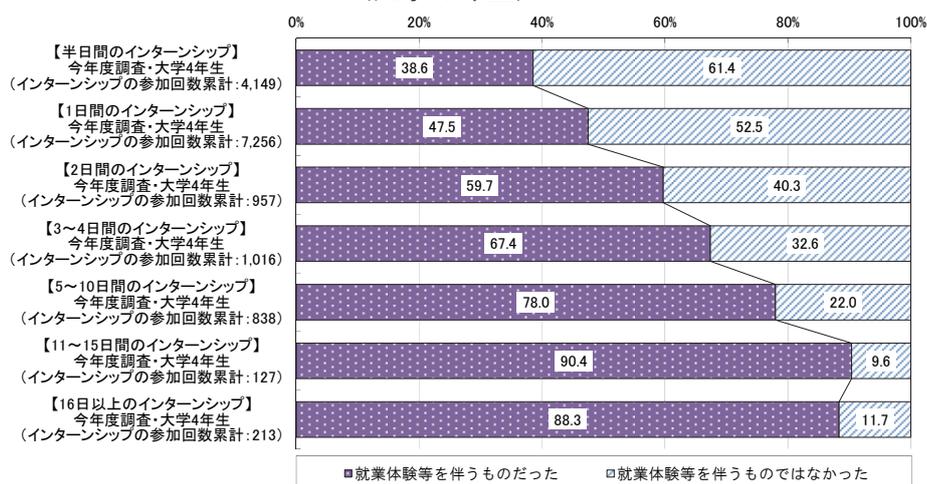
図表 3-9-9 インターシップの日数別、参加したインターシップの就業体験等との関係性

(参加したインターシップの回数累計による集計)

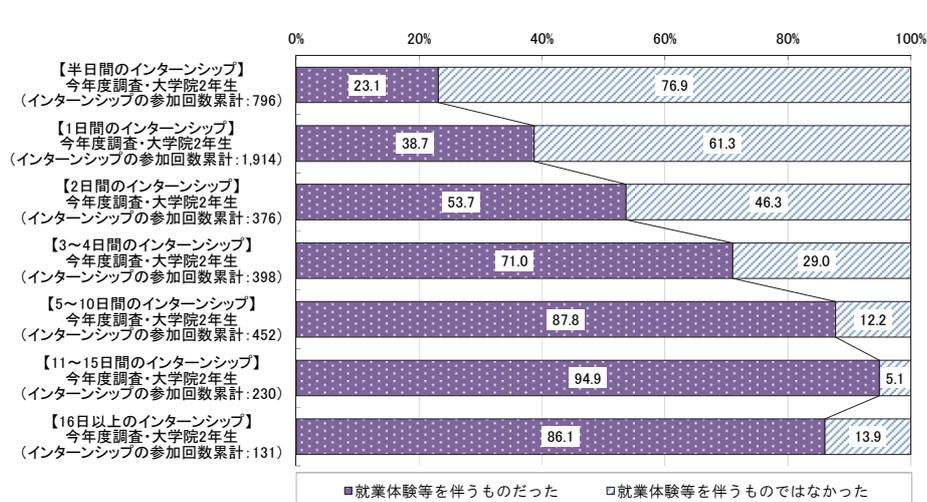
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



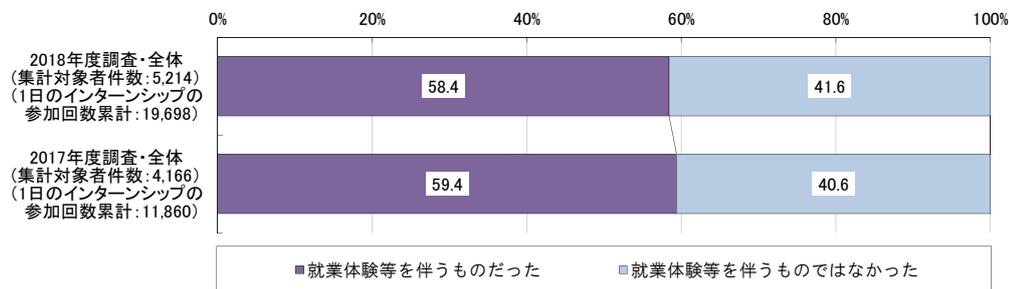
(大学院2年生)



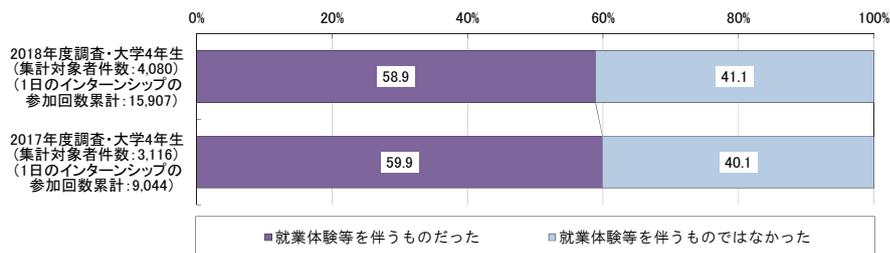
図表 3-9-10 2017 年度調査・2018 年度調査、1 日間のインターンシップの就業体験等との関係性

(1 日間のインターンシップへの参加回数累計による集計)

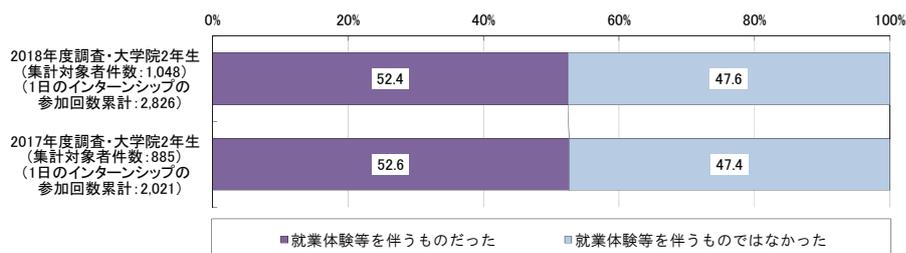
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



(大学 4 年生)



(大学院 2 年生)

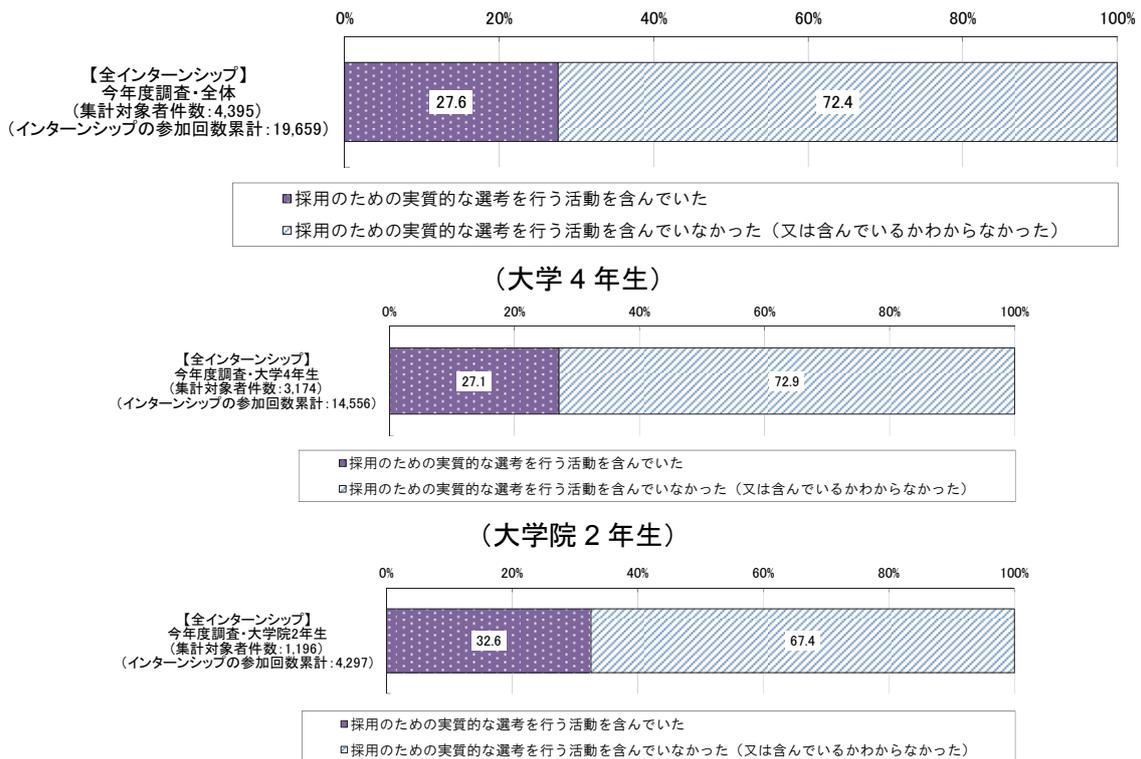


## ⑥ インターンシップにおける実質的な選考実施の有無

参加したインターンシップが、採用のための実質的な選考を行う活動<sup>61</sup>を含んでいたかについては<sup>62</sup>、約3割が「採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた」との回答であった。

また、日数別のインターンシップを比較すると、「採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた」とする回答は「3～4日間」のインターンシップが最も高く、約5割となっている。

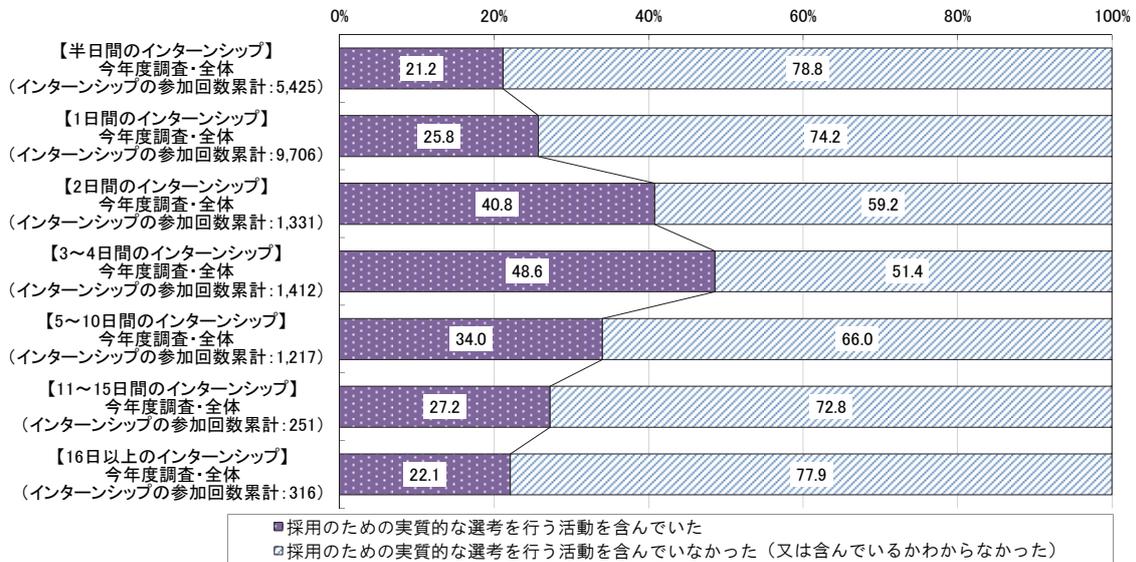
図表 3-9-11 インターンシップにおける実質的な選考実施の有無  
(参加したインターンシップの回数累計による集計)  
(大学4年生・大学院2年生)



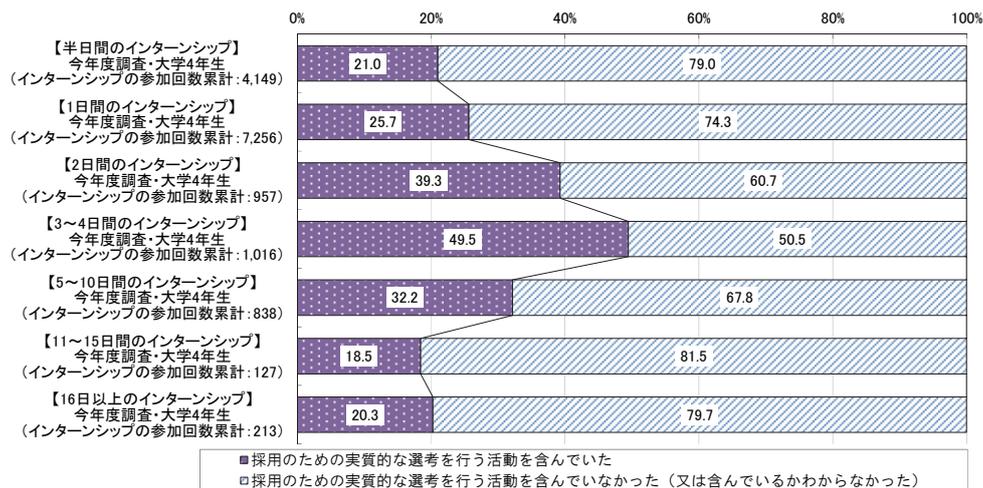
<sup>61</sup> 「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップの参加が採用面接を受けるための必須条件になっていたり、インターンシップの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。また、終了後にインターンシップ参加者だけの説明会に呼ばれたという場合等も含んでいただくようにした。

<sup>62</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。

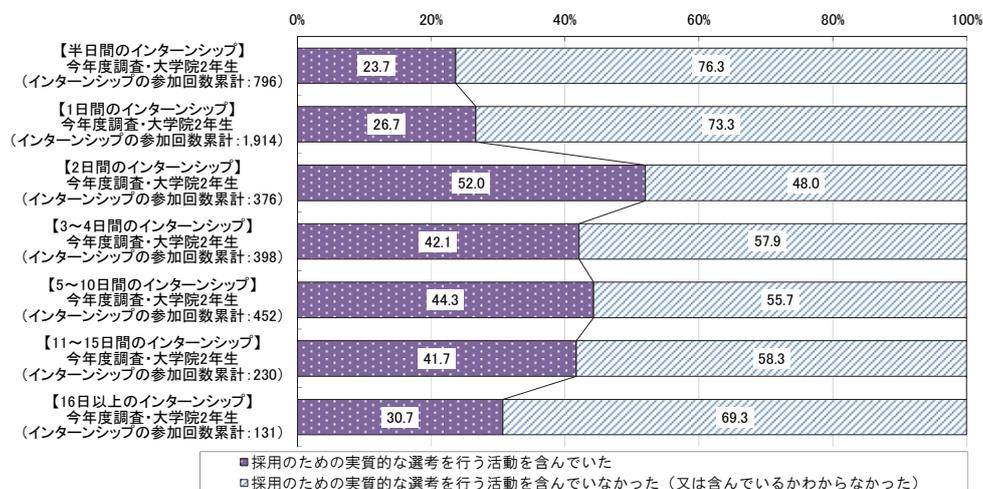
図表 3-9-12 インターンシップの日数別、インターンシップにおける実質的な選考実施の有無  
 (参加したインターンシップの回数累計による集計)  
 (大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



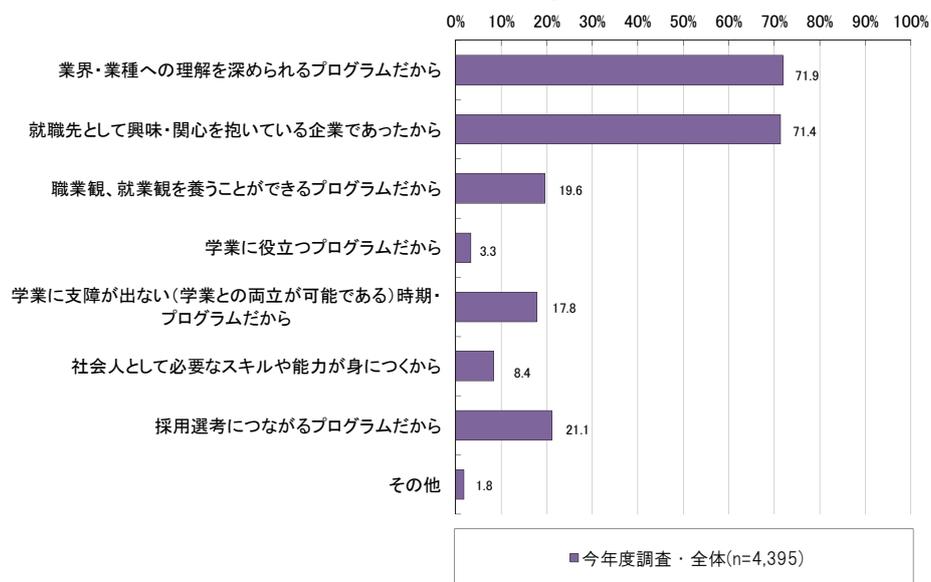
(大学院2年生)



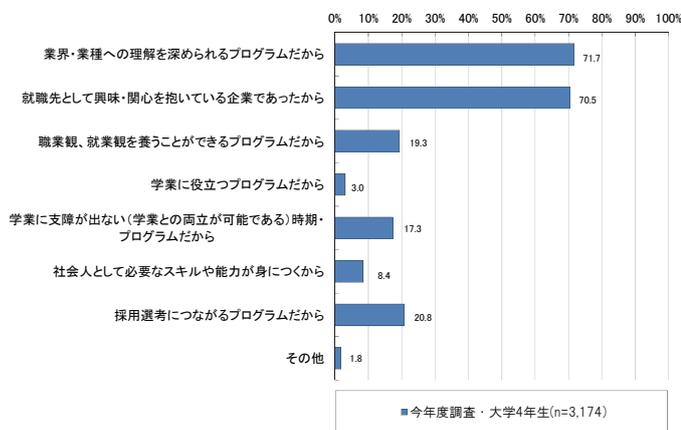
## ⑦ インターンシップ先を選択した理由

どのような基準でインターンシップ先を選択したかについて、「業界・業種への理解を深められるプログラムだから」と「就職先として興味・関心を抱いている企業であったから」がそれぞれ約7割となっている<sup>63</sup>。

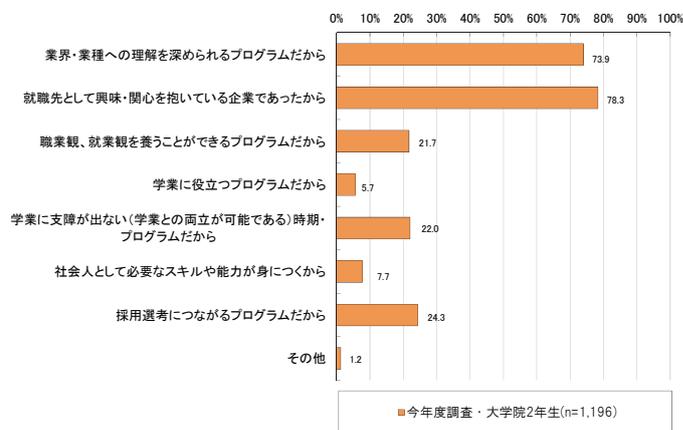
図表 3-9-13 インターンシップ先を選択した理由（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



### （大学4年生）



### （大学院2年生）



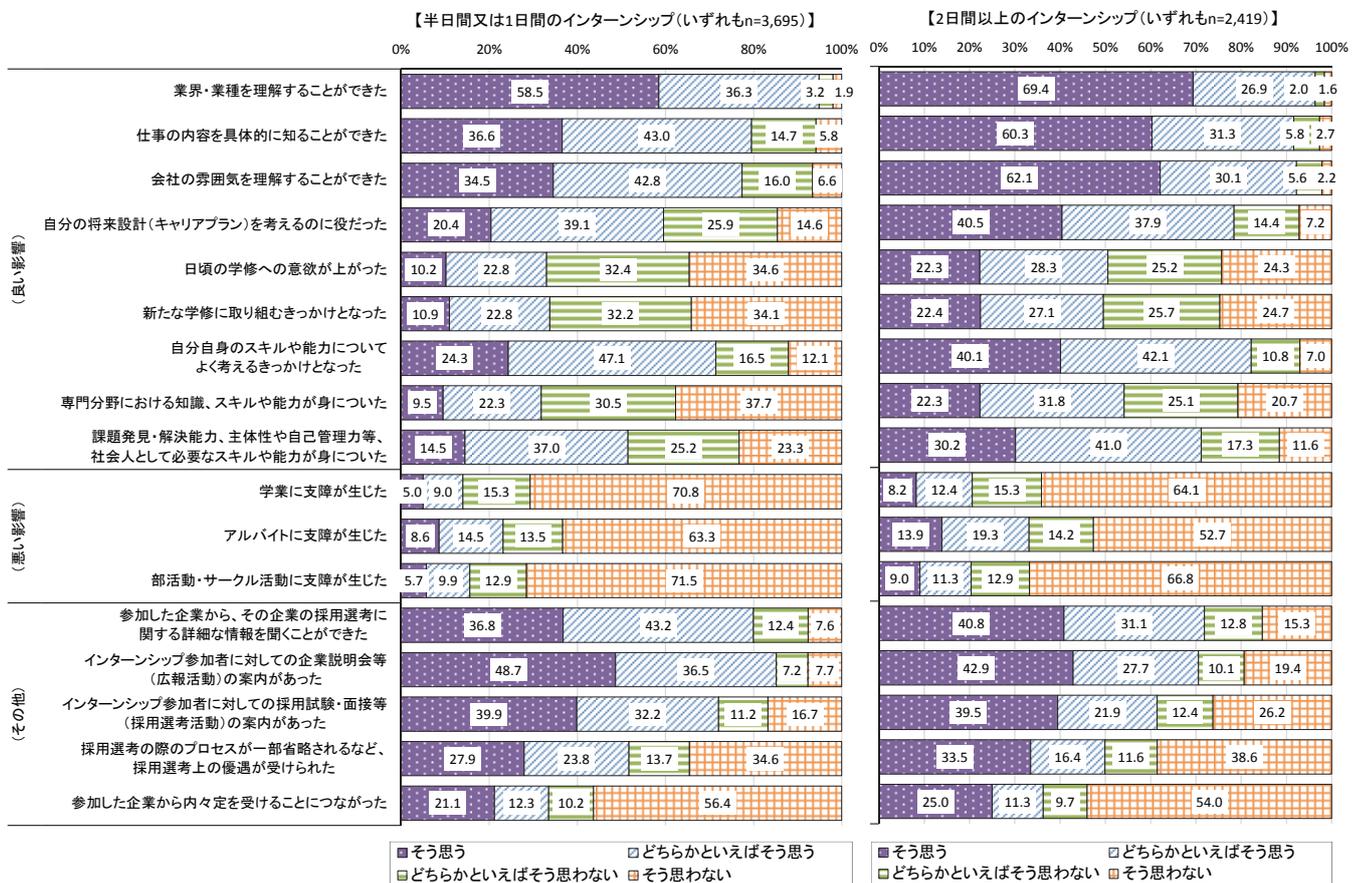
<sup>63</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。

### ⑧インターンシップの効果についての認識

インターンシップに参加してどのような効果があったと感じたか<sup>64</sup>について、参加したインターンシップの日数別では<sup>65</sup>、「半日又は1日間のインターンシップ」、「2日間以上のインターンシップ」とともに、「業界・業種を理解することができた」について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上と高くなっている。このほか、「仕事の内容を具体的に知ることができた」など、「良い影響」と考えられる事項について、「半日間又は1日間のインターンシップ」に比べ「2日間以上のインターンシップ」の方が「そう思う」との回答割合が高くなっている。

また、インターンシップ参加者に対して、「企業説明会等（広報活動）の案内があった」と「採用試験・面接等（採用選考活動）の案内があった」について、「半日間又は1日間のインターンシップ」の方が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が高くなっている。

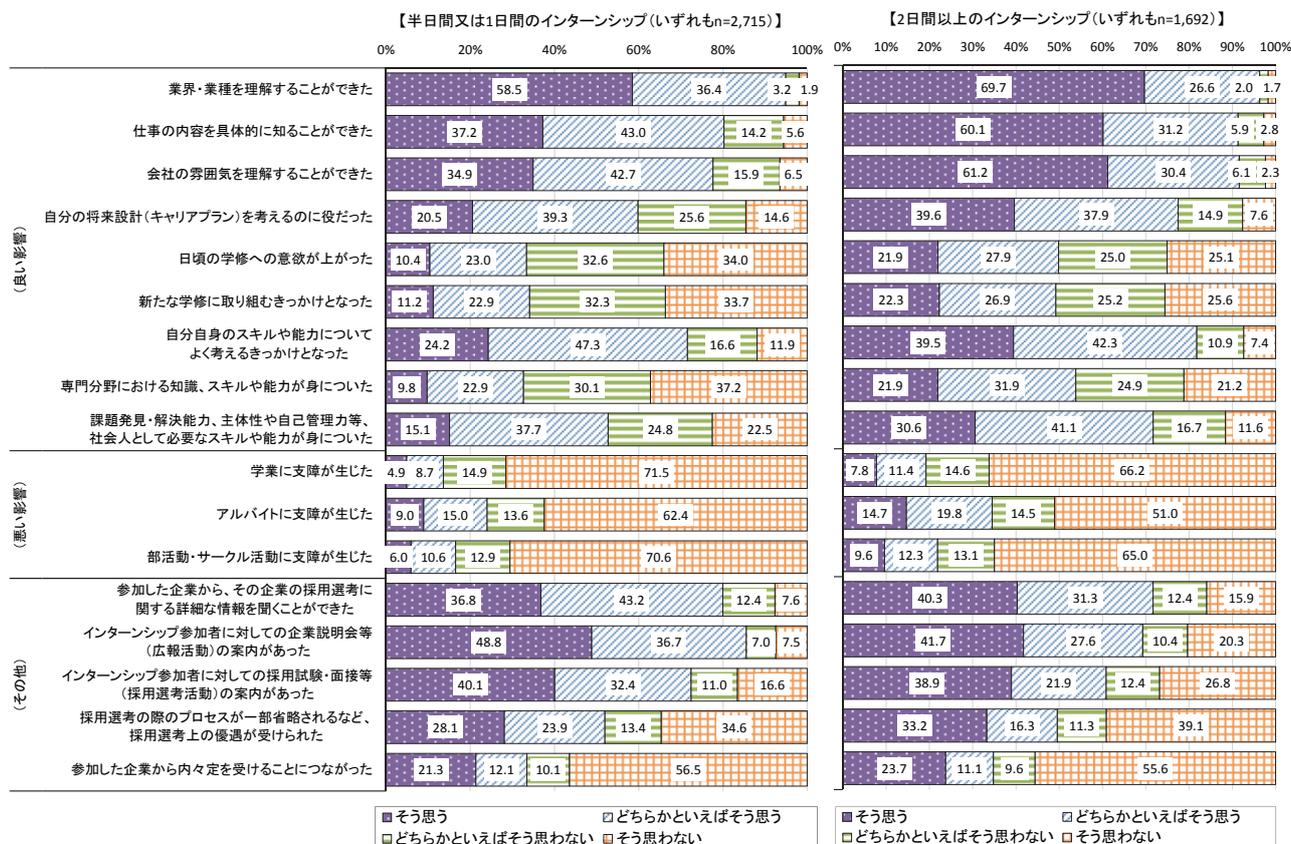
図表 3-9-14 インターンシップに参加して感じた効果  
(大学4年生・大学院2年生)



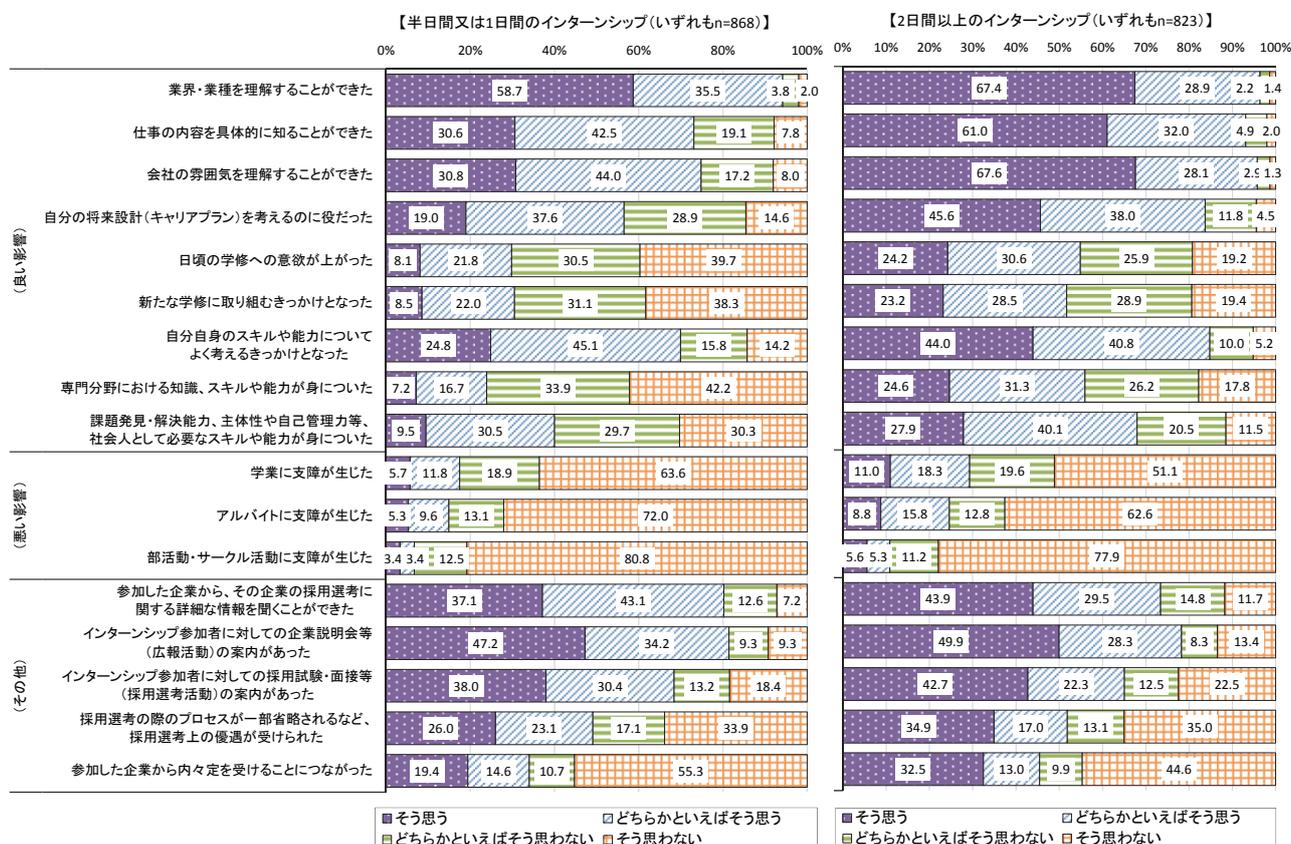
<sup>64</sup> 2015年度調査～2017年度調査では当該設問について調査を実施していない。2018年度調査では同内容の設問を設定しているが、複数回答形式での項目としていることから、今年度調査との比較は行っていない。

<sup>65</sup> 「半日間又は1日間のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、半日間又は1日間参加した」「インターンシップに複数回参加していずれも半日間又は1日間であった」「インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。「2日間以上のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、2日間以上参加した」「インターンシップに複数回参加していずれも2日間以上であった」「インターンシップに複数回参加して2日間以上のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のものと2日間以上のもののいずれにも参加したことがある場合は、参加したことがあるインターンシップについて「半日間又は1日間であったもの」と「2日間以上であったもの」のそれぞれについて回答いただくように設問を設定した。

図表 3-9-15 インターンシップに参加して感じた効果  
(大学4年生)



(大学院2年生)



## 第4章 企業による学業などに対する配慮の状況等

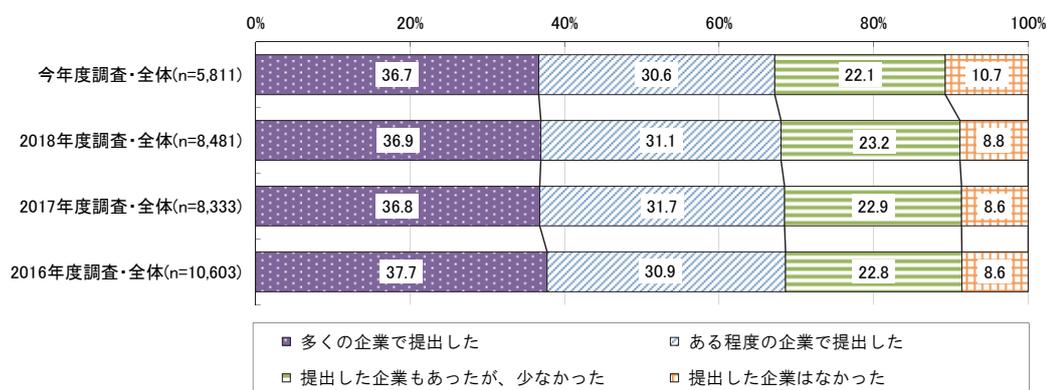
### (1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況

#### ① 提出の状況

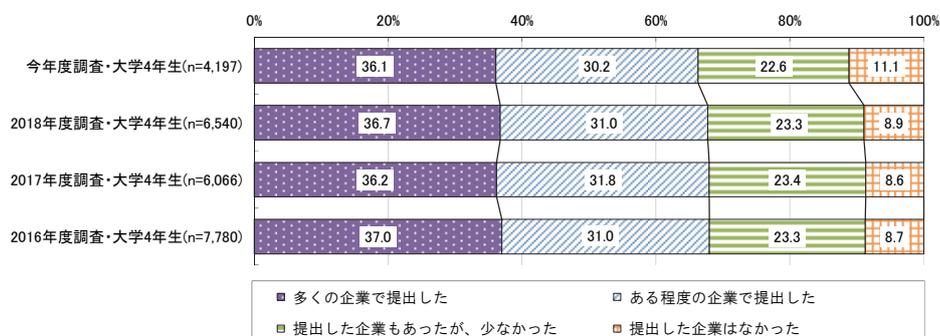
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）の提出がどの程度求められたかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合が約4割となっている。

これは、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>66</sup>。

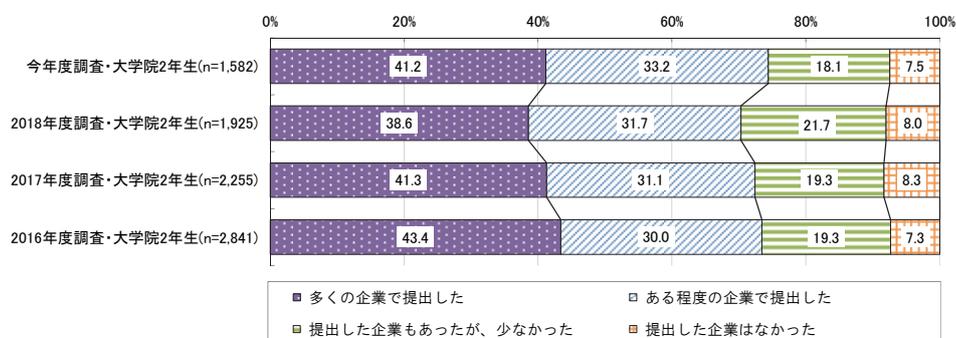
図表 4-1-1 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



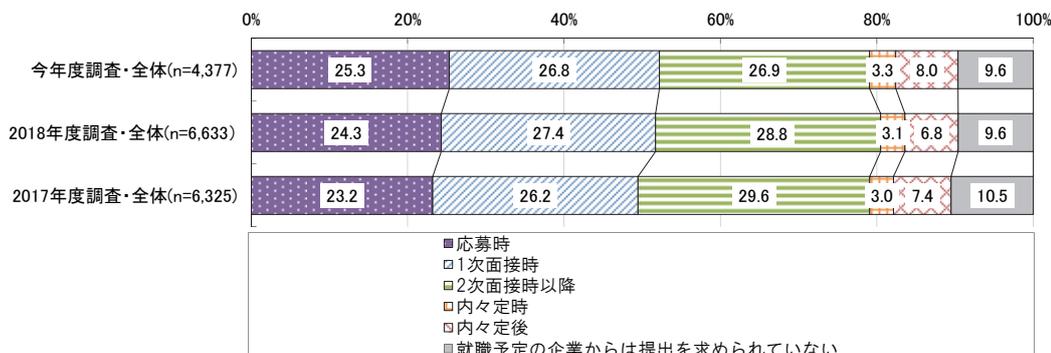
<sup>66</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②提出のタイミング

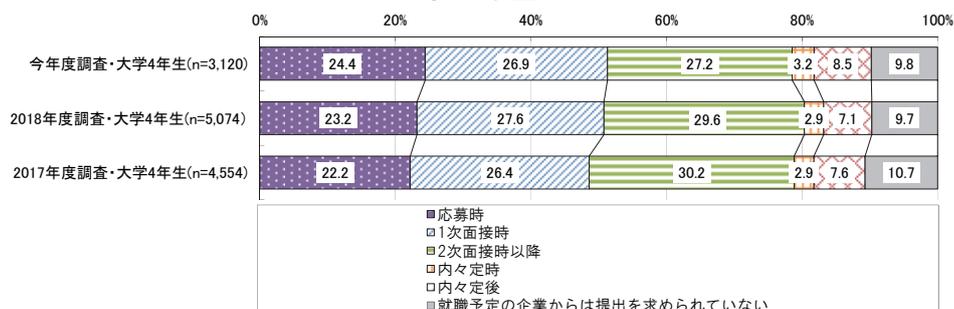
就職予定の企業から履修履歴（成績証明書など）の提出がいつ頃求められたかについて、「2次面接時以降」の回答割合が約3割と最も高く、次いで「1次面接時」の割合が高くなっている。

これは、2017年度調査・2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>67</sup>。

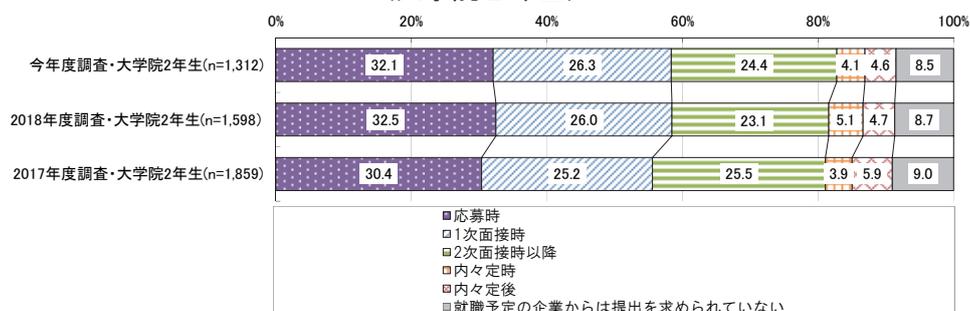
図表 4-1-2 就職予定の企業への履修履歴（成績証明書など）の提出のタイミング  
（大学4年生・大学院2年生）



### （大学4年生）



### （大学院2年生）



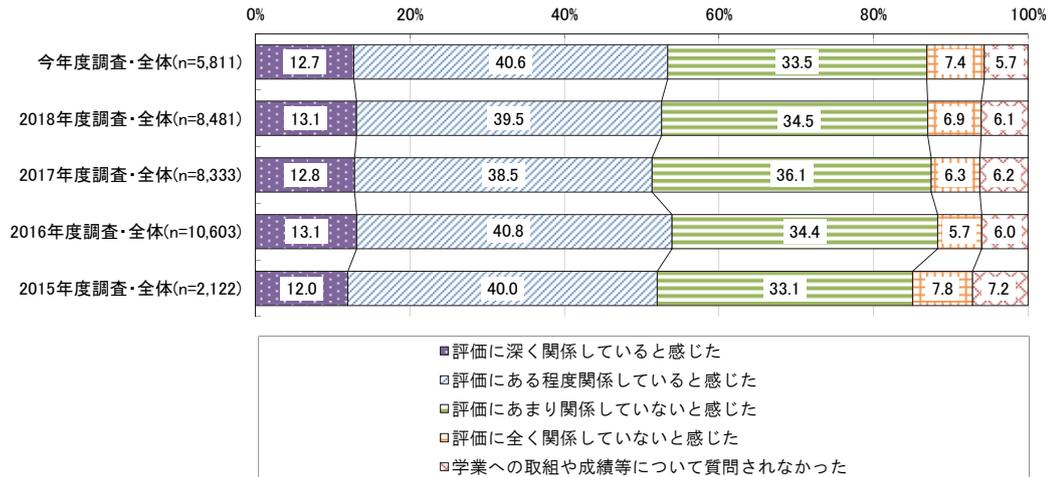
<sup>67</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

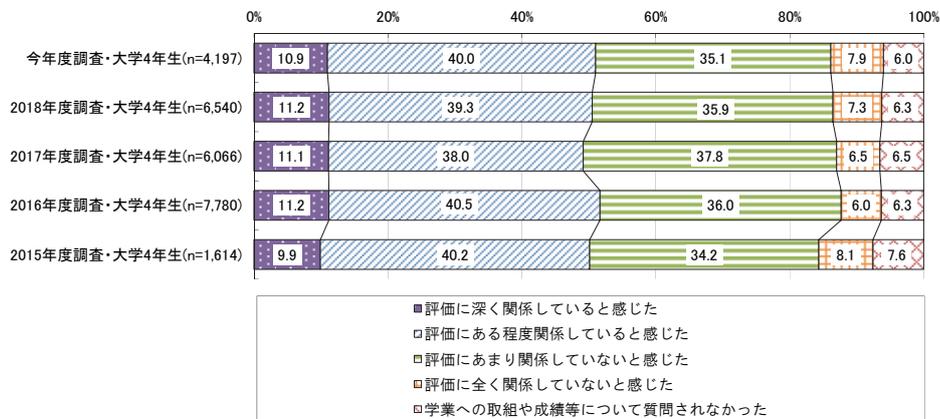
採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合が5割となっている。

これは、2015年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である。

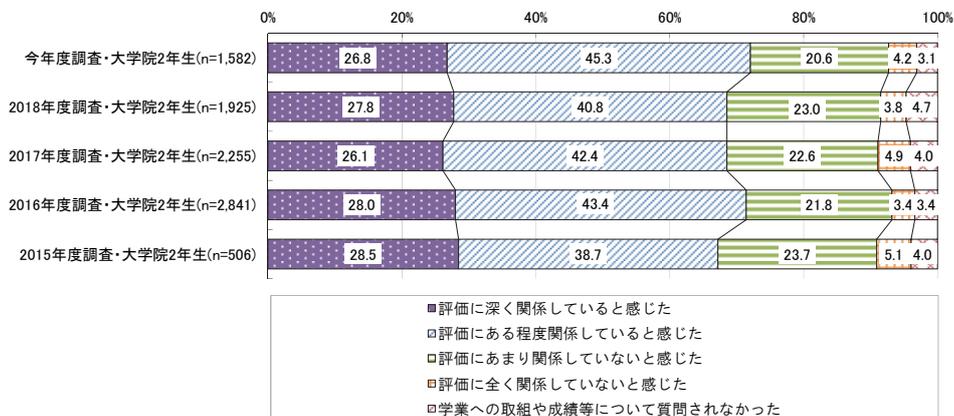
図表 4-2-1 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



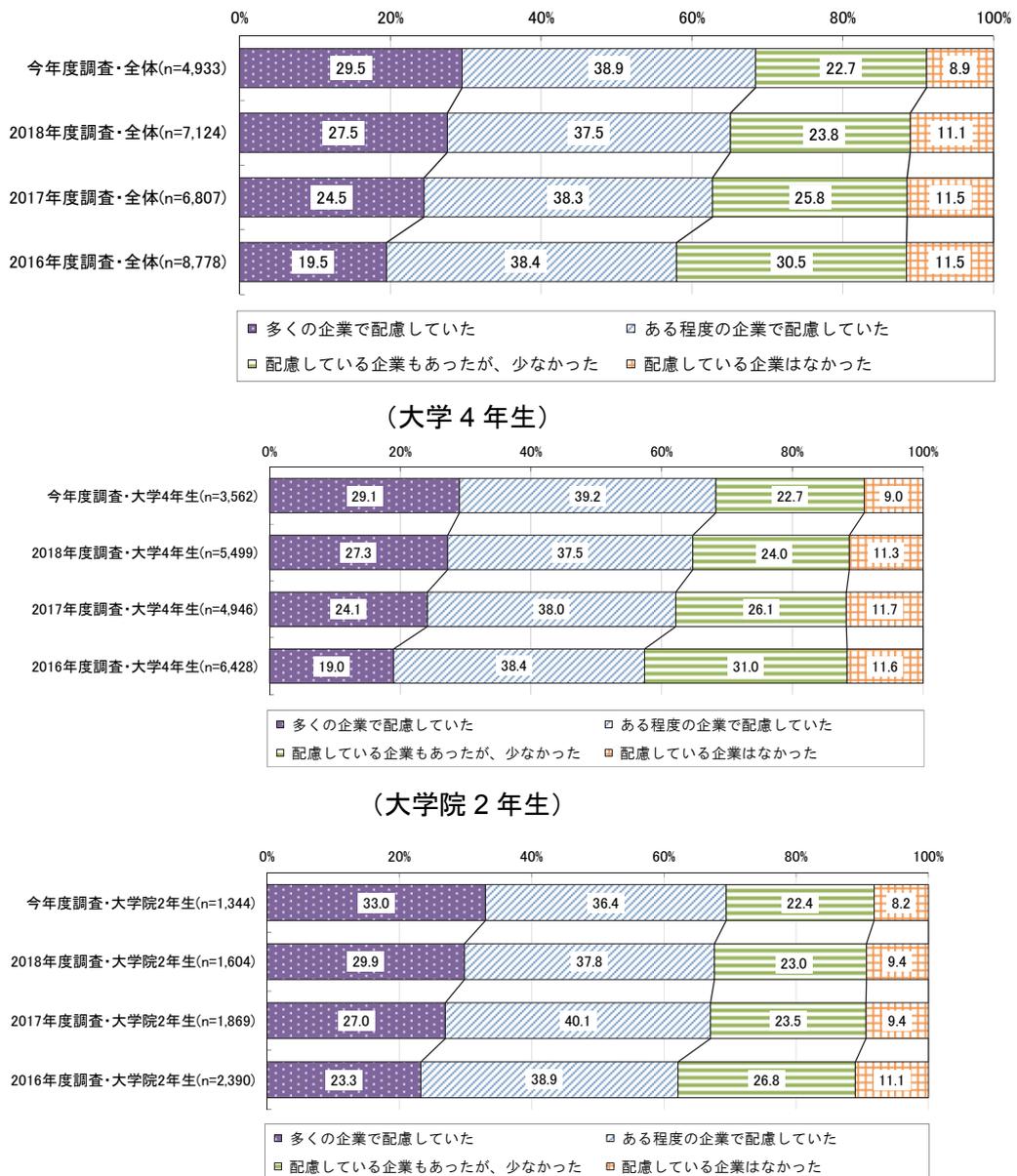
### (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

#### ①説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

就職活動を行った企業において、「説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったか」について、「よくわからない」との回答を除くと<sup>68</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は若干上昇している<sup>69</sup>。

図表 4-3-1 説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>68</sup> 就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

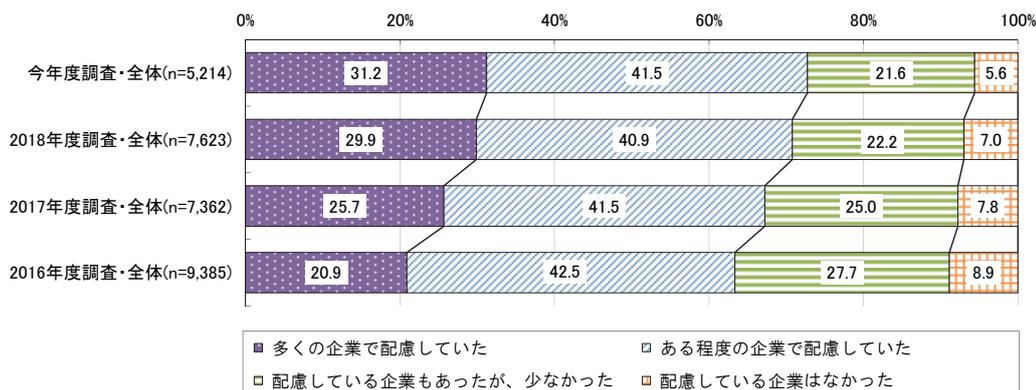
<sup>69</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②個別の面接日時等の設定にあたっての配慮

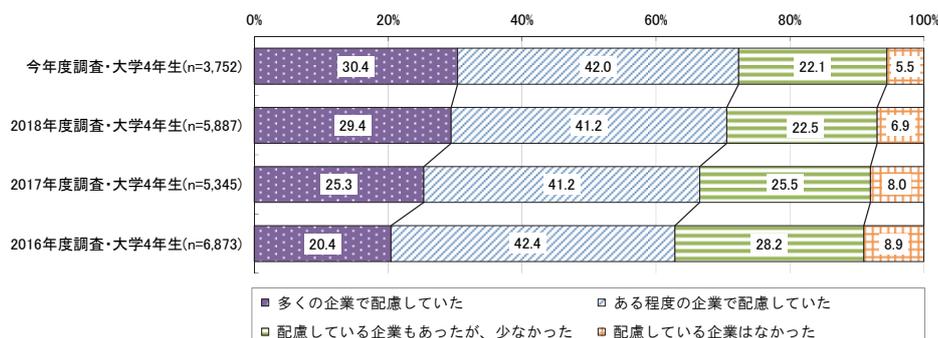
就職活動を行った企業において、「個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったか」について、「よくわからない」との回答を除くと<sup>70</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は若干上昇している<sup>71</sup>。

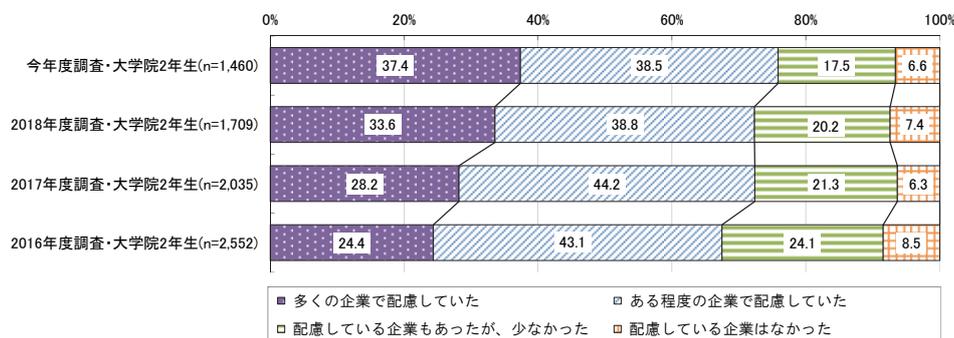
図表 4-3-2 個別の面接日時等の設定にあたっての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>70</sup> 就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>71</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

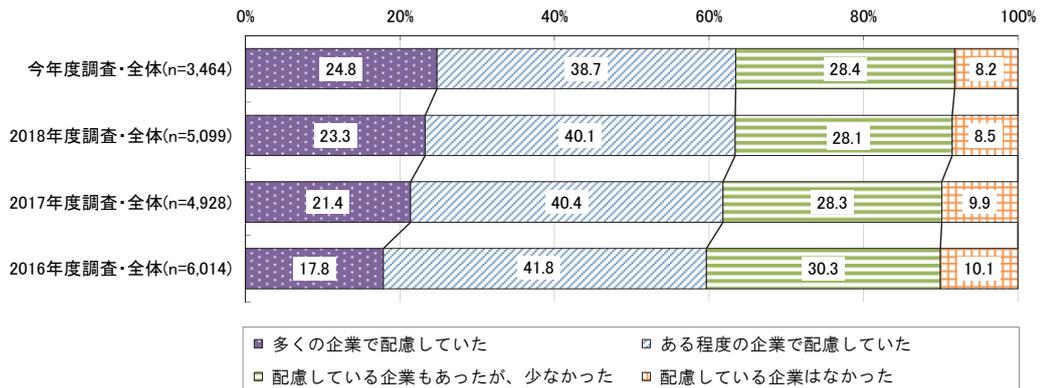
#### (4) 遠隔地への就職活動への配慮

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>72</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

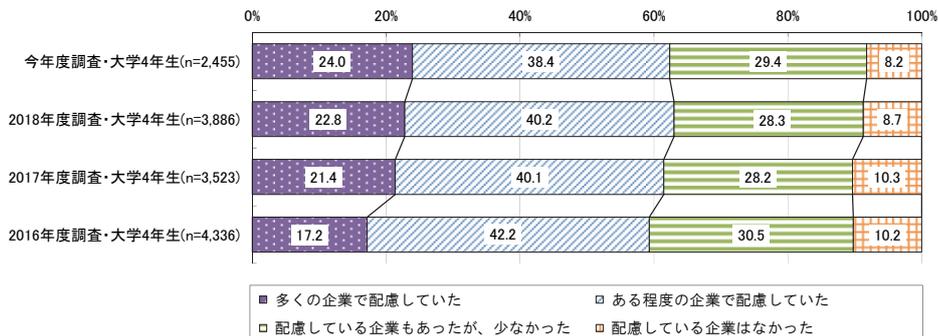
これは2018年度調査と概ね同様の結果である。

図表 4-4-1 遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況<sup>73</sup>

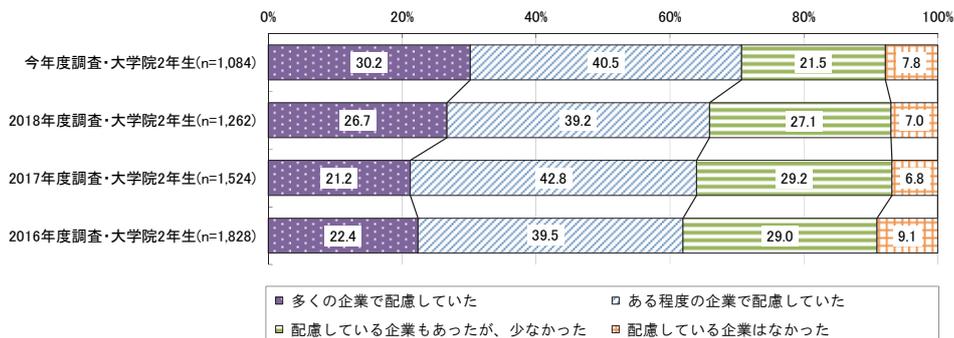
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>72</sup> 「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問への回答で、「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

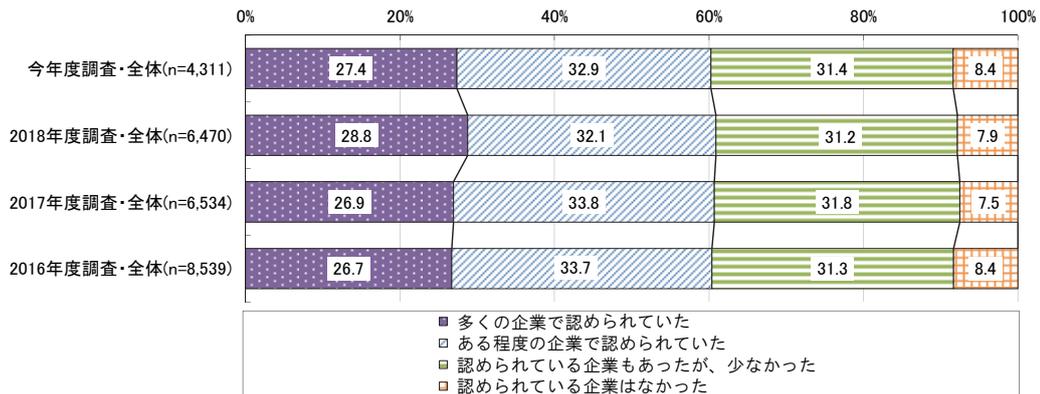
<sup>73</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (5) クールビズでの対応

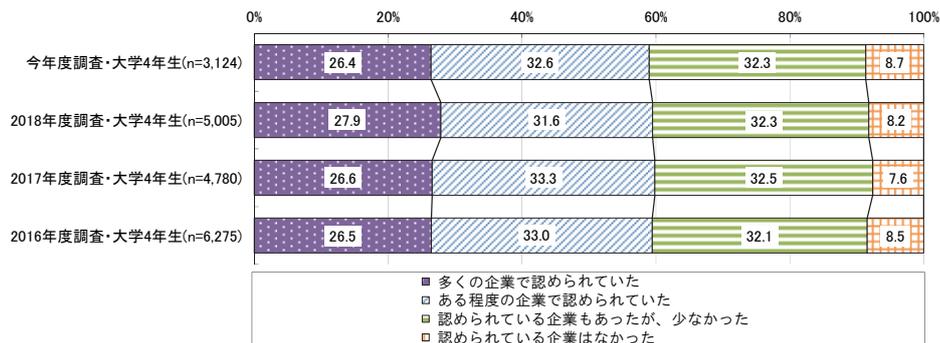
面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>74</sup>、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

これは、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>75</sup>。

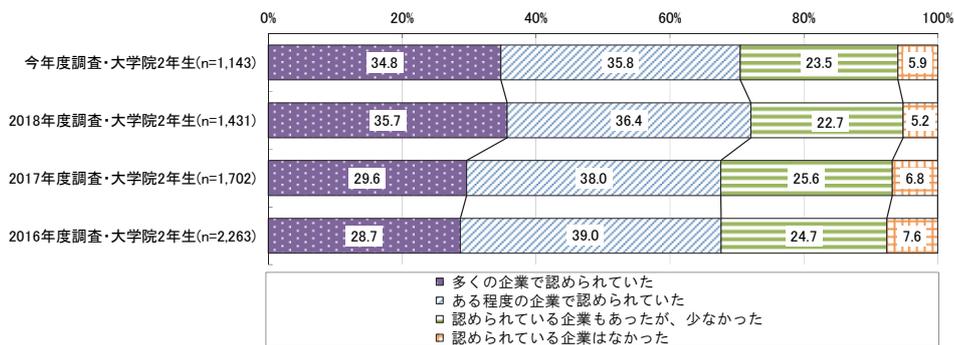
図表 4-5-1 面接の実施におけるクールビズでの対応の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>74</sup> 「面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか」という設問への回答で、「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>75</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

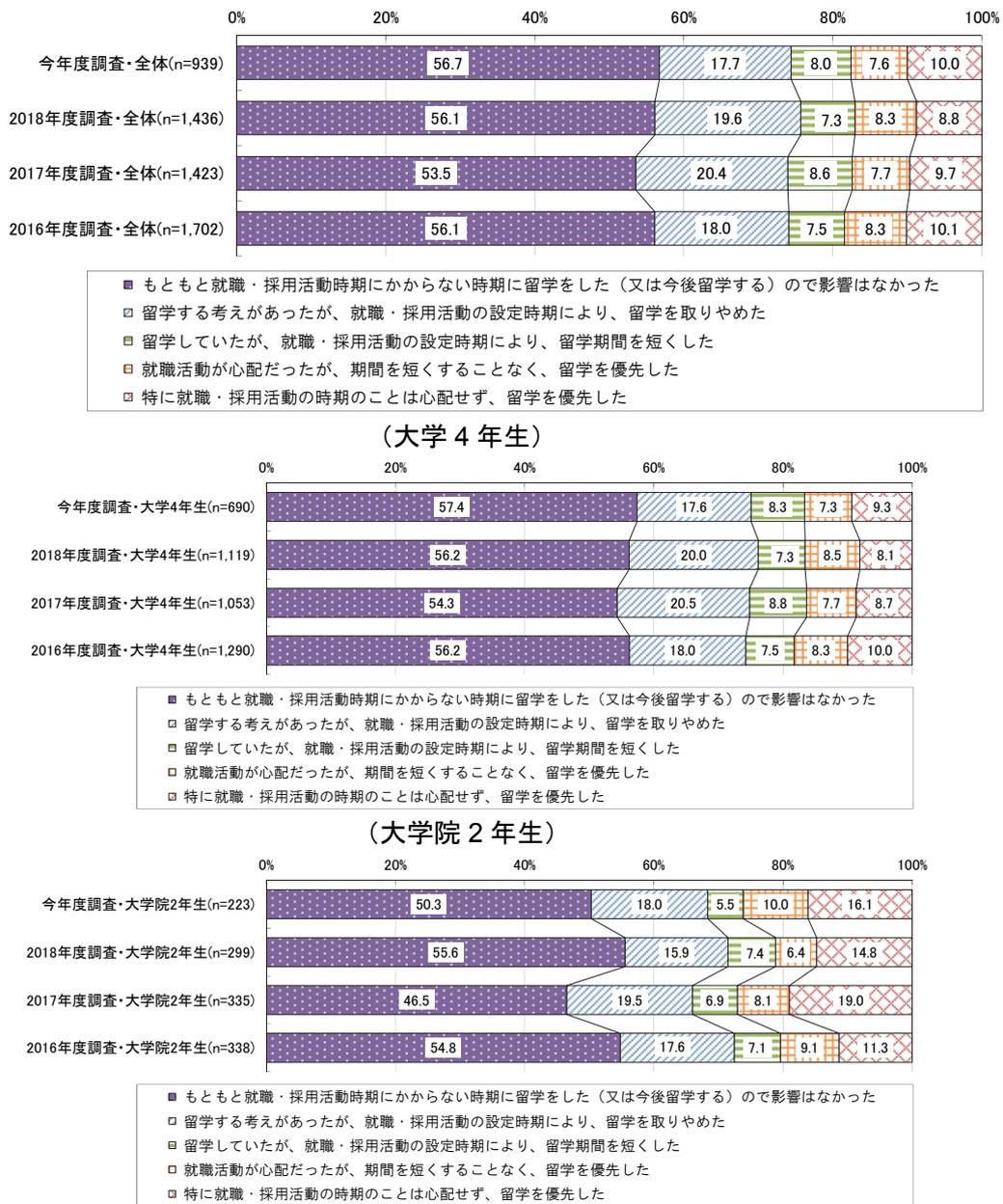
## (6) 留学経験者等への配慮

### ① 留学経験者及び留学を検討していた者の状況

就職・採用活動の設定時期により留学の予定等に影響があったかについて、留学経験者及び留学を検討していた者のうち76、約6割が「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響はなかった」と回答している。一方、約2割は「留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた」と回答している。

これは、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>77</sup>。

図表 4-6-1 留学経験者及び留学を検討していた者の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>76</sup> 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、留学の予定等に影響はありましたか」という設問への回答で、「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答した者を除いて集計した。

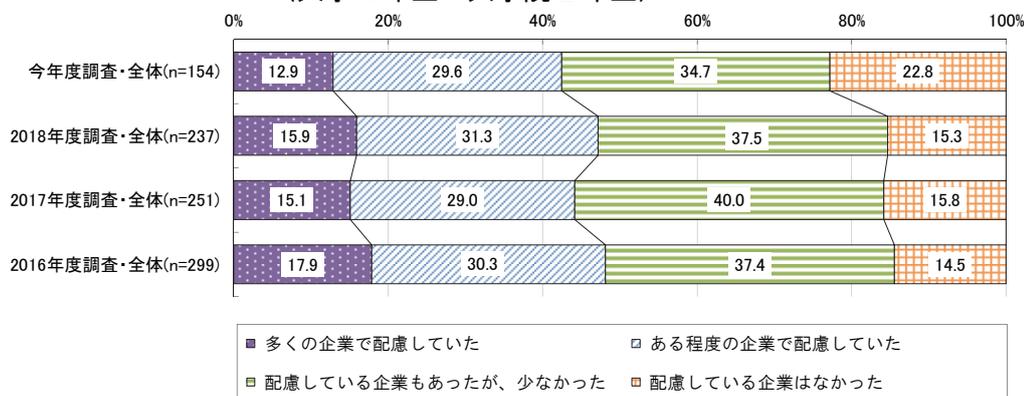
<sup>77</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

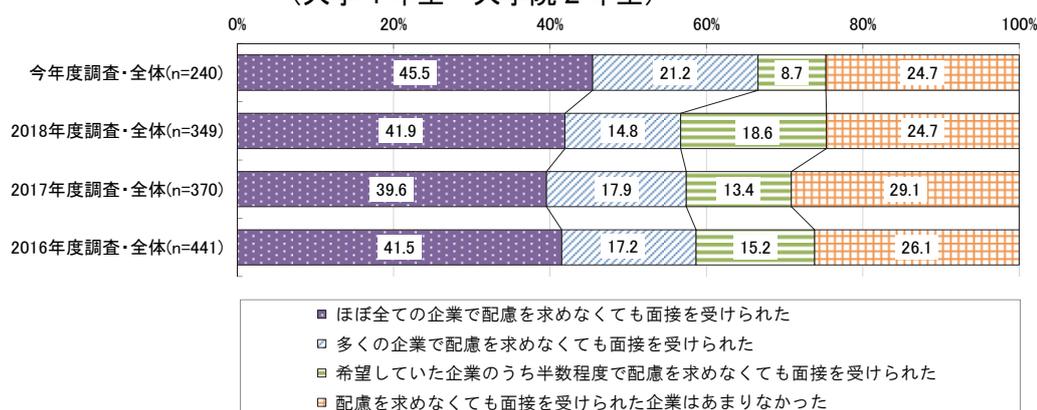
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者<sup>78</sup>に対して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>79</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が約4割となっている<sup>80</sup>。2016年度調査～2018年度調査と比較すると、これらの割合は今年度調査では若干低下している。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、又は留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」との回答割合が約5割となっているが、「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との回答割合も比較的高くなっている。なお、この「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との回答割合は、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果となっている。

図表 4-6-2 留学経験者に対する企業側の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



図表 4-6-3 留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>78</sup> 「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

<sup>79</sup> 「あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問への回答で、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>80</sup> 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

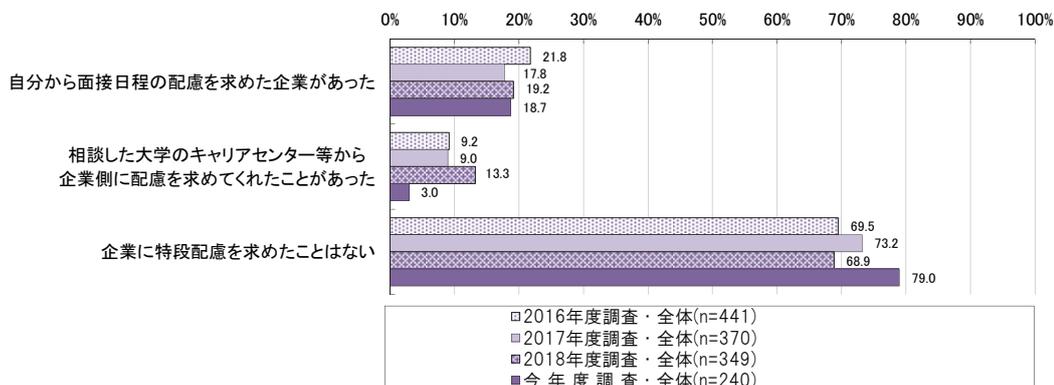
### ③留学経験者が企業側へ配慮を求めた際の対応等

留学と採用選考の時期が重なることで、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約 2 割、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答が 1 割未満となっている<sup>81</sup>。

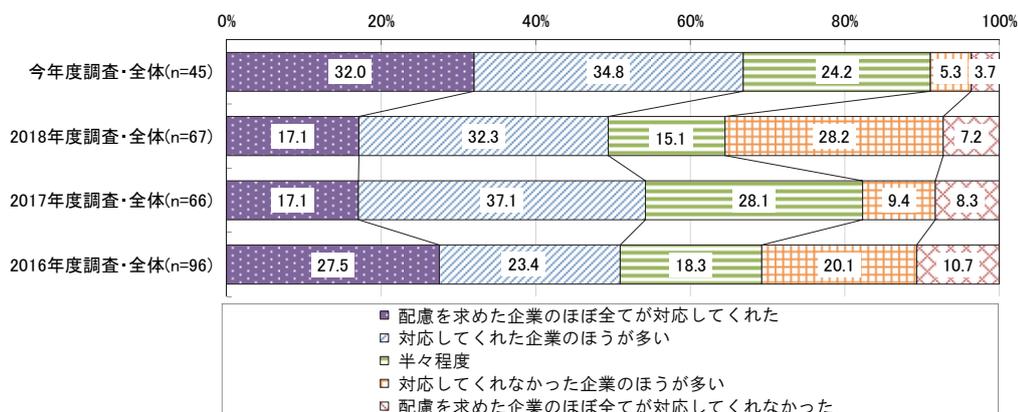
自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況について<sup>82</sup>、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」と「対応してくれた企業のほうが多い」を合わせた回答割合は約 7 割となっている。2016 年度調査～2018 年度調査と比較して、今年度はこの割合が高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをはせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」と「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」を合わせた回答割合が約 2 割となっている。

図表 4-6-4 留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか  
(複数回答、大学 4 年生・大学院 2 年生)



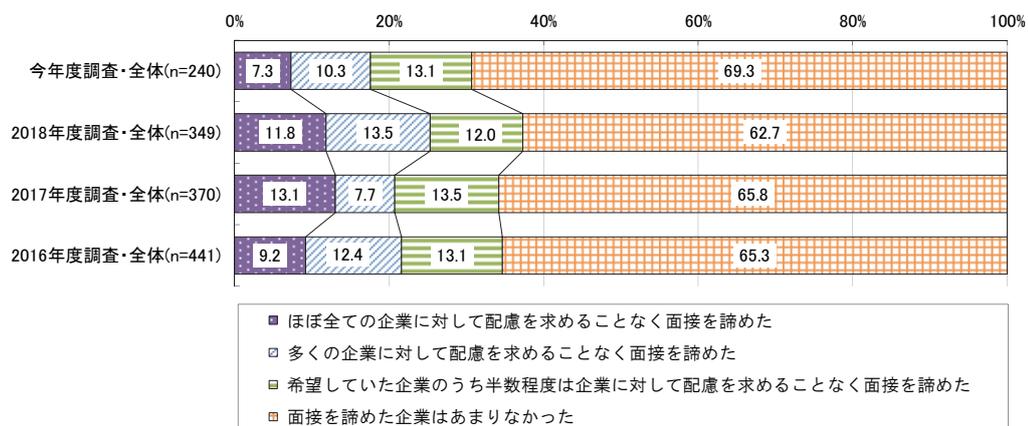
図表 4-6-5 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応 (自分から配慮を求めた場合)  
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



<sup>81</sup> 留学経験者に関する各設問について、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する設問について、2015 年度調査では実施していない。

<sup>82</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の件数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

図表 4-6-6 留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



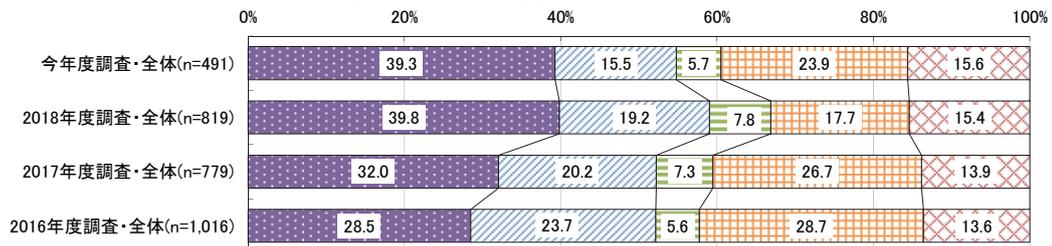
## (7) 教育実習受講者への配慮

### ①教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者の状況

就職・採用活動の設定時期により教育実習の予定等に影響があったかについて、教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者のうち<sup>83</sup>、「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」との回答割合が約4割となっている。他方、約2割が「教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた」と回答している。

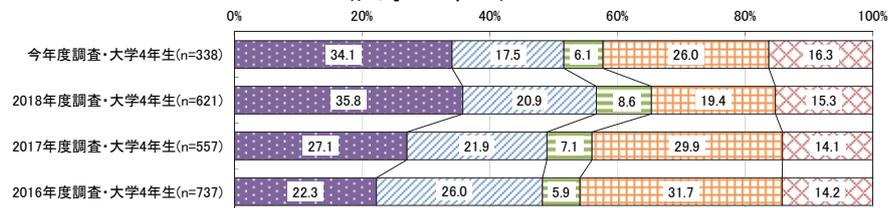
今年度調査の「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」との回答割合は、2018年度調査と概ね同様の結果となっている<sup>84</sup>。

図表 4-7-1 教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- ▨ 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- ▧ 就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- ▩ 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

#### (大学4年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- ▨ 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- ▧ 就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- ▩ 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

#### (大学院2年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- ▨ 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- ▧ 就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- ▩ 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

<sup>83</sup> 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、4年生または大学院2年生の前期における教育実習の予定等に影響はありましたか」との設問への回答で、「もともと教育実習を考慮しておらず、教育実習を受けていない」と回答した者は除いて集計した。

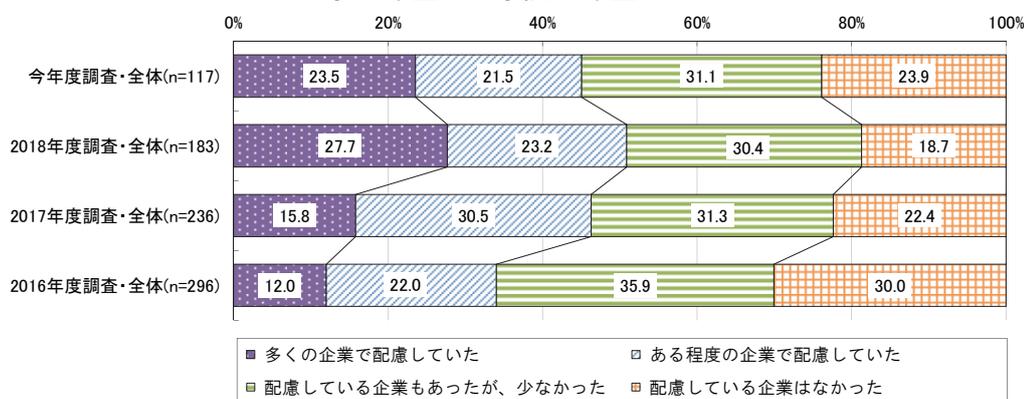
<sup>84</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②企業側から教育実習受講者への配慮の状況

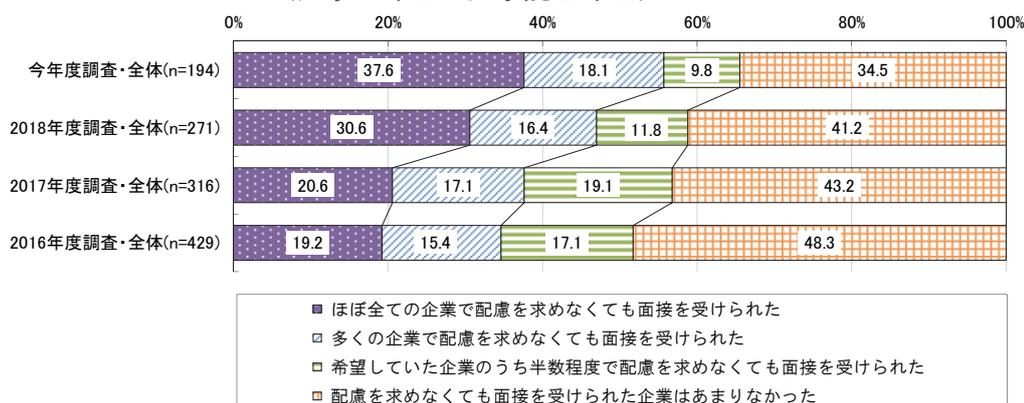
就職・採用活動期間中に実際に教育実習を受けていた者<sup>85</sup>に対して、就職を希望した企業において、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>86</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」とを合わせた回答割合が約5割となっている<sup>87</sup>。2018年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が若干低下している。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が教育実習と重なっていなかった、又は教育実習受講者等のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」との回答が約4割となっている。2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が高くなっている。

図表 4-7-2 教育実習受講者に対する企業側の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



図表 4-7-3 教育実習受講者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>85</sup> 「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した。なお、教育実習受講者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

<sup>86</sup> 「あなたが就職を希望した企業は、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮していましたか」という設問への回答で、「教育実習期間中に就職活動を行っていないため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>87</sup> 教育実習受講者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

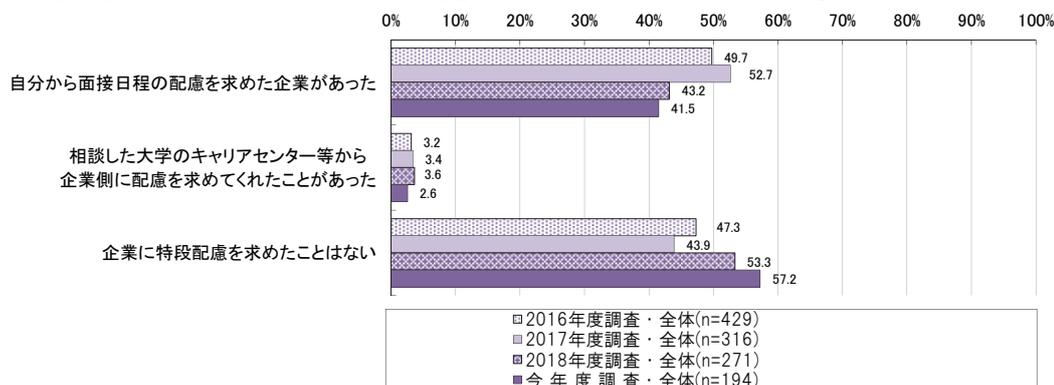
### ③教育実習受講者が企業側へ配慮を求めた際の対応等

教育実習と採用選考の時期が重なることで、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約4割となっている<sup>88</sup>。

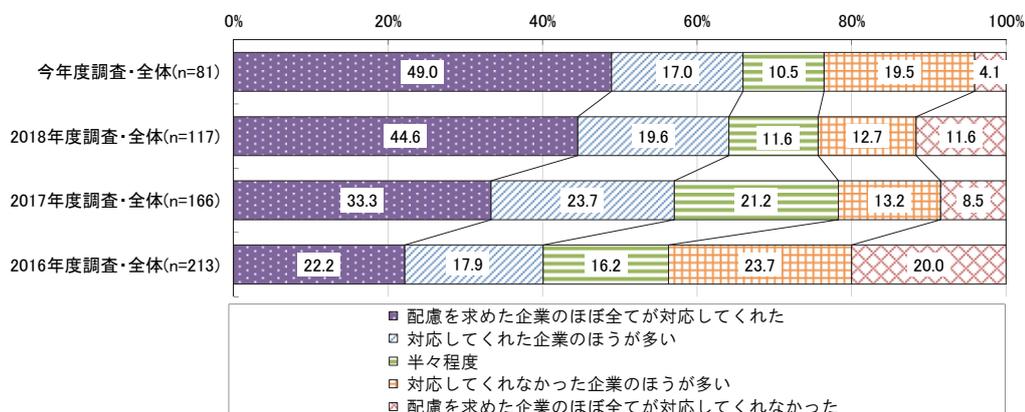
自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ<sup>89</sup>、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」と「対応してくれた企業のほうが多い」を合わせた回答割合は約7割となっている。2016年度調査～2018年度調査と比較して、今年度調査はこの割合が若干高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることはせず、結果として教育実習と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」と「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」を合わせた回答割合が約2割となっている。2018年度調査と比較すると、今年度調査はこの割合が若干高くなっている。

図表 4-7-4 教育実習受講者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか（複数回答、大学4年生・大学院2年生）



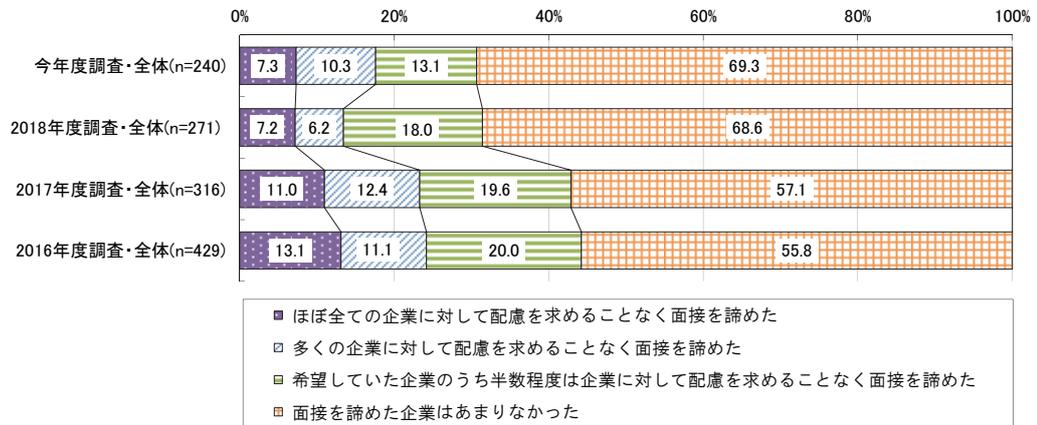
図表 4-7-5 教育実習受講者が配慮を求めた場合の企業の対応（自分から配慮を求めた場合）（大学4年生・大学院2年生）



<sup>88</sup> 教育実習受講者に関する各設問について、「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した。なお、教育実習受講者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

<sup>89</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の件数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

図表 4-7-6 教育実習受講者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



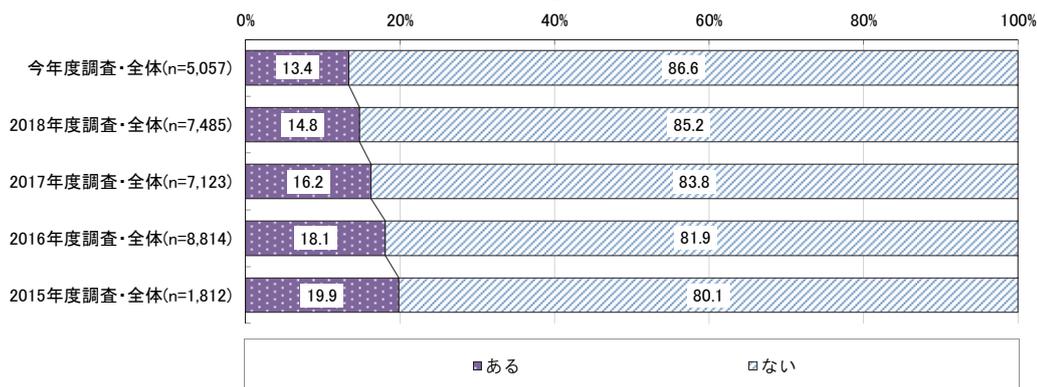
## (8) 「オワハラ」の状況

### ① 「オワハラ」の有無

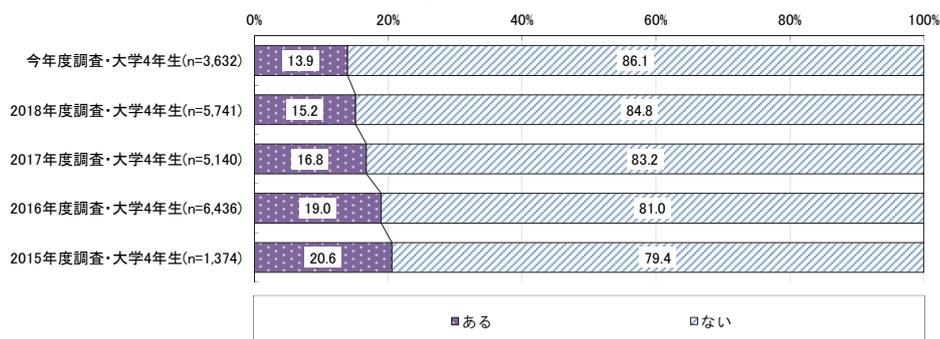
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するハラスメント的な行為（いわゆる「オワハラ」）を受けたことがあるかについて<sup>90</sup>、約1割の者が「ある」と回答している。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「ある」の回答割合が若干低下している。

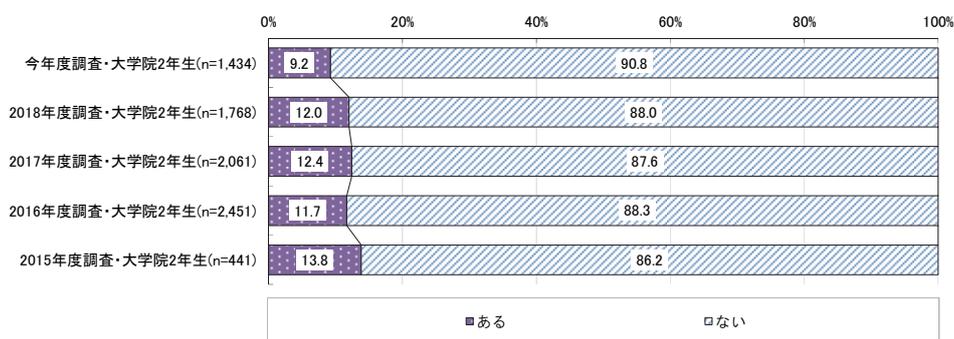
図表 4-8-1 企業から「オワハラ」を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



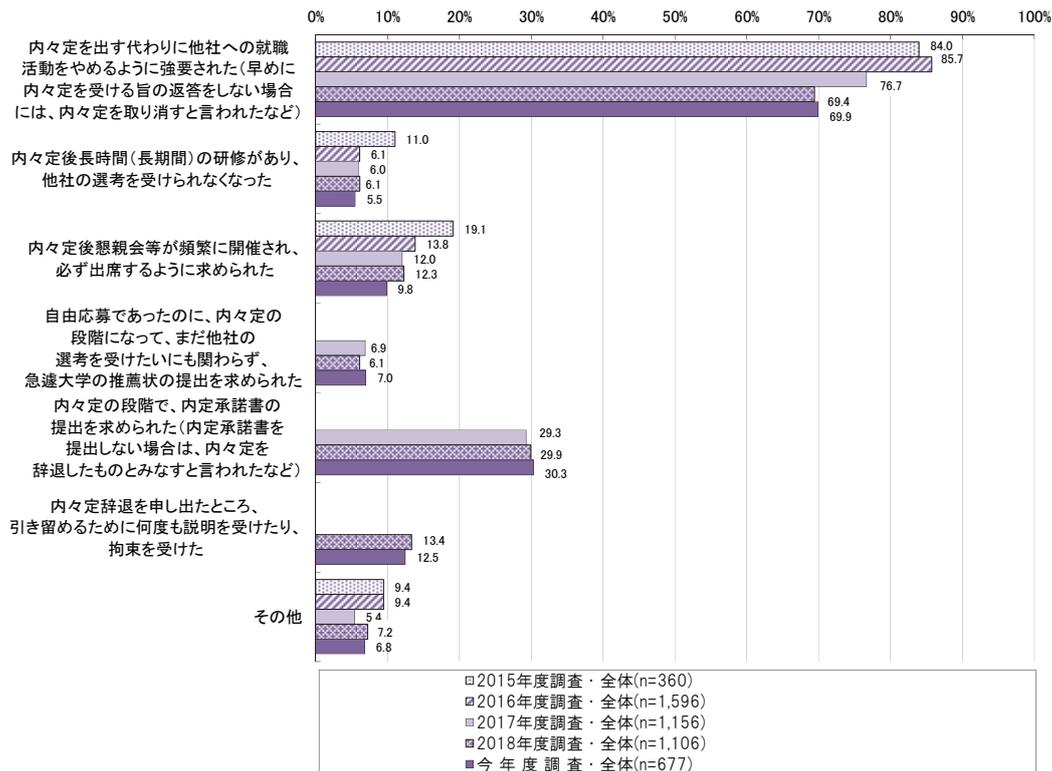
<sup>90</sup> 内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

## ②「オワハラ」の内容

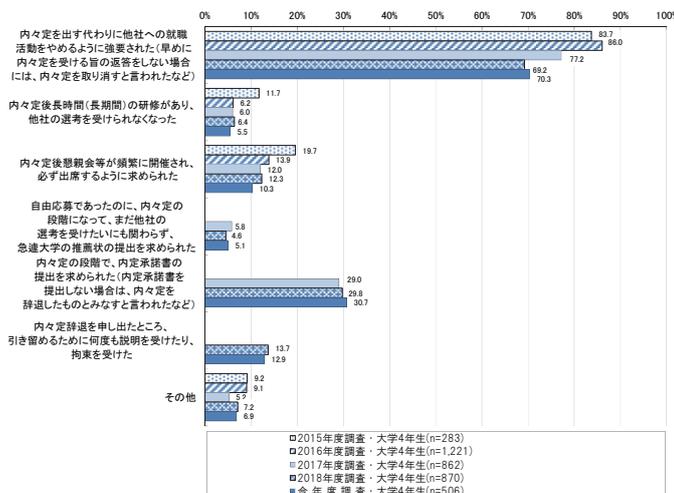
企業等からの「オワハラ」で、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）<sup>91</sup>」との回答割合が約7割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」との回答割合が約3割となっている。

図表 4-8-2 「オワハラ」の内容（複数回答）

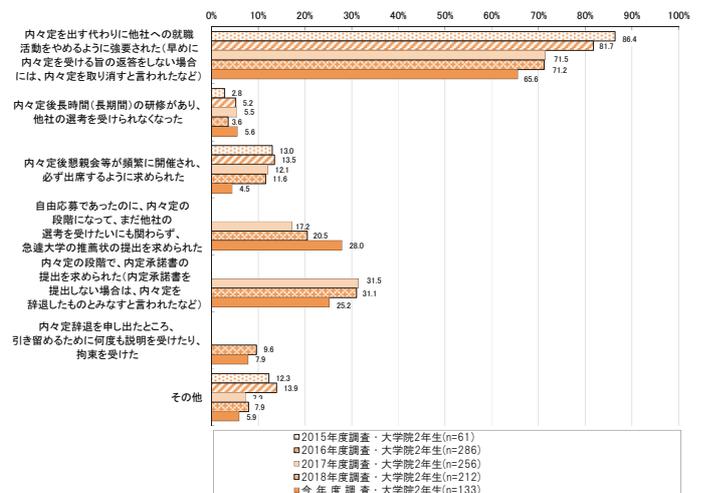
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



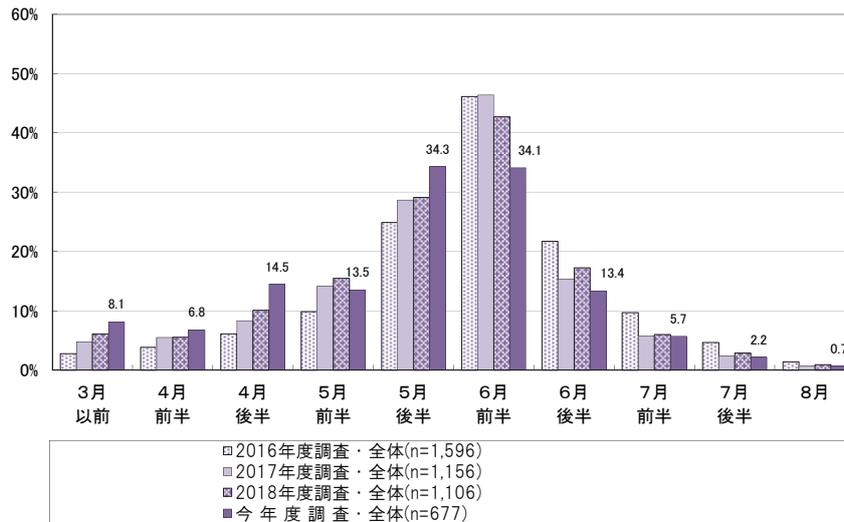
<sup>91</sup> 2015年度調査～2018年度調査では「早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど」の例示はせず単に「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」の項目で調査を実施している。

### ③ 「オワハラ」があった時期

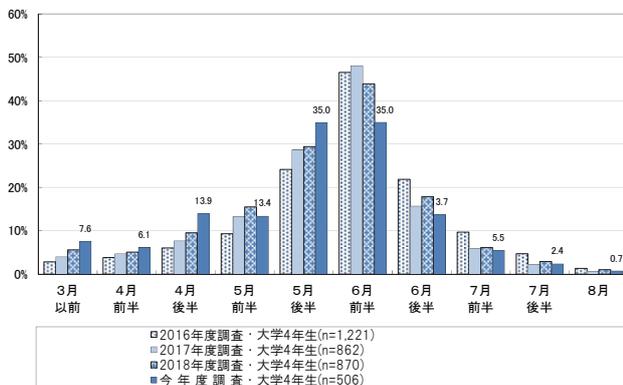
「オワハラ」を受けた時期について、「5月後半」と「6月前半」の回答割合がそれぞれ約3割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「5月後半」の回答割合が高く、「6月前半」の回答割合が低下している。また、「4月後半」など、より早期の回答割合も若干高くなっている<sup>92</sup>。

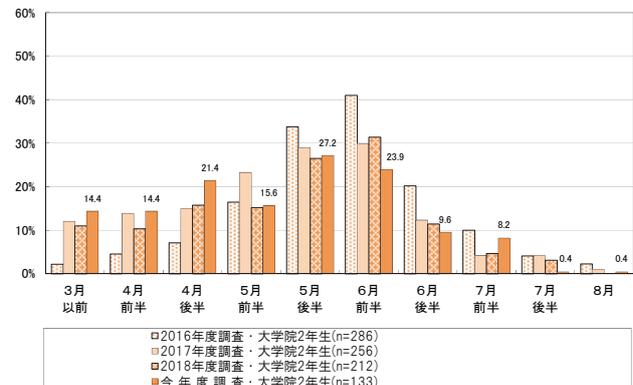
図表 4-8-3 「オワハラ」を受けた時期（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



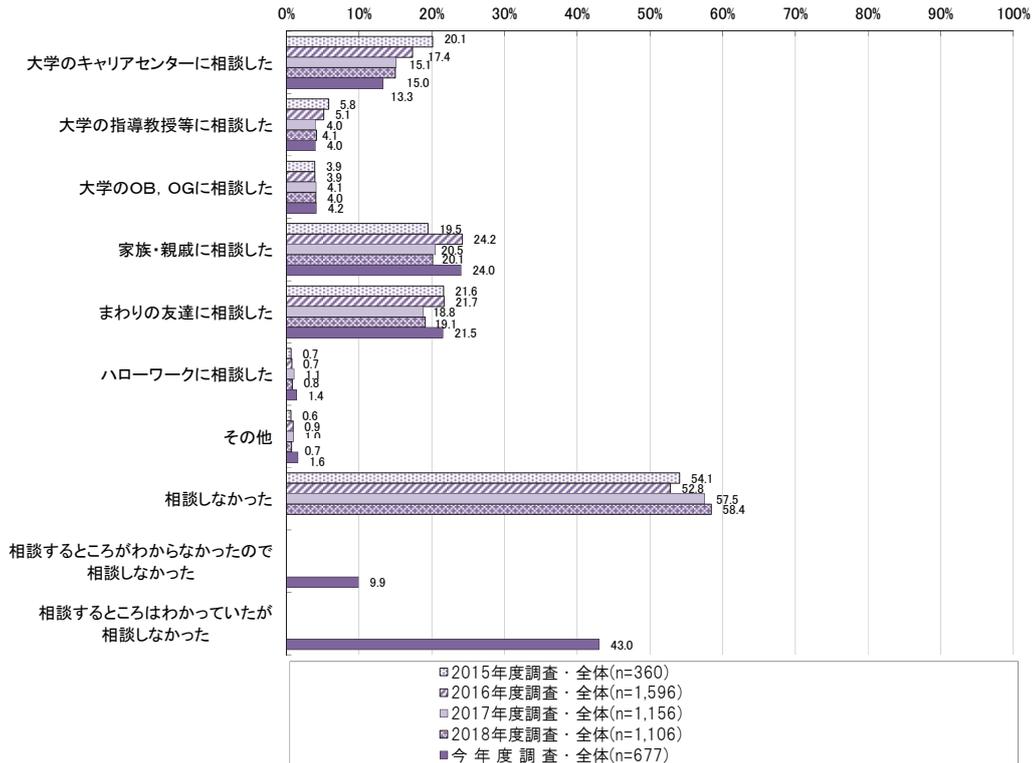
<sup>92</sup> 2015年度調査でもハラスメント的な行為を受けた時期に関する設問の調査をしているが、選択肢として設定している時期が他の年度の調査とは異なることから、ここでは比較の対象としなかった。

#### ④「オワハラ」への対応

「オワハラ」を受けた際の対応について、「家族・親戚に相談した」と「まわりの友達に相談した」との回答がそれぞれ約 2 割となっている。これは、2015 年度調査～2018 年度調査と概ね同様の結果である。

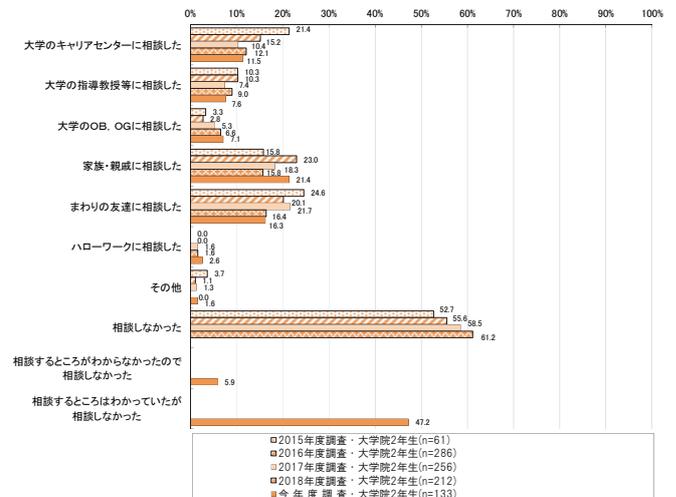
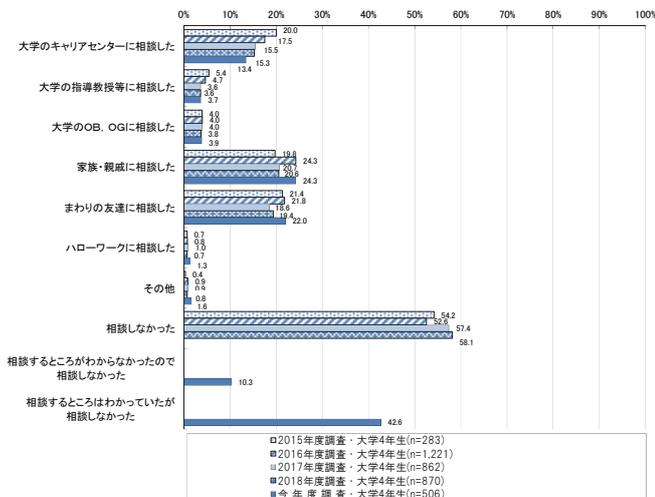
なお、「相談しなかった」との回答については、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が全体の約 1 割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約 4 割となっている<sup>93</sup>。

図表 4-8-4 「オワハラ」を受けた際の対応（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



（大学 4 年生）

（大学院 2 年生）



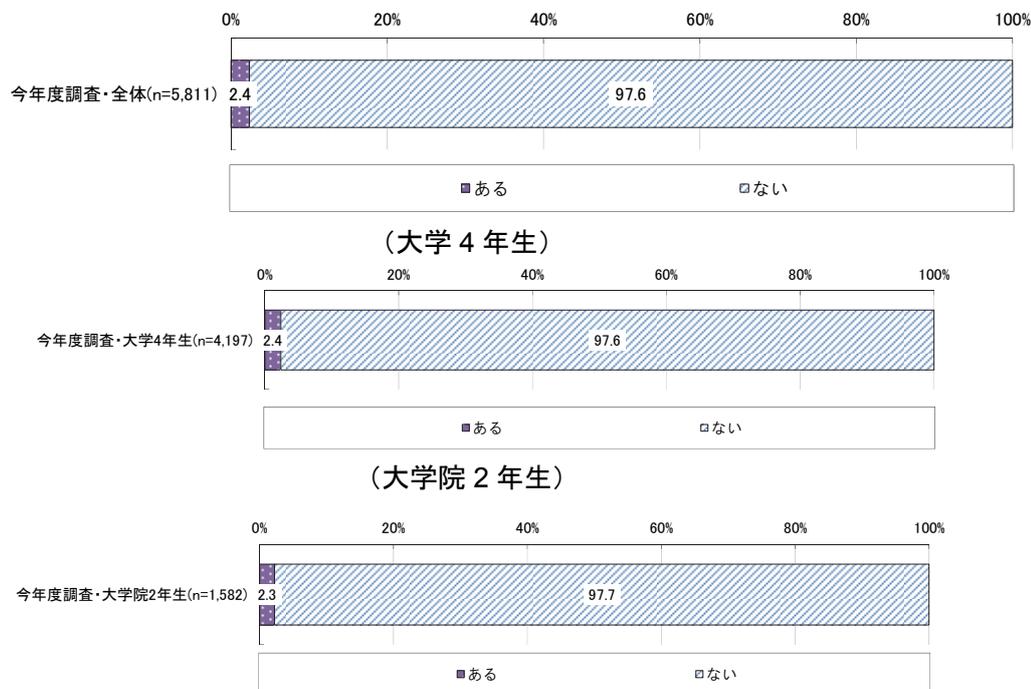
<sup>93</sup> 2015 年度調査～2018 年度調査では単に「相談しなかった」という項目で調査していたものを、今年度調査ではその理由も含めた形で選択肢を変更して調査を行った。

## (9) セクシュアルハラスメントの状況

### ①セクシュアルハラスメント行為の有無

就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は約 2%であった<sup>94</sup>。

図表 4-9-1 セクシュアルハラスメント行為を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)

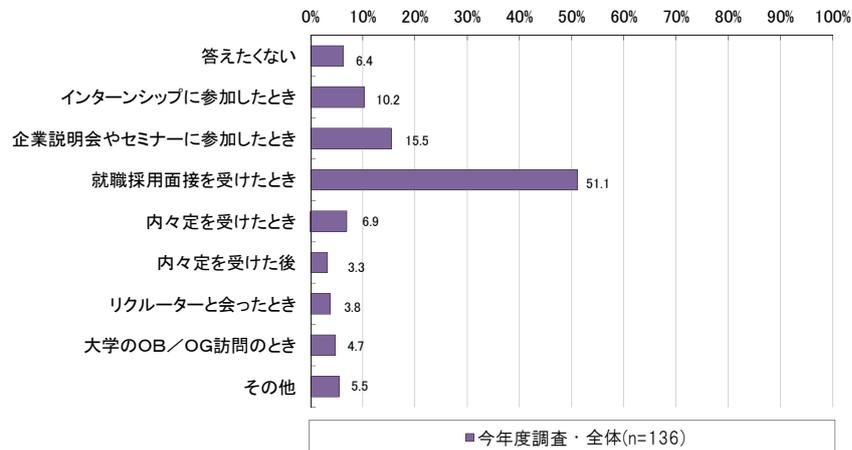


<sup>94</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。(以降のセクシュアルハラスメント行為に関する各設問についても同様)

## ②セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミングとしては<sup>95</sup>、「就職採用面接を受けたとき」の回答が約5割、「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約2割となっている。

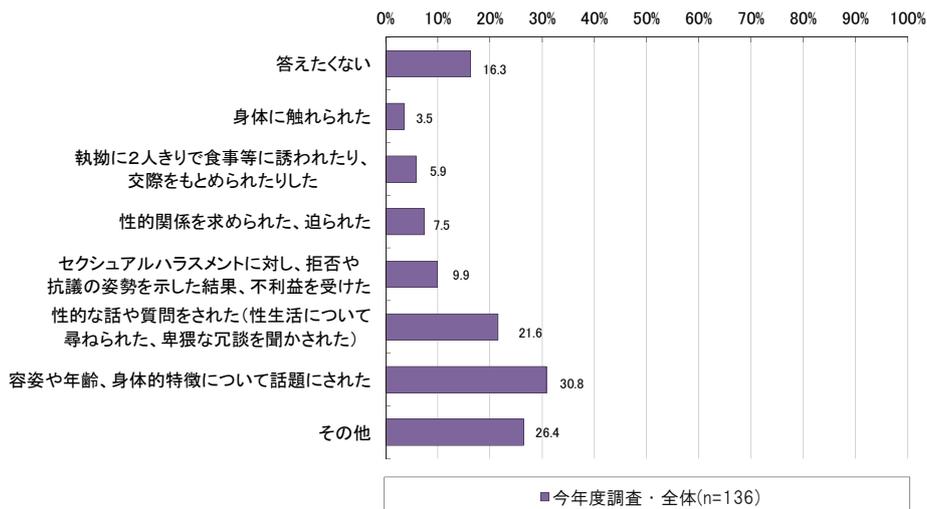
図表 4-9-2 セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



## ③セクシュアルハラスメント行為の内容

どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約3割、「性的な話や質問をされた（性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた）」が約2割となっている。また、「その他」の回答も約3割となっている。

図表 4-9-3 セクシュアルハラスメント行為の内容（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）

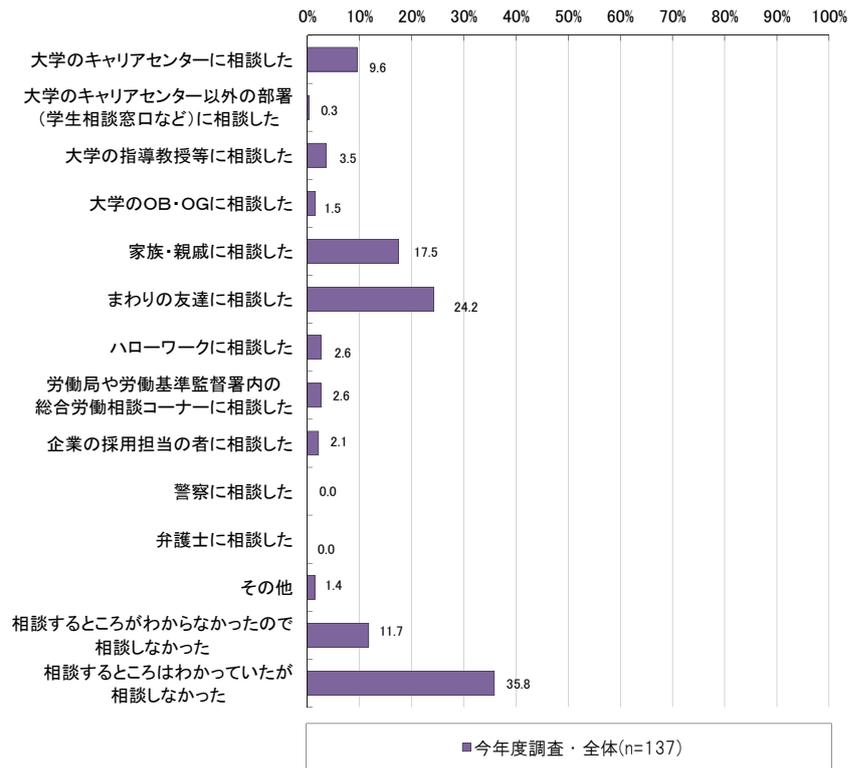


<sup>95</sup> 以降の設定に関しては、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象とした。「答えたくない」との選択肢も設けた上で、差し支えない範囲で回答していただいた（当該調査項目に回答しなくても調査終了とすることを可能とした）。なお、回答数が多くないことから、大学4年生・大学院2年生を合わせて集計した結果のみ掲載した。

#### ④セクシュアルハラスメント行為に関する相談

セクシュアルハラスメント行為に関し相談したことがあるかについて、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約 4 割、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約 1 割となっている。相談先としては、「まわりの友達に相談した」と「家族・親戚に相談した」がそれぞれ約 2 割となっている。

図表 4-9-4 セクシュアルハラスメント行為に関する相談（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



#### ⑤セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応

セクシュアルハラスメント行為を相談した際の対応について、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」が約 6 割、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」が約 4 割となっている。

図表 4-9-5 セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）

